

さあ今、“成長の門”を叩け!!

PROGRESS

AKITA PREFECTURAL UNIVERSITY 2022

大学案内2022



PROGRESS

CONTENTS

02 学長メッセージ

特集

- 04 研究コラム「古き良き遺産を未来につなぐ建築学」
- 06 研究コラム「カメシと洋ナシの意外な化学」
- 08 SDGsへの取り組み
- 10 学生の挑戦「秋田学生まちづくり団体」
- 12 学生の挑戦「日本酒醸造“究”プロジェクト」

教育・研究の特長

- 14 数字で見る秋田県立大学
- 18 卓越した教育・研究環境
- 22 学生自主研究
- 26 キャリア支援
- 32 秋田県立大学の学び

システム科学技術学部

- 34 システム科学技術学部
- 36 学びのキーワード
- 38 機械工学科
- 44 知能メカトロニクス学科
- 50 情報工学科
- 56 建築環境システム学科
- 62 経営システム工学科

生物資源科学部

- 68 生物資源科学部
- 70 学びのキーワード
- 72 応用生物科学科
- 78 生物生産科学科
- 84 生物環境科学科
- 90 アプリビジネス学科

大学院・附属機関

- 96 アグリイノベーション教育研究センター
- 98 大学院
- 102 総合科学教育研究センター
- 103 木材高度加工研究所

キャンパスライフ

- 104 キャンパスアルバム
- 106 年間スケジュール
- 108 秋田県立大学生の一日
- 110 国際交流
- 112 サークル活動
- 114 本荘キャンパス
- 116 秋田キャンパス
- 118 大湯キャンパス

インフォメーション

- 120 充実のサポート制度
- 124 入試情報
- 126 秋田ってこんなところ

登場する在学生の学年は
取材当時(2021年3月)のものです。



このマークが付いているQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、「360°VRパノラマ写真」など、様々なWebコンテンツをご覧いただけます。



研究コラム「古き良き遺産を未来につなぐ建築学」⇒P4



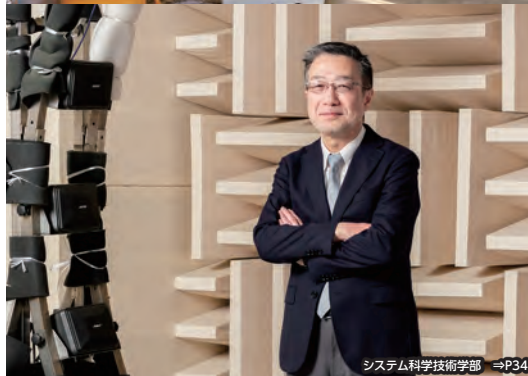
研究コラム「カメシと洋ナシの意外な化学」⇒P6



数字で見る秋田県立大学/卓越した教育・研究環境⇒P14



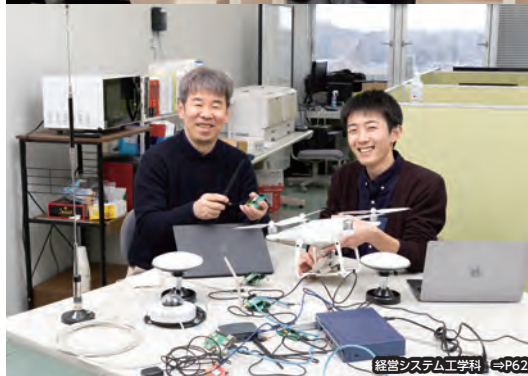
学生自主研究制度⇒P22



システム科学技術学部⇒P34



機械工学科⇒P38



経営システム工学科⇒P62



生物資源科学部⇒P68



アプリビジネス学科⇒P90



大学院・附属機関(アグリイノベーション教育研究センター)⇒P96



国際交流⇒P110



サークル活動⇒P112



SDGsへの取り組み ⇒P8



学生の挑戦「秋田学生まちづくり団体」 ⇒P10



学生の挑戦「日本酒醸造“究”プロジェクト」 ⇒P12



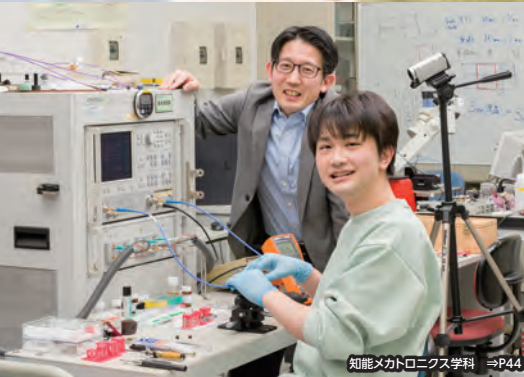
卒業生からのメッセージ LocalQuest 代表 高橋新汰 ⇒P26



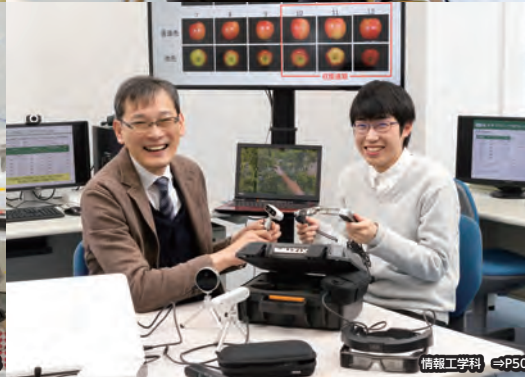
卒業生からのメッセージ 株式会社ツバクロ 取締役 谷口知行 ⇒P27



キャリア支援 ⇒P28



知能メカトロニクス学科 ⇒P44



情報工学科 ⇒P50



建築環境システム学科 ⇒P56



応用生物科学科 ⇒P72



生物生産科学科 ⇒P78



生物環境科学科 ⇒P84



大学院・附属機関(大学院/総合科学教育センター/木材高度加工研究所) ⇒P98



年間スケジュール ⇒P106



秋田県立大学生の1日 ⇒P108



キャンパス紹介(本荘C/秋田C/大淵O) ⇒P114



充実の学生サポート制度 ⇒P120



Akita Prefectural University 2022 1
秋田ってこんなところ。ほか ⇒P126

学長メッセージ

秋田県立大学は、システム科学技術学部、生物資源科学部の2つの学部からなる理系の大学です。学生諸君には、これらの分野の専門知識を身につけ、卒業後それぞれの分野の専門家として活躍して欲しいと願っていますが、新型コロナウイルス感染によって大きく変化する社会に対応できる能力も強く求められています。従ってこれからは、専門的な知識に加えて、変化に気づき、その原因を多面的な視野で分析、課題抽出を行い、自ら解決策を見出す幅広い知識・能力が必要です。

秋田県立大学では、独自の教育プログラム「成長のためのメソッド」をさらに充実させ、上記の知識・能力を持った、“グローバル”に活躍できる人材を育成します。

学長 小林淳一

基本理念

21世紀を担う次代の人材育成

真理探究の精神と、未来を切り拓く幅広い視野・柔軟な発想や豊かな創造力を兼ね備えた、21世紀を担う次代の人材を育成すること。

開かれた大学として、秋田県の持続的発展に貢献

先端的な科学の研究及び技術の開発を行うことにより、地域産業の高度化を通じた本県の産業振興に寄与するとともに、県民に対して生涯にわたる高度な教育機会を提供することにより、本県の持続的発展に大きく貢献すること。

沿革

平成11年4月	秋田県立大学開学
平成14年4月	秋田県立大学大学院 システム科学技術研究科設置
平成15年4月	秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科設置
平成18年4月	生物資源科学部 アグリビジネス学科設置 公立大学法人秋田県立大学設立
平成21年6月	開学10周年記念式典開催
平成24年4月	秋田県立大学大学院 共同ライフサイクルデザイン工学専攻設置
平成30年4月	システム科学技術学部 機械工学科・知能メカトロニクス学科・情報工学科設置
令和元年6月	開学20周年記念式典開催



秋田県立大学の欧文の頭文字「A」をデザイン化したもので、目標(グリーン)を設定し、未来に向かって限りなく学んでいく姿を表しています。



小林学長からの
メッセージを動画で
ご覧いただけます。



1948年長野県生まれ。1976年東北大学大学院工学研究科博士学位取得。株式会社日立製作所で主管研究員、ソリューションセンター長等を歴任し、2007年システム科学技術学部教授に就任。機械知能システム学科長、理事兼副学長を経て、2017年4月より現職。

伝統建築から読み解く、先人達の知恵や建築技法

古き良き遺産を 未来につなぐ建築学

システム科学技術学部 建築環境システム学科

建築計画学

李雪 助教

LI XUE

1983年12月生まれ。出身は中国山東省済南市。出身地から1300km離れた湖南省の大学を卒業した後、北京の外資系建築事務所に就職し、設計の仕事に従事した。25歳の時に日本へ留学。愛知県豊橋市、茨城県つくば市で過ごし、2017年から秋田へ。趣味は石鹸作り。



地域資源を活かした ひとつひとつ異なる趣き 日本の原風景・茅葺き民家の継承

私は、昔から古い建物が大好き。隅々にまで行き渡る匠の技と、それぞれの地域にある資源を活かしたひとつひとつ違う趣きが、いつも私の感性を刺激してくれます。出身の中国にいた頃は、休日に自転車を漕いで伝統建築を見に行くことが趣味でした。伝統建築のことをもっと知りたい!という想いが強まり、せっかくなら中国以外のことも学ぼうと、日本への留学を決めました。

現在は大学の助教として、茅葺き屋根の街並みを再生するプロジェクトに取り組んでいます。皆さんは、茅葺き屋根を実際に見たことがありますか？茅葺き

は日本の伝統技法で、その歴史は古く、まさに日本の原風景。中に入ると感じる何とも言われぬ静けさ、茅の香り…そこにいるだけでストンと心が落ち着くから不思議です。しかし、茅葺き職人の高齢化による技術の消失や茅場の消失による材料供給の困難、葺き替え費用の高額化などにより、茅葺き民家は急激なスピードで減少の一途を辿っています。

秋田県では羽後町に代表的な茅葺き文化が見られ、国指定重要文化財の鈴木家住宅を始め多くの茅葺き民家が残っています。その一方で、職人が減り、空き家がどんどん増えてきていることに、危機感を覚えずにはいられません。

私の想いは、ひとつ。貴重な無形文化遺産の技術で建てられた茅葺き民家を一棟でも多く次世代に継承することです。そこで現地に足を運び、構造や建築法を調べて、持ち主や近隣の方にお話を伺って茅葺き民家に関する情報を収集。それを元に図面に起こし、データとして保存しています。また、茅葺き民家への共感や理解をさらに深めてもらおうと、茅でほうきを作るなどのワークショップを

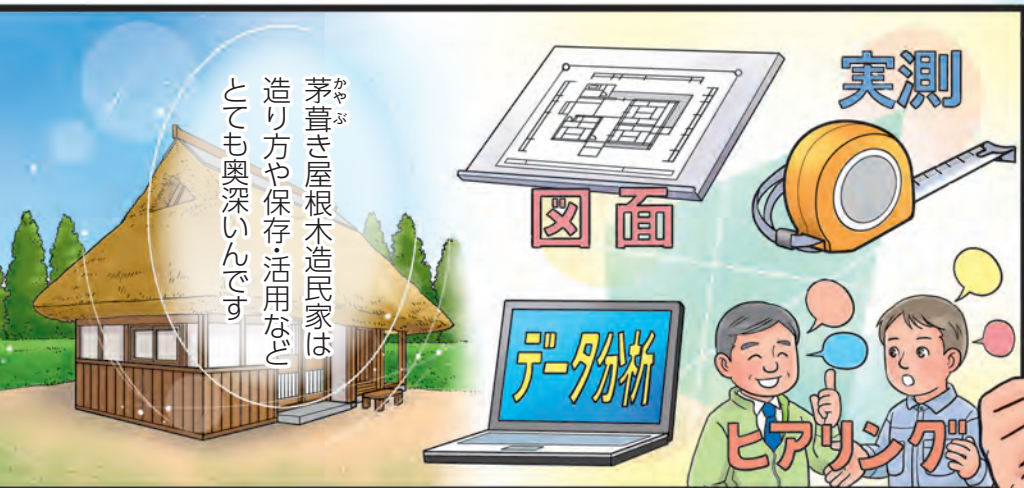
開催しました。今後は職人を交え、地域の人たちと一緒に葺き替えができれば、とも考えています。

地道なフィールドワークが肝 手足に耳…五感をフル活動!

現在、神奈川からの移住者が羽後町の茅葺き民家を再生していて、今後民泊のオープンなど活用していく予定です。私や学生も一部を手伝わせていただき、とてもやりがいのある時間を過ごせました。ただ、私が一番願うのは、生活の場として現代に茅葺き民家が再生することです。そのためにも、維持管理などの細かいデータをまとめ、地域住民の想いを育て、茅葺き民家が現代の風景に自然に馴染む日を目指して活動を続けています。

秋田に来て4年、私と一緒に研究を進めてくれた学生が何人かいます。聞き取りや実地調査のため1日中歩きまわることも多いですが、フィールドワークが好き、アウトドアが好き、人とコミュニケーションをとるのが得意な人が大いに輝ける分野です。時代が先進するのは良いことですが、なくしてはいけない伝統もあります。ぜひ私と一緒に、古き良き伝統建造物を未来に繋いでいきましょう。





茅葺き屋根木造民家は造り方や保存・活用などとても奥深いんです

私は伝統的な建物の研究をしています



匠の技すばい!!

なんと、茅葺きの技術はユネスコ無形文化遺産へ登録されました！
後世に残さないとい!!

建築環境システム学科
計画学講座
都市・建築計画学研究グループ
建築計画学
り せつ 李 雪 助教



好奇心があり、フィールドワークが好き、体力には自信がある
そのこのあなた!

「身近な伝統」から「足下にある豊かさ」を見つけ旅に出かけよう!



将来は地域に根差した伝統的な建物と文化を地元の方と一緒に再生させたい!

※茅場 屋根を葺(ふ)くの用に刈る茅を刈る所。



卒業生は
大手ゼネコンなど
建築業界や、
公務員として活躍中!



今後は、学生と一緒に
葺き替えを手伝った
茅葺き民家も
民泊として
オープン予定

匂いを科学する、匂いで繋がる昆虫と植物の世界を探る

カメムシと洋ナシの 意外な化学

生物資源科学部 生物生産科学科

生物有機化学／天然物化学／化学生態学

野下 浩二 准教授

NOGE Koji

京都市に生まれ、瀬戸内海や姫路城を眺め兵庫県で育つ。京都大学農学部卒業、一度大学院入試に失敗するも、同大学院農学研究科応用生命科学専攻修了、博士(農学)。京都大学COE研究員、サボテンと砂漠に囲まれたアリゾナ大学での博士研究員、秋田県立大学助教を経て現職。趣味は野球や大学時代に熱中した柔道などスポーツ観戦、旅行や街歩き(ご当地グルメを楽しんだり、地図や時刻表を見るのが好きです)。



強烈な匂いには理由があった!? “カメムシ”の未知の世界に迫る

私は天然物有機化学や化学生態学を専門としていて、生物学と化学の両面から、自然界の不思議を探っています。その一つに匂いに関する研究があり、生物と匂いの関係性や匂いの抽出、合成などを手がけています。

その中でも最近特に力を入れているのはカメムシの匂いに関する研究。あの独特で強烈な匂いには、実は様々な働きがあり、個体同士で会話したりコミュニケーションをとるのに必要です。そこ



で、カメムシの匂いと行動との関連性や、どんな匂いを好むのか、ということを研究し、その生態の未知に迫っています。

カメムシは日本に約900種、世界には4万種ほどいるとされており、私もまだお目にかかっていない種類がたくさんいます。種類が違えば嗜好や行動も異なるため、研究の楽しみは尽きません。

生物学×化学のパワーで紐解く 匂いと生態の不思議な関係

生物×化学のパワーは計り知れなく、両方の側面から物事を見てみると、新たな発見につながる事が多いのが面白いところ。化学の力を持てれば、カメムシの新たな側面を発見することができます。例えば、あの嫌な匂いを“良い香り”に変化させることもできます。試験管の中にカメムシの匂い成分を入れ、アルコールや無水酢酸などを加えるとフルーティーな香りに変化するのです。

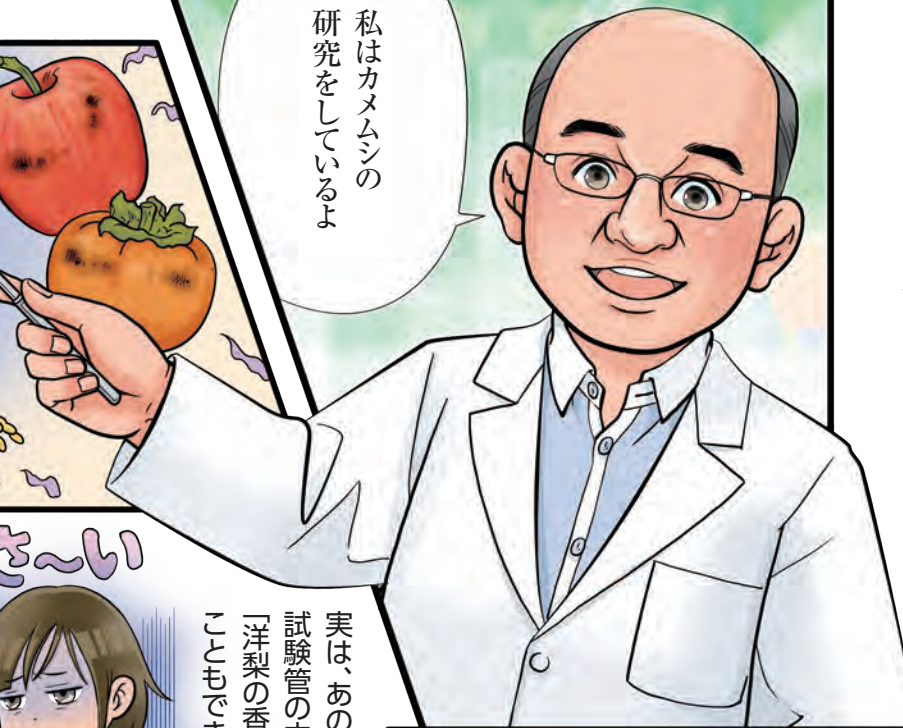
現在、目下研究中なのが、カメムシの嗜好性です。どんな匂いや作物を好むのか、実際にカメムシを飼育して日々研究しています。分かっているのはリンゴやイネ科、そしてセリ科のフェネルの匂

いを好むということ。甘い匂いだけではなく、ハーブにも寄ってくるのは面白いですね。好きな匂いを研究すれば、その匂いでカメムシを誘引することができます。将来的には「カメムシホイホイ」のような駆除用品の誕生にも役に立てるかもしれません。ただ、カメムシの種類が多い分好きな匂いも多岐に渡っていること、またそれを融合させても効果があるものなのか、これからの研究課題となりそうです。

また、匂いの研究はカメムシだけにとどまりません。匂いの分析や抽出する技術を生かして、最近では「秋田杉ジン」の開発に協力させていただきました。匂いに関する研究は、今後も食品や日用品の分野で活躍できる、将来性の高い研究分野だと考えています。

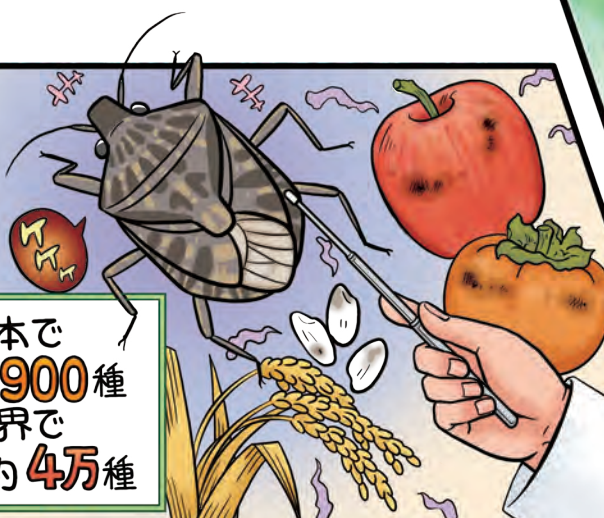
卒業生は公務員の農業職や食品業界、農用系の職で活躍しています。大学での研究は、本当に面白いですよ。設備が整っていて時間もあるので、高校までとは桁違いのスケールで実験に没頭できます。今、少しでも化学や生物に興味があるのなら、ぜひ一緒に生物の未知を探険しにいきましょう!

私はカメムシの研究をしているよ



くさい？
農作物につく害虫？
あまりいいイメージはないかな？

日本で約900種
世界で約4万種



生物生産科学科
分子シグナル制御グループ
生物活性物質分野

のげ こうじ
野下 浩二 准教授

実は、あのくさい匂いを試験管の中で「洋梨の香り」に変化させることもできるんだ！

くさい



悪臭

無水酢酸

アルコール

化学の力

etc...

フルーティ



洋梨の香り

将来的には、カメムシの行動をコントロールして「カメムシホイホイ」を作りたい！

皆さん
まっぴーね



「いきもの」に興味がある、常識に縛られずに「面白さ」を見つけたい、または「化学」は難しいと思っている、その君！

ぜひ一緒に「生物」を「化学的」に見てみよう！
きつと新たな「視点」を持つことができる！

卒業生は公務員の農業職に進んだり食品業界の道に進む事も可能！



最近では匂いの成分分析の面からお酒の「秋田杉ジン」の開発に協力



STOP!
未成年者
飲酒

秋田県立大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



秋田県立大学の教育・研究・地域貢献活動は、2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標であるSDGsと密接にかかわっています。教職員・学生が一丸となってSDGsの目標に取り組み、特色ある教育研究のさらなる推進、地域連携活動を展開します。



バイオマス粉碎材料・利用法の開発



バイオマス(主に木)を μm サイズに粉碎した材料を、3Dプリンターなどで使われるPLA樹脂と混練する、糖化発酵させてバイオエタノールを生産するなど様々な用途で活用することを考えています。新しい材料や利用法の開発、それに向けた粉碎方法の開発を行っています。



松くい虫被害から海岸マツ林を守る!!



「炭やきで夕日の松原まもり隊」は、2002年から地域住民と本学教員や学生が一丸となり、秋田キャンパス周辺約16haの海岸林を対象に、松くい虫被害木を特定し、これらを伐採して炭づくりを行い、海岸マツ林の環境保全と木材資源の有効活用などに精力的に取り組んでおります。



木を原料にした未来のクルマを開発



持続的に生産可能な資源である木材などの植物由来で、次世代素材として期待されているセルロースナノファイバーの、軽量性や高強度、低熱膨張性等のユニークな特徴を活かした材料の新規開発に取り組んでいます。製造時の環境負荷低減や軽量化による省エネに貢献する自動車部材や建築部材の開発に挑戦しています。



持続可能な社会を環境工学で考える



環境工学が専門の教員が、持続可能な社会の実現に必要なことを工学分野のほか経済や法律まで広い視野で研究しています。養豚場のし尿排水を微生物処理し、有機肥料として稲作や野菜栽培に使い、資源の循環利用と付加価値をもたらす取り組みや、リスクという考え方の教育方法の開発などに取り組んでいます。



美味しい減塩商品を開発し健康で豊かな食生活を実現



健康で豊かな食生活の実現に向け、減塩しても美味しさを損ねることなく塩味を増強する方法を探り、「美味しい減塩商品」の開発への応用を目指しています。食品の物性の違いや、他の味成分との相互作用によって、塩味の感じ方や料理のバランスにどのように影響を与えるのか研究しています。



異常気象や問題土壌等、不良環境下での作物生産の向上



世界的に土壌劣化と、異常気象が増加しており、食糧保障のためには不良環境下での作物生産の向上が重要です。サブサハラアフリカでは、ダムや水路の整備が進んでおらず、イネが洪水被害に遭っています。そこで、洪水に遭っても耐えられるイネについて研究しています。



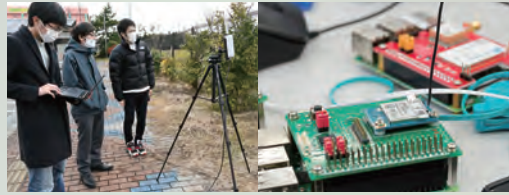
「やわらかい機械」による運動支援



高齢化社会の農業や介護の現場におけるパワーアシストの需要に対し、人の体に寄り添ってアシストする「やわらかい機械」の開発に取り組んでいます。空気圧人工筋肉を核となる要素技術とし、軽くて大きな力が出せること、より自然な動きを生み出せることを目指し改良を重ねています。



人の暮らしを支えるIoTシステムの開発



IoT技術を利用し実世界の様々な情報を収集することで、交通機関や配送、農業など、効率的に人の暮らしを支えるシステムの開発に取り組んでいます。一例としては、その基盤となるネットワークの構築に向けた無線通信技術の研究があります。



建造物が長持ちする建築材料の開発



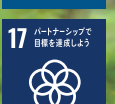
社会的インフラに多用されるコンクリートやセメントに着目し、成形技術の検討や廃棄物などを混合する製造方法など、リサイクルを促進し、建造物が長持ちする丈夫で新しい材料の開発に取り組んでいます。



ウシだから出来る!!地域未利用資源を活用した畜産



飼料自給率100%を目標とした土地利用型畜産経営モデルの創出を目指し、利用間伐材等を微粉碎して消化率を高めた新規木質飼料の開発や、牛の活動状況をAIが解析し管理者に発情や異常を通知するスマート畜産に取り組んでいます。



学生の挑戦

学生による地域連携 学外プロジェクト

Boys, be ambitious



空き家を活かし、学びを活かし、地域と一体となって創る 学生と地域の交流拠点、県大生が中心となるシェアハウス

サークル「秋田学生まちづくり団体」では由利本荘市と協働で空き家を改修し、学生と地域の人の交流地点となる学生シェアハウスづくりに取り組みました。きっかけは地域の方と学生が由利本荘市の空き家を一緒に考えるワークショップを開いたこと。空き家をどんな施設に改修したいか、どうしたら実現できるのか相談を重ね、空き家の実測や劣

化調査、壁のクロス張りや修復、フローリング張り、テーブルやイスの制作まで、職人さんに教わりながら様々な工程に携わりました。2019年6月に始動したこのプロジェクトは、2021年2月に遂に完成・お披露目となりました。“この施設が石脇地区にあることと、ここを拠点に地域活性化のための知恵や思いが湧き、交流が生まれること”を期待し、「ここわき」と



いう愛称がつけられたシェアハウスは、まずはサークルメンバーが生活を始めています。一部の部屋は空けていて、市への移住を考えている人が“お試し”で利用したり、地元石脇で開催しているイベントの際に使ってもらったり、集まりがあった際の場所としてもらったり、学生と地域が交わり、新たな賑わいがもたらされるよう、活用方法を探っていきます。



シェアハウス「ここわき」ロゴマーク

学生の挑戦

学生による地域連携 学外プロジェクト

Boys, be ambitious



学生の思いが詰まった純米吟醸酒「究」が完成!!

若者が気軽に手に取って楽しめる、飲みやすい日本酒づくりをコンセプトに、学生自らが発案・設計・醸造に挑戦する「究(きわむ)プロジェクト」は、本学発の日本酒醸造プロジェクト。究プロジェクトのメンバーは、伊藤俊彦准教授(応用生物科学科/専門分野:醸造学)の指導と株式会社那波商店の協力のもと、酒米の収穫から製麹、仕込み搾りま

で、酒造りの一連の作業に挑戦。原料となる県オリジナル酒米「秋田酒こまち」は、本学アグリノベーション教育研究センターで学生自ら田植えを行い収穫したもの、酵母は、伊藤准教授と学生たちが独自に二次選抜したオリジナル酵母、麹菌は、秋田今野商店との共同開発で生まれた「吟味」。酒造りの原材料は全て秋田県立大学産を使用して



います。ボトルデザインも、学内の学生・教職員から公募し、44案から採用した原案を基にラベルを制作。秋田県立大学の技術の粋と学生の感性がたっぷり詰め込まれた新世代の日本酒「究」。今年はフルーティーな香りが特徴的で、サラ〜ッと上質な純米吟醸酒に仕上がりました！！

純米吟醸酒「究(きわむ)」

純米吟醸酒「究」 写真券
2千本限定 720ml入り 1,609円(税込)
再醸造 写真券
400本限定 500ml 1,500円(税込)



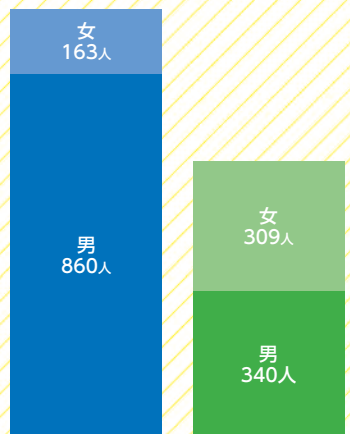
数字で見る 秋田県立大学

少人数教育を核とした秋田県立大学の特長

学部生数

1,672人

システム科学技術学部1023名、生物資源科学部649名(2021年4月1日現在)。全国各地から様々な学生が集い、個性豊かで活気のある学びの場となっています。



システム科学技術学部 生物資源科学部

敷地面積

約268万m²



学生一人当たりの敷地面積

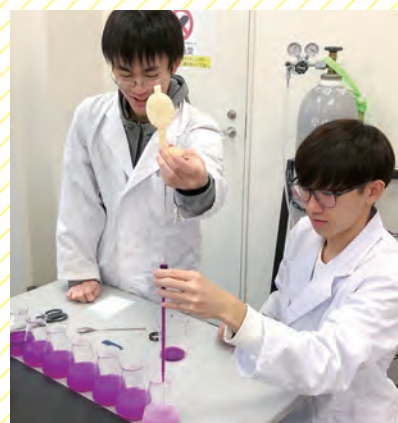
約1,454 m²

3キャンパスを合わせた総面積は何と5万人収容の東京ドーム約57個分の広さを誇ります。ハイセンスで美しく特徴のある校舎を携え、広大な敷地でのびのびと勉学に励めます。

学生自主研究参加率

約6割

「研究」のスタート地点! 県大生にとって充実したキャンパスライフを送る上で欠かせない教育プログラムです。



サークル・同好会数

94団体

アカデミックなものから文化・芸術・スポーツまで幅広いジャンルの94団体のサークルがあります。技を磨き、友情を育み、キャンパスライフを輝かせましょう!



学生の出身都道府県の割合

1:2

秋田県内1/3: 秋田県外2/3。全国各地から学生が集まり「異文化交流」が生まれています!

秋田県内 30%



秋田県外 70%

教員数

202人

教員一人あたりの学生数

約8人



大規模農場の広さ **P.96**

全国一

アグリイノベーション教育研究センターでは、総面積190ha、東京ドームの建築面積の約40個分を誇る全国一の大規模農場を保有しています。広大な農業生産フィールドで、思う存分学べます。



“木材”を冠する研究所

国内唯一

P.103

木材高度加工研究所は、国内の大学に属する研究機関として、「木材」を冠する唯一の研究所。木質資源の理想的な循環系の確立を目指しています。



日本短角牛の飼養数 **P.96**

44頭

アグリイノベーション教育研究センターには、44頭(日本短角種31頭、黒毛和種等13頭)の元気な肉用牛が飼養されています！



学生寮費月額 **P.119**

46,000円

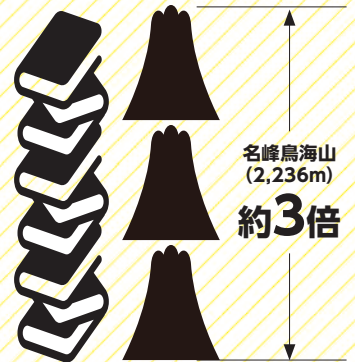
大湯キャンパスの広大な敷地内にある学生寮「清新寮」は、7階建ての建物に全館個室(240室)で食事付き。充実した学生生活を送ることができます。



図書館蔵書数

約294千冊

各キャンパスに図書館があり、地域の人々にも広く開放されています。大学全体で蔵書数は約294千冊で、学生一人当たり約160冊、すべて積み上げると秋田県と山形県に跨る名峰鳥海山(2,236m)の3倍以上の高さになります。館内の閲覧座席数は約629席、入館者数は年間のべ約215千人にもなります。



※本の厚さを平均2.5cmとして計算

学生一人当たり

約**160冊**

閲覧席数

約**629席**

入館者数年間

約**215千人**



全国各地から秋田県立大学へ

(令和3年度学部生数)

中部地方 370名

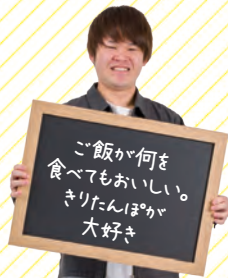
新潟県	117
富山県	21
石川県	13
福井県	2
山梨県	9
長野県	24
岐阜県	25
静岡県	69
愛知県	90



齋藤 颯太 さん
長野県 / 野沢北高校



山口 太雅 さん
静岡県 / 沼津東高校



浅間 皓貴 さん
石川県 / 金沢西高校



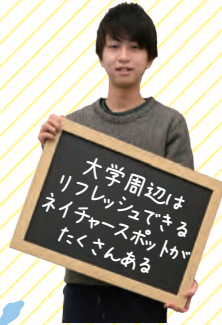
平野 茉莉 さん
静岡県 / 御殿場南高校



梅田 一輝 さん
山口県 / 豊浦高校



柳沢 光玲 さん
長野県 / 松本美須ヶ丘高校



奥村 舜 さん
愛知県 / 尾西高校



梶 愛恵 さん
茨城県 / 鉾田第一高校



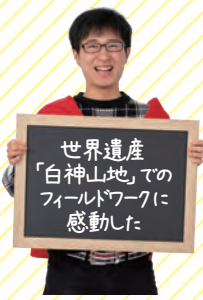
佐藤 ふうこ さん
新潟県 / 新発田農業高校

四国地方 7名

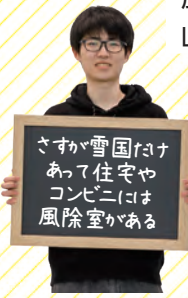
徳島県	4
香川県	2
愛媛県	1

中国地方 7名

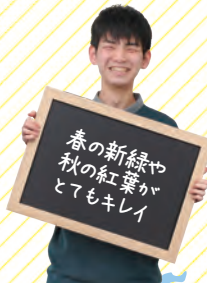
島根県	2
岡山県	2
広島県	1
山口県	2



川口 智也 さん
鹿児島県 / 鹿屋高校



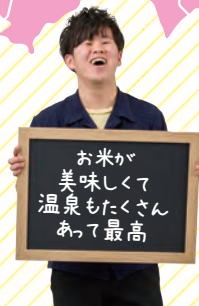
上村 壮次 さん
和歌山県 / 新宮高校



福井 蓮太 さん
兵庫県 / 柏原高校



安木 理沙子 さん
大阪府 / 池田高校



武藤 大悟 さん
岐阜県 / 飛騨高山高校



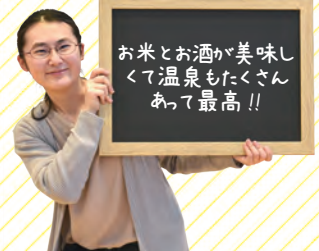
樋浦 理人 さん
栃木県 / 烏山高校

九州地方 11名

長崎県	1
大分県	2
鹿児島県	7
宮崎県	1

近畿地方 51名

三重県	6
滋賀県	2
京都府	2
大阪府	15
兵庫県	19
奈良県	4
和歌山県	3



藤原 万侑 さん
新潟県 / 三条高校



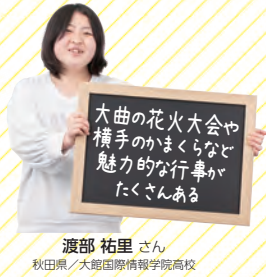
沖縄県

日本全国から同じ志を持った仲間たちが集まります！
卒業後も多方面で活躍する仲間たちと
つながりができます！

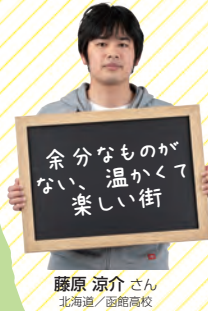
北海道 28名
北海道 28

東北地方 936名

青森県	78
岩手県	122
宮城県	58
秋田県	532
山形県	63
福島県	83



渡部 祐里 さん
秋田県 / 大館国際情報学院高校



藤原 涼介 さん
北海道 / 留萌高校



遠藤 圭紀 さん
北海道 / 北広島高校



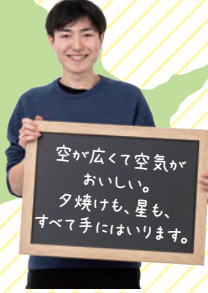
藤井 海成 さん
富山県 / 南砺福野高校



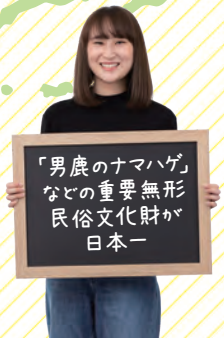
上野 翔太郎 さん
青森県 / 八戸北高校



渡辺 健太 さん
秋田県 / 本荘高校



阿部 晴紀 さん
山形県 / 鶴岡南高校



最上 華帆 さん
青森県 / 青森東高校



梅津 光 さん
山形県 / 東桜学園高校



佐藤 典香 さん
岩手県 / 水沢高校



菊池 和奏 さん
秋田県 / 湯沢高校



伊藤 海玖 さん
宮城県 / 泉高校



小田嶋 彩矢 さん
宮城県 / 古川高校



佐々木 宇宙 さん
岩手県 / 花巻北高校



大山 さくら さん
福島県 / 橋高校



伊藤 れいか さん
岩手県 / 花巻北高校



玉根 由貴 さん
福島県 / 橋高校



阿部 穂積 さん
秋田県 / 由利工業高校



古賀 諭 さん
宮城県 / 泉龍山高校



長川 真依 さん
岩手県 / 大野高校

関東地方 262名

茨城県	72
栃木県	97
群馬県	42
埼玉県	12
千葉県	16
東京都	15
神奈川県	8



三浦 未来 さん
秋田県 / 本荘高校



角崎 歩美 さん
秋田県 / 御所野学院高校



田口 世人 さん
秋田県 / 大曲農業高校

少人数教育だからできる 卓越した教育・研究環境

少人数教育を核とした秋田県立大学の特長

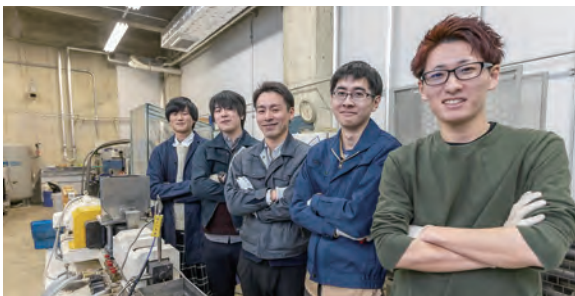
教員と学生の距離の近さが魅力!

少人数教育

教員一人あたり学生数が約8人。教員と学生、学生相互のコミュニケーションを重視し、教養科目から専門科目まで総勢202人の教員が、入学から卒業までをしっかりとサポートします。



教員一人あたり学生8人



1年生から専門的な授業も!

クサビ型カリキュラム

「1年生から専門科目を勉強したい」「3～4年生になって、幅広い教養を学びたい」という学生のために、早くから専門の基礎を学び、高学年になっても文学や哲学などが学修できる、4年間を通じた一貫教育のクサビ型カリキュラムを採用しています。

年次	セメスター	教育科目
4年次	8 7	
3年次	6 5	
2年次	4 3	
1年次	2 1	

基幹科目・共通基礎科目(システム)
 専門基礎科目(生物資源)

詳しくは [各学科カリキュラム表へ](#)

教員の約3割は企業等の実務経験者

実践的な教育指導

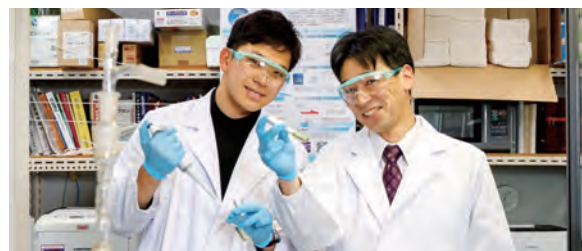
教員の約3割が企業等で実務経験を有し、多分野にわたる多彩な経験を活かした実践的な教育指導を行っています。現場で培った感性やノウハウは、論理だけではなし得ない問題解決の糸口となるはず。是非、発想のヒントを修得してください。



学生生活も頼れる先生がいるから心強い

学年担当教員・ 指導教員

学年・学科ごとに学年担当教員が置かれています。入学後、各学期の始まりに個別面談を行い、勉強・研究の相談はもちろん、学生生活全般についての相談に応じます。また、研究室配属後は、研究室の教員が指導教員として多面的にサポートします。



手厚い就職支援体制

就職に強い大学

キャリアカウンセラーを中心とした多角的な支援体制が確立されています。学生が自らの力で自分の将来について考え、決断し、道を切り開いていくことができるよう、学生一人ひとりに寄り添い、教職員一丸となって誠実にサポートします。

就職内定率

100%

4年
連続!!

就職希望者281名
就職内定者281名



詳しくは P28へ

入学してすぐに“研究”ができる!

学生自主研究

入学したら直ぐに研究が出来る本学独自の教育プログラムです。学生自らが研究責任者となり、指導教員や先輩のアドバイスのもと、計画的に研究を進めます。1研究あたり15万円を限度に研究資金を交付します。



詳しくは P22へ

教員との交流がより学生生活を豊かにします

オフィスアワー

学生がより多くの教員と接する機会が得られるよう、教員はそれぞれ決まった時間に研究室に在室し、授業・進路・学生生活など様々な質問や相談に応じています。“教員と学生の距離が近い”、それが本学の大きな特色の一つです。



国際感覚を備えた人材を育成

海外留学プログラム

海外協定校等での短期研修や学生交流を目的とした「国際交流プログラム」などを実施しています。研修前オリエンテーションの開催、国際航空運賃やプログラム費用の支援など、様々な面で海外留学をサポートしています。



能力のある学生をもっと応援!

特待生制度 (P120)

[認定要件]

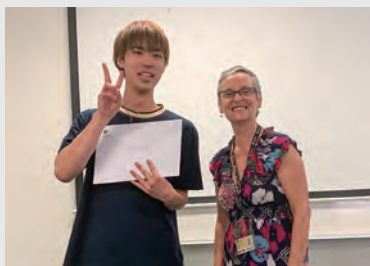
★入学生特待生 (秋田県内高校出身者のみ)

大学入学共通テストで本学指定科目を受験し一定の基準を満たした場合、年間授業料相当額(535,800円)を4年間、奨学金として給付します。

★在学生特待生

成績優秀者には年間授業料相当額の半額を給付します。

特待生に認定されたことで、学ぶことへの意欲や好奇心が強くなりました。自分の目で様々なものを見たいという思いから、大学の留学プログラムであるオーストラリア/ニューカッスル大学での語学研修に参加しました。秋田県立大学は、意欲があれば沢山のことを学ぶことができる場です。何事にも興味をもつことを大事にし、今後も学び、多くの経験をしていきたいです。



システム科学技術学部 経営システム工学科 2年
角掛 亮太さん TSUNOKAKE Ryota
岩手県/盛岡第三高校

学生の努力の成果を称え表彰します

表彰制度

秋田県立大学の学生たちは、勉強に研究にサークルに社会活動に、様々な分野で才能を開花させています。



北海道東北学生個人ボウリング選手権大会優勝(前列一番右) 特殊非感染防止に買収(前列左から2番目)



全日本アンサンブルコンテスト東北大会金賞受賞



成績優秀者は卒業式で表彰

苦手な教科は入学前から強化

入学前準備プログラム

総合型選抜・推薦選抜で合格した学生には、大学生活スタートまでの時間を有効活用するため、月2~3回の添削指導やスクーリングなどを行います。入学前に基礎から学び、入学後の授業に備えることができるので安心です。



頼りになる先輩が学修をサポートします

ピアチューター制度

本荘キャンパスでは、先輩ピアチューターが数学・物理の質問に応じる「数学・物理駆けこみ寺」を開設しています。秋田キャンパスでは、「あきた地域学」などの授業を教員の補佐として先輩がしっかりサポートします。



ふるさと振興に意欲を持った学生を応援!

アクションプラン・コンテスト (P121)

開学20周年記念募金を原資に創設した事業で、ふるさとの振興に意欲と独創的アイデアを持つ学生を応援する制度です。

「未来へつなぐリンゴのジョイント栽培」というテーマで、リンゴ栽培にスマート農業を活用し、若者が高所得を実現できる持続可能な農業プランを提案しました。大学入学後、講義などで果樹栽培に興味を持ち、生産現場の高齢化や後継者不足などの課題に直面していることを理解しました。大学からの手厚い支援により、生産現場での活動や交流の幅が広がるとともに、将来に対する夢が広がり、学びに対するモチベーションが向上しました。



生物資源科学部 応用生物科学科 3年
高橋 一成さん TAKAHASHI Kazunari
宮城県/仙台第一高校

創造力を育む“ものづくり”の活動拠点

創造工房

システム科学技術学部／本荘キャンパス

学生の自主的・創造的な“ものづくり”の活動拠点です。施設内部には工作道具や測定器、コンピュータなどプロも驚くような多様な機器がずらりと並んでいます。学内向けの体験型の科学教室や、子供たちにもづくりの楽しさを伝える夏休み科学教室なども開催しています。

WEB



“木材”を冠する国内唯一の研究所

木材高度加工研究所

附置研究所／能代市

(P103)

※教員紹介ページ

国内の大学機関に属する研究機関として、「木材」を冠する唯一の研究所。木質資源の理想的な循環系の確立を目指して、木材の基礎物性・加工・利用に関する研究と技術開発を行うとともに、高い技術力を備えた人材を育成するため、大学院教育にも取り組んでいます。

WEB



最先端のバイオテクノロジーを駆使して生命現象を解明

バイオテクノロジーセンター

生物資源科学部附属／秋田キャンパス

次世代シーケンサーをはじめ最先端機器が整備され、DNA塩基配列の解析や遺伝子組み換え植物の作製、デンプン構造解析などの受託解析を行っています。熊が人間を襲う事故が相次ぐなか、人間を襲った熊を特定するDNA鑑定・分析を県からの委託で行うなど、学内外のユーザーに広くサービスを提供しています。

WEB



大湯キャンパス／スマート農業の研究拠点・全国一の広さを誇る大規模農場

アグリノベーション教育研究センター

大湯キャンパス

(P96)

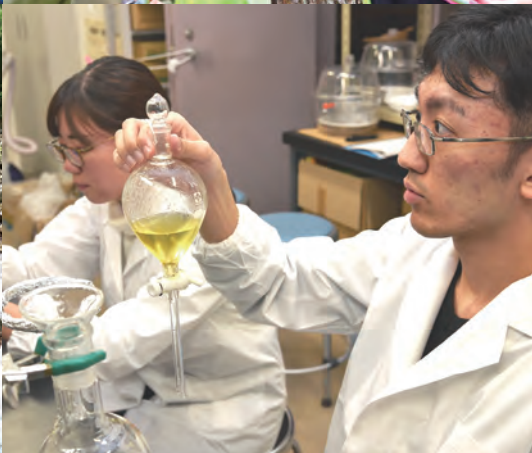
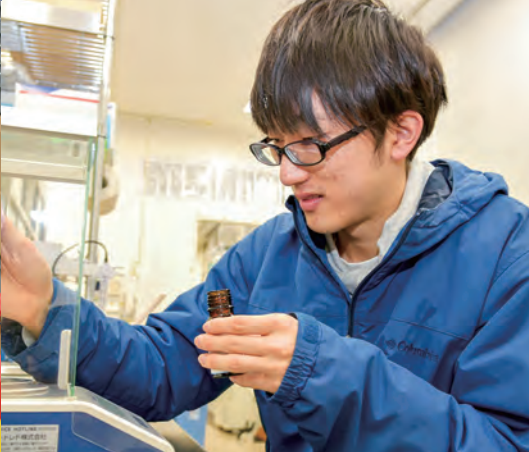
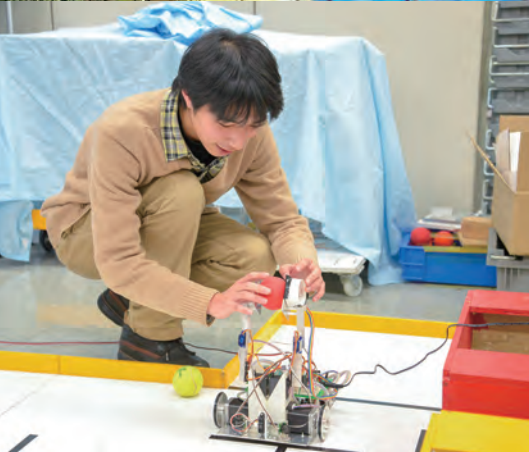
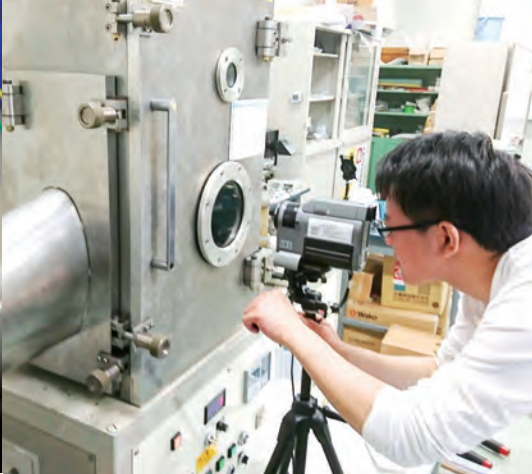
Society 5.0時代のスマート農業に関する教育研究の拠点として設置したセンターです。センターのフィールドは総面積190ha、東京ドームの建築面積の約40個分。そのうち圃場面積が164haあり、大学附属農場の中で全国一の広さ。水稲に加え、大豆や小麦などの畑作物、果樹や野菜、花きなどの園芸作物、牧草やトウモロコシなどの飼料作物が栽培されるとともに、44頭の肉用牛も飼養されています。

WEB



研究のスタート地点！ 学生の好奇心に応える教育プログラム

学生自主研究制度



入学したら直ぐに研究に取り組んでみたい！専門分野に触れたい！という積極的な学生の期待に応える本学独自の教育プログラムです。学生自らが研究責任者となり、指導教員や先輩のアドバイスのもと、計画的に研究を進めます。開学当初から導入している本制度には、多くの県大生が参加しており、充実したキャンパスライフを送る上で欠かせない制度です。

★応募資格 1・2年次の学生

★研究資金 1件あたり15万円を限度に交付

★学生自主研究を行った先輩の声

- ・卒業研究に役立つ知識・技能が身につきました
- ・学生自主研究で研究テーマと出会い大学院にまで進学しました
- ・1年次から指導教員や研究室の先輩と仲良くなりました
- ・研究室配属前に学会発表やサイエンスインカレ出場などの貴重な経験ができました

研究資金の交付・指導教員からのアドバイス。実験スペースや機材の提供。

3年次以降
本格的な専門分野の
研究へ



計画に沿って
研究

承認



大学

申請



テーマ決定・
企画策定



先輩たちの研究テーマをチェック!!



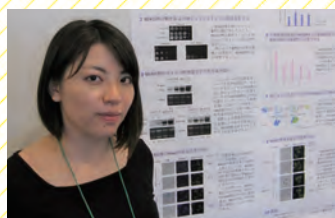
学生自主研究の学びを社会へ!!

1年生 食に関する抗菌性の探究

2年生 清酒酵母を用いた蜂蜜酒の小仕込み試験

生物資源科学研究科 生物資源科学専攻2年
 福田 まみ(東京都/戸山高校)
 内定先 東色ピグメント株式会社(化粧品OEMメーカー)

1年次、友人の提案で自主研究をスタート。研究を進めていくうちにその分野の面白さを肌で感じました。自分だけでは興味を持たなかったかもしれない分野に、学生自主研究を通して触れることができたのです。1年生で微生物分野、2年生で酒類分野の研究を行い、現在は醸造微生物研究室に所属しています。この経験が大学院の研究や将来の夢に繋がっています。4月から憧れの化粧品メーカーの研究職として勤務しますので、大学で学んだ専門的知識や研究スキルを活かし、お客様に満足度の高いソリューションを提供することで、沢山の人の生活に貢献することが私の夢です。

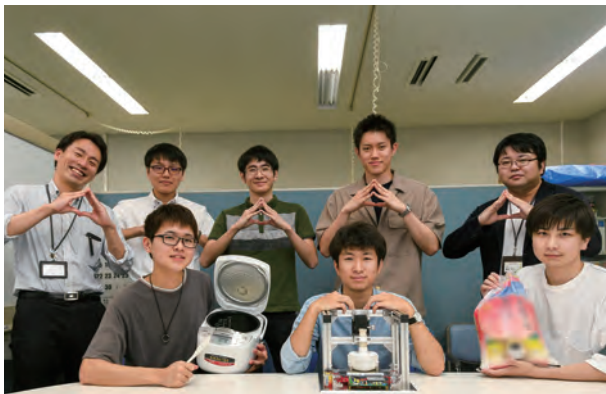


学生自主研究レポート

システム科学技術学部 [令和元年度：43件]

おにぎり成形機の開発

チーム名 NO ONIGIRI, NO LIFE!



システム科学技術学部 機械工学科
2年 渡邊 貴博(茨城県/竜ヶ崎第一高校)
2年 荻崎 大輝(茨城県/佐原白堀高校)
2年 船木 駿(新潟県/高田高校)

おにぎりの美味しさは「食感」が重要ですが、握りに大きく左右されます。コンビニおにぎりなど、機械によって握りが均質化されている例もありますが、見た目や持ちやすさ、生産性などの要素も考慮されており、食感だけで判断されていません。そこで、おにぎりの成形に必要な圧縮荷重を機械工学で学ぶ材料試験により調べて握り方の定量化を図り、官能評価と比較することで、誰でも美味しく作れるおにぎり成形機を開発を目指しました。

伸縮腕による狭所の清掃ロボの開発

チーム名 高機動汎用ロボット狭所清掃ロボ班



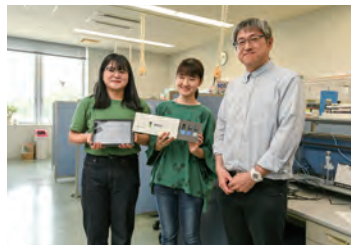
システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科
2年 樋口 琢己(岩手県/盛岡中央高校) 2年 長谷川 快(秋田県/西目高校)
2年 高山 圭(秋田県/男鹿工業高校) 2年 任田 幸生(富山県/福岡高校)

家電などに興味を持っていたため、日常生活で使っていたロボットを自分で作ってみたいと思いました。人間の手を伸ばす動作と似た動きができる「伸縮機構」を利用し、一般的な掃除ロボットでは掃除することができない狭い隙間を掃除できるロボットを目指しました。既製品の円盤型自動掃除機と、独自の伸縮腕機構を組み合わせたロボットを設計し、試作ロボットの製作まで行いました。

ストーカー撃退グッズを作ろう!

～MESHを用いた防犯グッズの作成～

チーム名 MESH ならぬ HASH



システム科学技術学部
情報工学科
2年 曾我 咲瑛
(福島県/須賀川桐陽高校)
2年 阿部 ななみ
(山形県/酒田東高校)

若い女性が夜道を一人で歩く時、不安で怖い経験をした方もいると思います。そこで、ストーカー被害を防ぐ防犯グッズを作成しました。近年急速に開発が進んでいる子供向けのプログラミング教材は子供の持つアイデアを簡単に実現できるように工夫されており、短い研究期間でのグッズ完成にも有効と考え、「MESH」という教材を利用して作成しました。

学生と地域の関わり

～由利本荘市における空き家の利活用のあり方～

チーム名 CKhouse



システム科学技術学部
建築環境システム学科
3年 高橋 樹凜
(山形県/酒田東高校)
3年 工藤 千紘
(岩手県/花巻北高校)

空き家は日本において重要な都市問題です。本荘キャンパスのある由利本荘市内でも空き家・空きビルを目にすることがあり、地域の衰退が顕著になっています。そこで、由利本荘市と同様の課題を抱えており大学の建築系学科のキャンパスを有する山形市、柏崎市を加えた3地域を調査比較し、将来の空き家利活用の実現手段を考察しました。

地域の活性化を目指して

～既存トレイルを組み合わせたロングトレイルコース開発による秋田の魅力発信～

チーム名 MSM



システム科学技術学部
経営システム工学科
2年 木村 舞
(秋田県/湯沢高校)
2年 刈屋 未夢
(岩手県/盛岡北高校)
2年 半田 咲輝花
(秋田県/聖童女子短期大学付属高校)

過疎地域を活性化させ秋田県の発展に繋がりたいと考え、秋田の自然が豊富であることに着目しました。他県の自然観光資源の活用状況を調査したところ、トレイル(森林や原野、里山などにある歩くための道)が利用されていると知り、秋田県内のトレイルを調査して、モデルコースの作成やfacebookでの発信を目指して活動を行いました。

学生自主研究レポート

生物資源科学部 [令和元年度：37件]

グミの食感の視覚化及びおいしさへの影響の検討

チーム名 L&M



生物資源科学部 応用生物科学科
2年 荒屋 未友来(青森県/八戸北高校)
2年 八嶋 莉緒奈(北海道/北海道科学大学高校)

私達は、特に若者に人気があるグミを用いた研究に取り組みました。近年、様々な色、風味および食感のグミが続々と発売されており、グミの種類は多種多様で食感も特徴的です。硬さの異なるグミや風味の異なるグミを用いて、食感と風味の違いが美味しさに与える影響と人気の秘密を探りました。食感があるため味の変化が生じてより楽しいと感じられるグミには、「噛めば噛むほど美味しい」が成り立っていることが分かりました。

動物の排出物は種子散布に貢献するのか

チーム名 Poop



生物資源科学部 生物環境科学科
2年 吉田 菜々穂(宮城県/尚絅学院高校) 2年 木野内 亜美(福島県/安積黎明高校)
2年 熊谷 美奈加(北海道/札幌北陵高校) 2年 小川 りさ(山形県/米沢興譲館高校)

図書館でクマの糞から種子が芽生えてくる文献を見て、他の動物の糞でも同じことが起こるのか、大学周辺でも動物の糞による種子散布が起こっているのか興味を持ちました。大学周辺や東北の森林から、哺乳動物の糞を採取し、得られた糞に混入している種子の種類や数を分析しました。また、動物の糞の中に含まれていた種子の発芽率を調べるために、発芽実験を行いました。自分たちで同定した種子と、DNA実験の結果が一致していた時、努力が報われたと感じました。

化粧品原料としても重要なアキタブキの遺伝子解析

チーム名 植物と化粧品と僕たち。



生物資源科学部 生物生産科学科
2年 漆山 堅介(山形県/山形南高校) 2年 梅田 一輝(山口県/豊浦高校)
2年 鈴木 雄悟(秋田県/角館高校)

化粧品メーカー(株)アルビオンの白神山地にある研究施設にお邪魔させていただき、巨大アキタブキに興味を持ちました。秋田県では食用として利用されてきましたが、その由来や植物学的な研究はほとんど未知の領域です。「葉柄が2mlほどにもなるアキタブキは、フキと同じ仲間であると言えるのか」を大きな題材として掲げ、アキタブキの形態学的及び遺伝学的な背景を明らかにするために、アキタブキの観察と遺伝子解析を行いました。

地域未利用資源を活用した国産畜産物の生産

チーム名 畜産王



生物資源科学部 アグリビジネス学科
2年 白鳥 竣也(秋田県/秋田中央高校) 2年 小林 佳大(茨城県/古川第三高校)
2年 徳田 陽介(岩手県/盛岡農業高校) 2年 田村 真佑果(青森県/八戸北高校)
2年 森橋 央佳(新潟県/柏崎高校)

日本の飼料自給率は非常に低く、畜産経営に必要な不可欠な飼料も輸入に依存しております。畜産経営の安定化のためには、国内で生産・調達できる飼料原料の活用による飼料自給率の向上が重要ですが、水田を活用した飼料用米の生産や、おから・醤油粕等の食品製造業の副産物の活用を進める動きがあるものの、大幅な自給率向上には至っていません。そこで、秋田県内の製粉工場で産業廃棄物として発生しているソバ製粉過程残渣に注目し、その養鶏用飼料としての利用方法について検討しました。

卒業生からのメッセージ

システム科学技術学部

LocalQuest 代表

高橋 新汰 さん
TAKAHASHI Arata

山梨県 / 甲府南高校
システム科学技術学部 機械知能システム学科 2018年度卒業



学生と社会を結びつけ、
「地方学生の情熱」を起点に
新しい価値を生み出す

秋田市で開業し、ボランティアの求人広告やインターンシップコーディネートの2つの事業を開発中です。今の仕事のきっかけは、在学時代に感じた違和感です。私の同級生や後輩が、あまり社会と関わる機会を持てずに就職活動に直面し、苦しんでいるという姿を見てきました。大学生の時からもっと社会に関われるような仕組みがあれば、学んだことをアウトプットする機会にもなり、より充実した大学生活を送れるのではないかと考え、現在のサービスを開発するに至りました。

仕事をしていく中で、自分が届けたい価値が参加者やクラ

イアントに届いた時に一番やりがいを感じます。コロナウイルスの影響もあり引きこもりがちな大学生が、活動を通して自己を社会へ開放していく姿や、農家さんと学生が交流しお互いに気づきや学びを得ている姿など、学生と社会の結びつきが生まれ、満足していただけることがとても嬉しいです。

人口減少日本一の秋田県ですが、物理的リソースにあふれる秋田から新しい価値やビジネスを生み出すことは非常に大切だと思っています。「地方学生の情熱」はその起点になると信じています。今後も学生が社会や地域と関わり、自分の情熱を育める環境を作っていきたいです。





私は現在、3年前に地元の横手に帰郷して友人と起業した会社を運営しています。社名のツバクロはツバメの古い呼び方に由来しています。ツバメが毎年同じ巣に戻るように、同じように秋田に戻ってきて地元を盛り上げたい人たちが帰ってこれるような場所を作るという意味をこめ、秋田県の魅力を国内外に発信することを目標に活動しています。今の仕事には県立大の頃の経験や人との関わりが特に力になっていると感じます。

例えば起業してすぐに横手市産りんごの商品ブランドの立ち上げに挑戦した際、協力してくれたりんご農家さんは

県立大で私と同じ芋燈会に所属していた先輩です。ブランドの商品は主に乾燥りんごを使ったものとなっており、乾燥品の製造・管理には大学で学んだ水分活性や微生物の知識が活かされています。商品は東京や大阪の百貨店・小売店で販売されており、私達は製造から出荷まで一括して業務としています。最近では地元の酒蔵さんにHACCPによる衛生管理の導入指導をしており、醸造学で学んだ知識や公衆衛生学で学んだHACCPの知識が役立っていますし、県立大の多くの教職員の方々のご協力を頂いております。今の私があるのは県立大の頃の経験があるからだと思います。



生まれ育ててくれた故郷、
秋田に恩返しをしたい。

株式会社ツバクロ 取締役 COO

谷口 知行 さん
TANIGUCHI Tomoyuki

秋田県／横手高校
生物資源科学部 応用生物科学科 2007年度卒業
大学院・生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 2009年度修了

卒業生からのメッセージ

生物資源科学部



CAREER SUPPORT

4年後の希望や夢に向かって、一緒になって考える
アツい支援体制が整っています

システム科学技術学部／主な就職・進学先

就職先企業実績 (令和2年度卒業生)

【県内就職】 ■建設業：(株)サンコーホーム ■製造業：インスペック(株)／小林工業(株)／JUKI産機テクノロジー(株)／ニプロ(株)／丸大機工(株)／ミネベアミツミ(株)／(株)秋田新電元／(株)小滝電機製作所／(株)角館芝浦電子／TDK(株)／(株)東北芝浦電子／DOWAセミコンダクター秋田(株)／エヌピーエス(株)／(株)五洋電子 ■情報通信業：エイデイケイ富士システム(株)／SCSKニアシオアシズムズ(株)／(株)コア／リコーITソリューションズ(株) ■卸・小売業：リコージャパン(株) ■金融・保険業：(株)秋田銀行／(株)北都銀行 ■その他：(株)ザ・フォルビ／(株)ソユー／(医)明和会／由利本荘医師会病院／日本年金機構／コードアーキテクト(株)／(株)プレステージ・インターナショナル

【県外就職】 ■建設業：(株)アーバンプラン／(株)アキュラホーム／(株)イチケン／(株)岩城／(株)大林組／(株)オノヤ／(株)柿本商会／鹿島建設(株)／(株)ケミカル工事／新菱冷熱工業(株)／(株)セルコホーム／(株)大気社／(株)大進建設／大日本土木(株)／(株)タカヤ／(株)竹中工務店／(株)東京エネシス／東北発電工業(株)／戸田建設(株)／飛鳥建設(株)／(株)ハース／(株)フジタ／(株)平成建設／(株)北洲／前田建設工業(株)／(株)ミサワホーム静岡／三井ホーム北信越(株) ■製造業：デクセリアルズ(株)／(株)深井製作所／会津オリンパス(株)／旭ダイヤモンド工業(株)／(株)エルモ社／(株)加藤製作所／(株)コガネイ／小林鉄工(株)／(株)ジェイテクト／(株)シグマ／(株)中日諏訪オート電子／日機装(株)／(株)NOBORI／ワタナベフォーマック(株)／アルプスアルパイン(株)／石川サンケン(株)／ソニーセミコンダクタマニュファクチャ

リ(株)／(株)日立ソリューションズ・テクノロジー／ラピスセミコンダクタ(株)／NECプラットフォームズ(株)／山洋電気(株)／セコム工業(株)／東芝ホームテクノ(株)／(株)ナカヨ／(株)日放電子／(株)PFU／(株)北村製作所／(株)TBK／トヨタ自動車東日本(株)／(株)山田製作所／筒井時政玩具花火製造所(株)／山形カシオ(株) ■電気・ガス・水道業：東北電力(株) ■情報通信業：(株)青森テレビ／(株)インテック／宇宙技術開発(株)／AGS(株)／(株)NTTデータ・アイ／キーウェアソリューションズ(株)／キャノンITソリューションズ(株)／CEC新潟情報サービス(株)／(株)DSR／東邦ガス情報システム(株)／日本システム技術(株)／(株)日立ソリューションズ／(株)日立ソリューションズ東日本／(株)ビッツ／(株)ビット・エイ／富士ソフト(株)／(株)フルスピード／(株)マイクロメイツ／明電システムソリューションズ(株)／(株)ユーエスエス ■運輸・郵便業：(株)ネクスコ・エンジニアリング東北／東日本旅客鉄道(株) ■卸・小売業：カメイ(株)／キャノンマーケティングジャパン(株)／菱電商事(株)／(株)コムリ ■金融・保険業：(株)荘内銀行／(株)常陽銀行 ■その他：(株)あいに設計／JR東日本ビルテック(株)／住友林業アーキテクト(株)／(株)日産オートモーティブテクノロジー／(株)ホンダテクノフォート／(株)アトム／日本マクドナルド(株)／(株)仙台進学プラザ／(株)アルトナー／セントラルエンジニアリング(株)／(株)トップエンジニアリング／(株)乃村工藝社／(株)ビーネックステクノロジー／(株)メイテック

【公務員】秋田県庁／青森県庁／秋田市役所／横手市役所

大学院修士生の就職先一覧

(令和2年度修士生)

システム科学技術研究科

【県内就職】 ■製造業：ミネベアミツミ(株)／TDK(株) 【県外就職】 ■建設業：(株)新井組／(株)大林組／(株)熊谷組／大成建設(株)／(株)竹中工務店／前田建設工業(株) ■製造業：雪印メグミルク(株)／東洋紡(株)／凸版印刷(株)／住友重機械工業(株)／(株)ツガミ／(株)日立国際電気／(株)メイキコウ／ヤマザキマザック(株)／イビデン(株)／ソニーLSIデザイン(株)／CKD(株)／セイコーエプソン(株)／三菱電機(株)／(株)ジャムコ／スズキ(株)／(株)SUBARU／ダイハツ工業(株)／ヤマハ発動機(株)／(株)キーテック／YKK(株) ■情報通信業：日本電気通信システム(株)／富士ソフト(株)／(株)FRONTEO／(株)Works Human Intelligence ■運輸・郵便業：東日本旅客鉄道(株) ■卸・小売業：矢崎総業(株) ■その他：NTTファミリアーズ東北(株)／(株)アルテス／王子ホールディングス(株)／応用地質(株)／東洋製罐グループホールディングス(株)／日清エンジニアリング(株)／(公財)日本分析センター／(株)アルトナー／(株)富士通エフサス／(株)メイテック

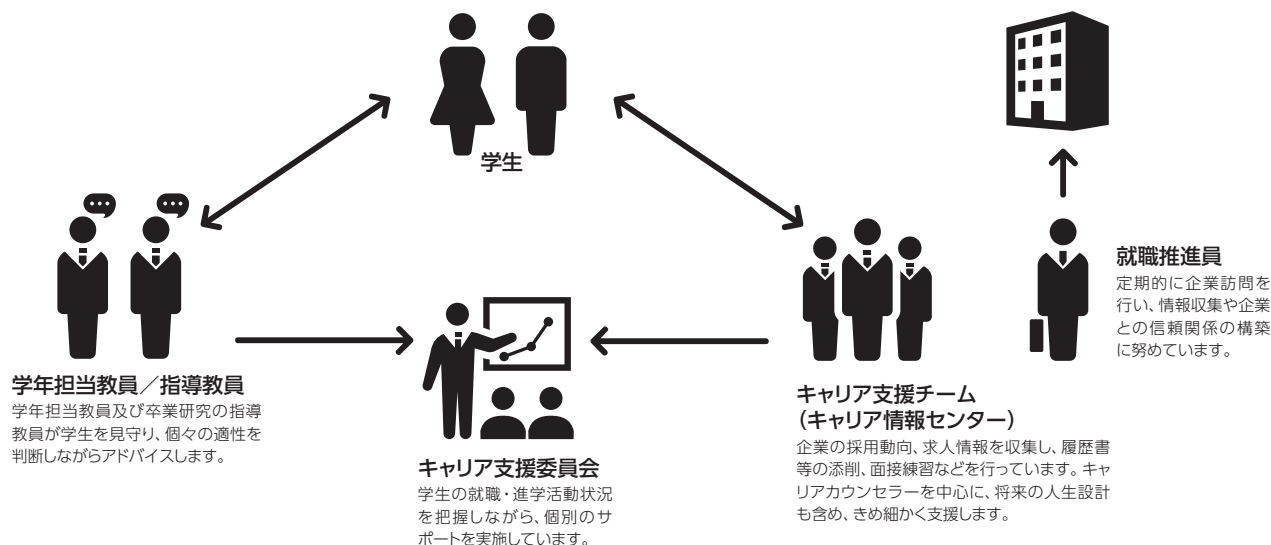
大学院進学実績

秋田県立大学大学院／東北大学大学院／千葉大学大学院／信州大学大学院／筑波大学大学院／名古屋大学大学院／法政大学大学院

万全のキャリア支援体制

MAKE YOUR FUTURE

キャリアカウンセラーを中心としたキャリア支援チーム、指導教員、学年担当教員、キャリア支援委員会、さらには就職推進員が連携・協力する多角的な支援体制が確立されています。教職員一丸となって、学生へのきめ細かな支援を実現しています。



生物資源科学部/主な就職・進学先

就職先企業実績 (令和2年度卒業生)

【県内就職】 ■農業・林業：(株)相川ファーム/ (株)齋藤真二果樹園/ (株)やまだアグリサービス ■建設業：(株)アグネス・シモマ/ 山二施設工業(株) ■製造業：(株)秋田今野商店/ 秋田プリマ食品(株)/ 小玉醸造(株)/ ニプロファーマ(株)/ (株)UMNファーマ ■運輸・郵便業：東日本旅客鉄道(株) ■卸・小売業：秋田食料卸販売(株)/ (株)池田/ (株)エム・イー/ リコージャパン(株)/ (株)バイタルネット/ イオン東北(株)/ (株)伊徳/ (株)タカヤナギ/ 紅屋商事(株)/ 秋田トヨタ自動車(株)/ (株)薬王堂 ■金融・保険業：(株)秋田銀行/ (株)北都銀行/ 羽後信用金庫 ■複合サービス業：あきた湖東農業協同組合/ 秋田しんせい農業協同組合/ 大潟村農業協同組合/ 生活協同組合コープあきた/ 全国農業協同組合連合会 ■その他：(株)秋田県分析化学センター/ (株)ツクイ/ (医)明和会/ (株)光風舎/ 損保ジャパンキャリアビューロー(株)

【県外就職】 ■農業・林業：(株)アーク/ (株)栗駒ポーター/ (株)シムコ/ (有)鳥山牧場/ (有)長島養豚/ 新潟県土地改良事業団体連合会/ (有)パインランドデーリ/ (有)瑞穂農場/ (株)宮城フラワーパートナーズ/ 雪割牧場(有) ■製造業：アヲハタ(株)/ いなば食品(株)/ 岩下食品(株)/ (株)上原園/ 越後製菓(株)/ キスコフーズ(株)/ 銀河フーズ(株)/ サトウ産業(株)/ 三協食品工業(株)/ (株)津田商店/ 白十字グループ/ (株)ブルボン/ ホリカフーズ(株)/ 明治チューインガム(株)/ (株)ヤマザキ/ (株)金龍/ 片倉コープアグリ(株)/ 日新製菓(株)/ 日

本ピグメント(株)/ 武州製菓(株)/ 北興化学工業(株)/ 持田製菓工場(株) ■情報通信業：富士ソフト(株)/ (株)スタジオヴォルン/ (株)日本農業新聞/ (株)融和システム ■卸・小売業：茨城水産(株)/ 東日本フード(株)/ マノモクグループ/ 三井化学アグロ(株)/ (株)エム・イー/ (株)ヤマダ/ (株)タイブレイク/ タキイ種苗(株)/ サミット(株)/ (株)PLANT/ (株)マルト/ (株)薬王堂/ ヤンマーアグリジャパン(株) ■金融・保険業：(株)七十七銀行/ (株)筑波銀行/ 長野県信用農業協同組合連合会/ 名古屋市信用保証協会 ■複合サービス業：北越後農業協同組合/ 北つば農業協同組合/ 全国農業協同組合連合会/ とびあ浜松農業協同組合/ 松本ハイランド農業協同組合 ■その他：(株)ヒノキヤグループ/ オリジナル設計(株)/ (株)福建コンサルタント/ 平成理研(株)/ (株)モスフードサービス/ (株)江東微生物研究所/ (株)アウトソーシングテクノロジー/ 茨城県桜川市商工会

【公務員】 秋田県庁/ 岩手県庁/ 福島県庁/ 群馬県庁/ 富山県庁/ 静岡県庁/ 国土交通省/ 農林水産省

大学院進学実績

秋田県立大学大学院/ 東北大学大学院/ 宇都宮大学大学院/ 静岡大学大学院/ 奈良先端科学技術大学院大学/ 大阪府立大学大学院

大学院修了生の就職先一覧

(令和2年度修了生)

生物資源科学研究科

【県内就職】 ■製造業：秋田プリマ食品(株)

【県外就職】 ■建設業：タマホーム(株)/ (株)本間組/ (株)ETSホールディングス ■製造業：エスピー食品(株)/ (株)小国製麺/ 日本フードパッカー(株)/ 明星食品(株)/ (株)井上香料製造所/ (株)エイエムジー/ (株)キミカ/ ジェイオーコスメティックス(株)/ 東色ピグメント(株)/ ニプロ(株) ■運輸・郵便業：センコー(株) ■卸・小売業：丸和パイオケミカル(株)/ (株)日立ハイテクソリューションズ/ (株)スポット ■その他：キタイ設計(株)/ パシフィックコンサルタンツ(株)/ レディースクリニック京野京野アートクリニック高輪

【公務員】 秋田県庁



SUPPORT PROGRAM

満足度100%の就職へ向けて、初年次からキャリア関連講座やジョブシャドウイングなどを実施し、キャリアに対する「気づき」を促します。その後、学年進行に応じて、インターンシップやキャリアガイダンスなど、より具体的かつ多彩なサポートプログラムを提供します。

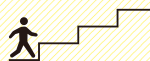
学び

1年次



基礎力を自分のものにする!

基礎知識を身につけるとともに、本学の特長である「クサビ型カリキュラム」により早期に専門分野に触れるほか、「学生自主研究」で学ぶ意欲を喚起します。実習や体験型の教育もスタートします。ここが、未来への第一歩です。



2年次



専門性を高める!

1年生で修得した基礎知識をもとに、専門分野の講義だけでなく、実験・実習を通じて専門的な技術を学びます。講義で得た知識を実際に現場で体験することにより、専門性を高めるとともに、自らの興味・関心分野を見つけます。



キャリア教育は入学後からスタート。自らの仕事観について考えることや、大学生活においても社会に出てから自らを磨く基礎となるコミュニケーションの基本的知識・スキルを身に付けます。

コミュニケーション入門・現代の働く環境

①ジョブシャドウイング

1・2年生を対象とした県内企業における観察型の一泊インターンシップ。学生が事業所で働く大人に「影」のように寄り添い、仕事を観察する実習プログラムです。

②インターンシップ

2・3年生を中心に、夏季休業期間中インターンシップを実施。実社会の場で就業体験を積むことで職業意識を高めます。所定の条件を満たした場合は単位認定します。

両学部共通

キャリア支援

システム科学技術学部

ものづくりの楽しさを実際に体験。これから学ぶ学問分野への動機づけを行います。

創造科学の基礎

一人ひとりが自分の持っている能力や資質を的確に把握して、将来への展望を拓くためのキャリア設計を考える導入講座です。就職観を育み、職業選択の動機づけを図ります。

低学年向けキャリアガイダンス

生物資源科学部

レポート・論文の作成指導、学修の動機づけ、大学生活への適応など、高校から大学への円滑な移行を図ります。

フレッシュャーズ・セミナー

就職活動を円滑に進めるために、心のコントロールの仕方や、自己の再発見について学びます。

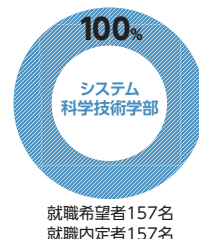
生物資源科学への招待

キャリア開発講座



4年連続!!
就職内定率 **100%** を達成!

令和2年度卒業生378名のうち就職希望者は281名(74.3%)、
大学院進学希望者は85名(22.5%)、専門学校進学等は12名(3.2%)です。



3年次



実践力を培う!

より専門性の高い講義や実験・実習、
選択科目の講義も多くなり、興味のある分野をさらに深く実践的に学びます。
3年次後半からはいよいよ研究室・研究テーマが決まり、本格的に研究がスタートします。ゼミも経験します。

4年次



卒業研究、学びの集大成へ!

学びの集大成「卒業研究」に1年をかけて取り組みます。これまで学んできた知識・技術・実践力を駆使し研究に没頭します。課題発見・解決能力が身につく、社会に役立つ技術者として卒業します。研究をさらに深めるため、大学院に進学する学生もいます。

キャリアガイダンス

キャリアガイダンス

4月から翌年1月まで、原則毎週1回、3年生を対象にガイダンスを実施しています。

(主なプログラム)

SPI能力模擬試験／Webテスト対策講座／履歴書対策講座
／面接試験対策講座／グループディスカッション練習／仕事・業界研究／インターンシップガイダンス／内定者体験発表会
／OB・OG懇談会／就活マナー講座／リクルートスーツ・メイク講座

企業説明会



SMART CITIES OF THE FUTURE

2学部 9学科の学び

秋田県立大学の「農×工」の幅広いフィールドには、無限の可能性が広がっています。



航空機システム
機械学習

小型風力発電システム

植物のお医者さん
樹木医

フィールドワーク
森林生態系
クマ
昆虫・天敵

秋田スギ
バイオマス
畜産動物
ウシ
クローン家畜

環境発電

食品素材利用
機能性食品

バイオサイエンス
iPS細胞
遺伝子
乳酸菌

制御工学

醸造
清酒製造

振動

鉄道車両

耐震補強

消費者行動

画像診断・TV

液晶
ミリ波・テラヘルツ波

バーチャリアリティ
3D 音響技術
画像認識

人工筋肉
生体医工

生活習慣病の解明
ウイルス

鉄筋コンクリート造建物

起業
プログラミング
電子材料
半導体材料
ネットワーク

発酵
酵母

応用経済
金融経済

花き栽培
FLOWER

医薬品
薬用植物

品質管理
商品開発
切削・研削・研磨
精密加工
複合材料
合金
磁性材料

コーヒー

運転支援システム
自動運転
回転モータ
危険運転予測

フードビジネス
減塩

こどもの遊び空間
公共施設

インテリアデザイン
建築都市デザイン
空調・換気
寒冷地の建築
木質材料
木造構法

ビジネスプランニング
データ分析

都市計画
まちづくり

展示場



生物地球科学
電磁波

グリーンツーリズム
品種改良 青果物流通
果物 花粉

水質浄化
微生物生態
環境型社会

土壌修復
農耕地土壌
肥料
土づくり
低カリウム野菜
マイクロ水力発電

スマート農業
植物バイオテクノロジー
付加価値生産物
ダイエット米
遺伝子組み換え
ゲノム編集
在来品種
植物工場
品種改良
ロボット農業
遺伝育種
リモート農業
農薬
米新品種
微生物共生

人工知能
脳情報工学
ロボット
レーザー工学

気象観測
温暖化
山と海のつながり

情報教育
環境教育
工学教育

水環境

熱工学
119
消費
燃焼
サイバーフィジカルシステム

音響信号処理

耐津波設計
耐震補強設計

システム科学技術学部

機械工学科 P.38

熱工学／磁性材料／バイオマス／環境発電／マイクロ水力発電システム／合金／小型風力発電システム／振動／精密加工／切削・研削・研磨／複合材料／レーザー工学

知能メカトロニクス学科 P.44

運転支援システム／回転モータ／画像診断／危険運転予測／航空機システム／自動運転／電子材料／電磁波／脳情報工学／半導体材料／ミリ波・テラヘルツ波／ロボット

情報工学科 P.50

人工知能／機械学習／ネットワーク／プログラミング／パーソナルリアリティ／音響信号処理／自然言語処理／画像処理／シミュレーション／スマート農業／情報教育

建築環境システム学科 P.56

インテリアデザイン／寒冷地の建築／空調・換気／建築都市デザイン／公共施設／こどものあそび空間／耐震補強設計／耐津波設計／鉄筋コンクリート造建物／都市計画／まちづくり

経営システム工学科 P.62

ビジネスプランニング／消費者行動／商品開発／機械学習／データ分析／人工知能／品質管理／水環境／起業／金融経済／サイバーフィジカルシステム／環境教育／応用経済

応用生物科学科 P.72

微生物共生／iPS細胞／ウイルス／機能性食品／減塩／酵母／コーヒー／醸造／発酵／食品素材利用／生活習慣病の解明／乳酸菌／バイオサイエンス／検査・分析／医薬品

生物生産科学科 P.78

品種改良／遺伝育種／遺伝子／花粉／昆虫・天敵／植物工場／低カリウム野菜／植物のお医者さん／ダイエット米／農業／植物バイオテクノロジー／肥料／付加価値生産物／薬用植物

生物環境科学科 P.84

農・林ビジネス／水質浄化／気象観測／昆虫／樹木医／森林生態系／クマ／土づくり／環境アセスメント／土壌修復／フィールドワーク／山と海のつながり／環境型社会

アグリビジネス学科 P.90

農業起業／食品流通／園芸／果物／グリーンツーリズム／家畜／畜産動物／ウシ／ドローン／フードビジネス／リモート農業／ロボット農業／野菜／農業農村整備／農地水利用

生物資源科学部

システム科学技術学部

FACULTY OF
SYSTEMS SCIENCE AND TECHNOLOGY

本荘
キャンパス

「システム思考」による幅広い視野を持ち、
未知の課題に果敢に挑戦する
創造力豊かな人材を育てる。

IoTの発達やビッグデータの活用などにより、社会を含めた
いろいろなシステムをより効率的に最適に設計・活用すること
が可能になってきました。その時に必要になるのが、個々の専
門分野だけではなく、関係する知識や技術を有機的に結び付
け、地域社会とも連携しながら仲間とプロジェクトを進めていく
「システム思考」と行動力です。

システム科学技術学部では、最新の学習機器や研究設備を
用意し、基礎的なサイエンスから最先端のテクノロジーまでを
バランスよく学ぶことができます。多彩な教員の指導と教育
プログラムにより、地域社会ともかかわりを持ちながら「シス
テム思考」を身に付け、活用するための教育を行っています。

秋田県は自然が豊かで、利用できるエネルギーや資源も豊
富にあり、工学の分野にあっても自然から学ぶことがたくさん
あります。再生可能エネルギーの利用や農工連携など、持続
可能な循環型社会に必要な研究・開発も行っています。本学
部では、「ものづくり」・「ひとづくり」を通して豊かな社会の発
展に貢献することを目指します。

システム科学技術学部長
水野 衛 教授

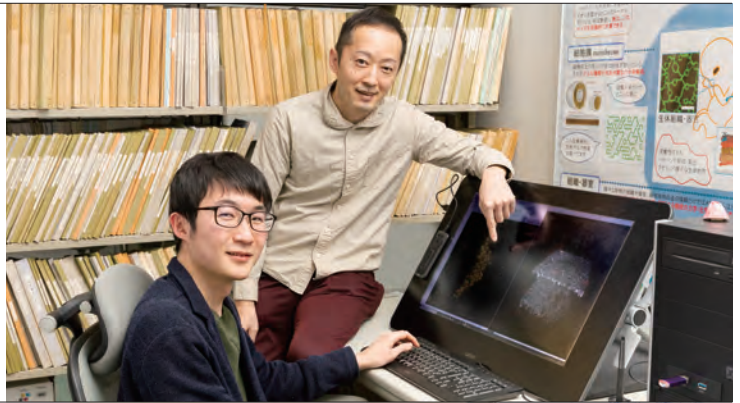
水野教授からの
メッセージを動画で
ご覧いただけます。



機械工学科

入学定員 60名

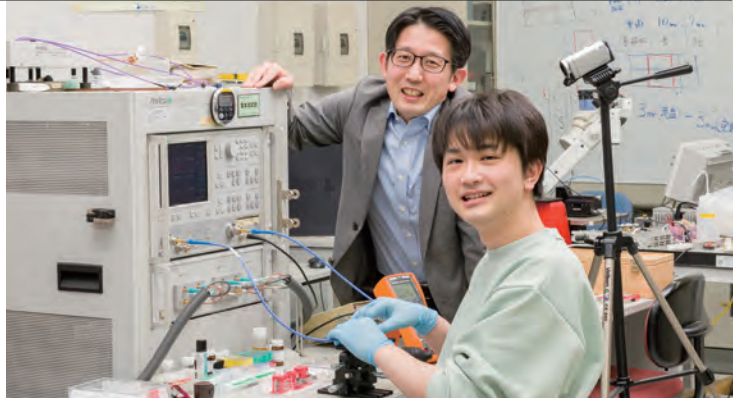
取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(工業)
取得可能受験資格	◎一級技術検定(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上)
活躍が期待される分野	輸送用機器の開発、設計/電気機器の開発、設計/熱機器・流体機械の開発、設計/生産技術、品質管理/インフラ設備の運転、保守/セールスエンジニア



知能メカトロニクス学科

入学定員 60名

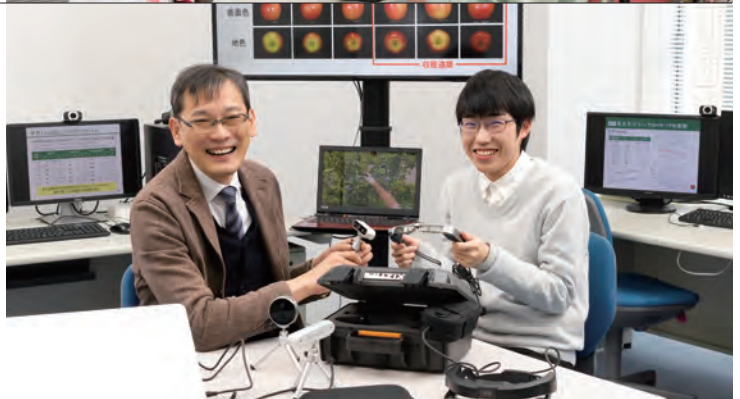
取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(工業)
取得可能受験資格	◎一級技術検定(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上)
活躍が期待される分野	制御・計測、メカトロ設計/生産技術、品質管理/デバイス開発、設計/電子、制御システム設計/情報、通信システム設計/システムエンジニア/セールスエンジニア



情報工学科

入学定員 40名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(情報)
取得可能受験資格	◎一級技術検定(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上) ◎工事担任者(ネットワーク接続技術者)受験科目の一部免除
活躍が期待される分野	ITソリューション、ITインフラ設計/映像音響システム設計/情報、通信システム設計/組み込みシステム設計/ソフトウェア開発/システムエンジニア/技術コンサルティング



建築環境システム学科

入学定員 40名

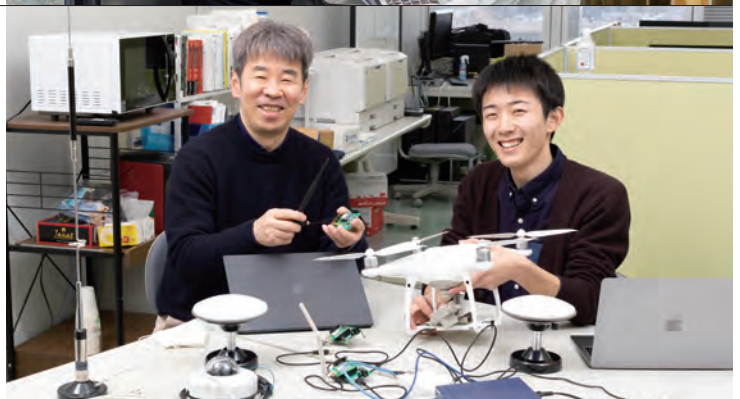
取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(工業)
取得可能受験資格	◎一級建築士試験 ◎二級建築士試験 ◎木造建築士試験 ◎一級技術検定(指導監督の実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上)
活躍が期待される分野	建築設計(意匠、構造、設備)/建築施工管理/建築製品開発、製造/建築行政(公務員)



経営システム工学科

入学定員 40名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(工業)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	経営コンサルティング、プロジェクトマネジメント、テクニカルエンジニアリング、CSR/データサイエンティスト、ファイナンシャルプランニング、銀行、証券/生産管理、品質管理、工程管理、環境管理、ロジスティクス/マーケティング、商品開発、販売企画、販売データアナリシス





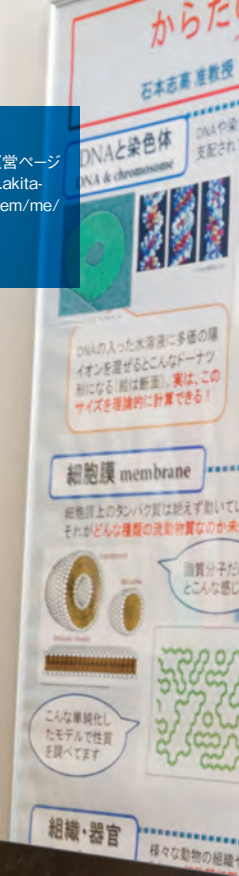
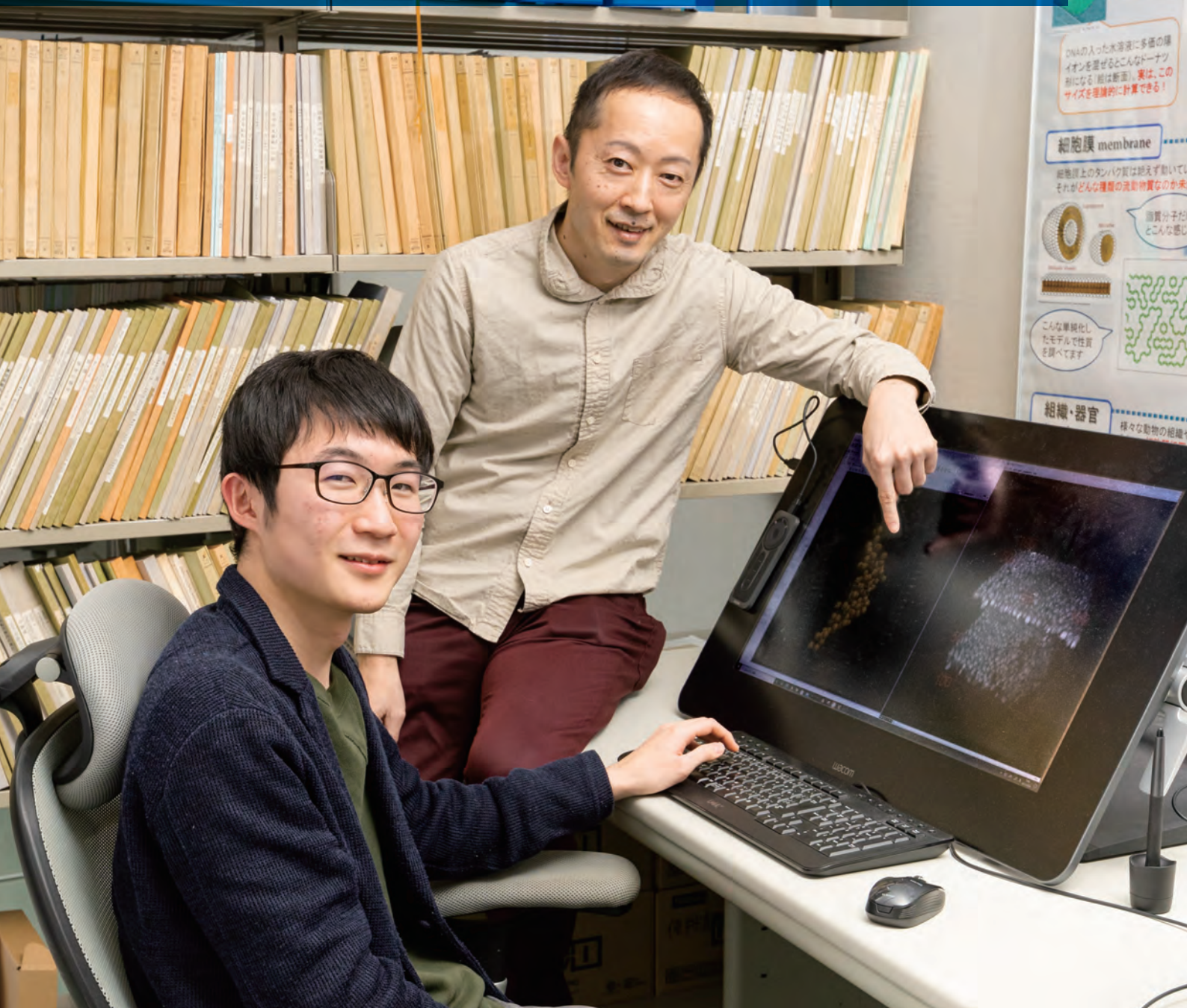
機械工学科

DEPARTMENT OF MECHANICAL ENGINEERING

WEB



機械工学科運営ページ
<https://www.akita-pu.ac.jp/system/me/index.htm>



“ものづくり”は“ひとづくり”から

高校理科教員の免許状の取得に加えて、工学的に数学・物理の学びを深めていきたいという考えから、秋田県立大学を志望しました。機械工学科では、4つの力学(機械力学・熱力学・流体力学・材料力学)を中心に学ぶことができます。いずれの科目でも、数学・物理を基盤に理解を深めていく過程に専門的な学びの面白さを感じています。現在は、クロマチン動態に基づいた染色体の形成メカニズムを生物工学的に解明することを目的に、研究を行っています。生物学と物理学という一見相容れない学問ですが、2つの学問を統合的に解釈するところに魅力を感じています。高分子流体的な観点からこのメカニズムを説明できれば、工学的な応用が期待できます。将来は、高校の理科教員を志望しています。そこで目標としている教育や指導は、物理が専門的な学びに繋がっている側面を、大学で学んだことを生かして生徒に伝えることです。やがては、“ものづくり”を志す“ひとづくり”を目指していきたいです。

機械知能システム学科 4年※ 高橋 勇毅 さん TAKAHASHI Yuki
秋田県/大曲高校

※現在の機械工学科の前身となる学科です。

地球資源・エネルギーの有効活用による、人と環境に優しい高度機械システム

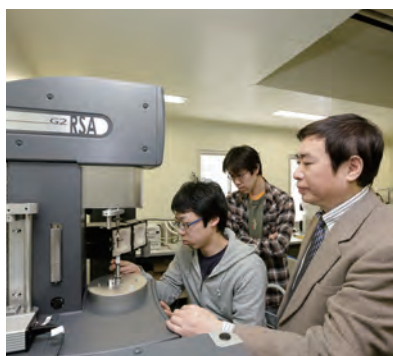
地球資源・エネルギーの有効活用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を行います。教育では、機械工学の基礎をなす材料力学、熱力学、流体力学、機械力学を重視し、ものづくりに必要な知識と技術を修得するための授業を行います。また、プロジェクト型授業などを導入し、“機械屋”としてのセンス・実践力を養います。エネルギーシステム、輸送機械、生産システムを対象に社会での機械と人間の役割・責任分担を理解し、システム思考によって個々の専門分野の有機的結合を行います。そして、問題発見・解決型実践的学習を通して、地域の社会基盤を支える実践的技術者の育成を行います。



機械工学科 学科長
鶴田 俊 教授

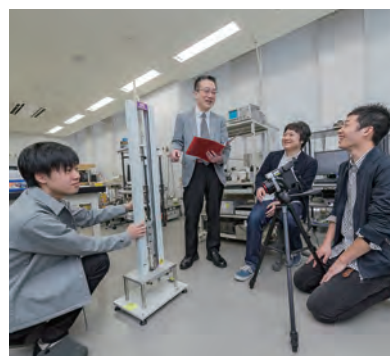
材料構造工学講座

応用材料力学研究グループ



- バイオマスを利用した高分子複合材料の高機能化
- 高分子材料の高度利用
-異種材料接合および塑性加工技術-
- 振動現象を用いた機械材料や岩体にあるき裂の評価に関する研究

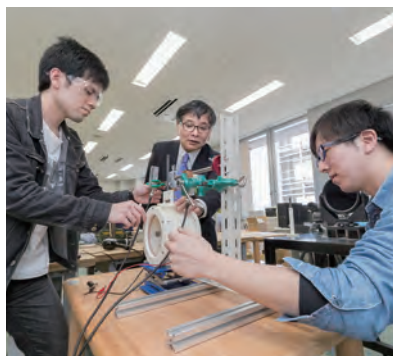
先端材料研究グループ



- 複合材料と機能性材料の変形・内部損傷過程の解明と予測
- 超急冷技術による材料の組織制御と新しい構造・機能材料の開発
- ナノ粒子による新機能性材料の創製とその応用に関する研究

熱・流体工学講座

熱流体研究グループ



- 熱エネルギーの利用および制御の研究
- 燃焼技術の利用および制御の研究
- 植物由来エネルギーの高度利用の研究
- 生物・バイオ材料に関する流体科学的及び工学的な基礎研究

流体科学フロンティア研究グループ



- 新規機能性サスペンションや機能性流体開発のための基礎研究
- 超伝導体と磁性流体を用いた高効率アクチュエータの開発
- 機能性流体や磁場を用いた移動搬送装置の研究

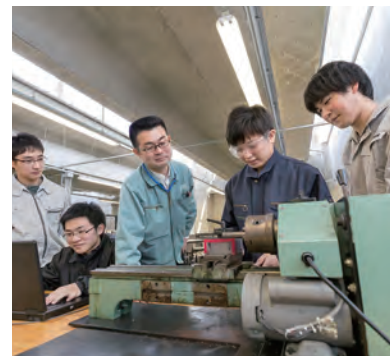
設計生産工学講座

応用機械設計研究グループ



- 熱流体を利用したエネルギーシステムの効率向上に関する研究
- 放電やプラズマの特性を利用する環境負荷の低い新技術の研究
- 機械的微粉碎を利用した木質バイオマスの利用に関する研究

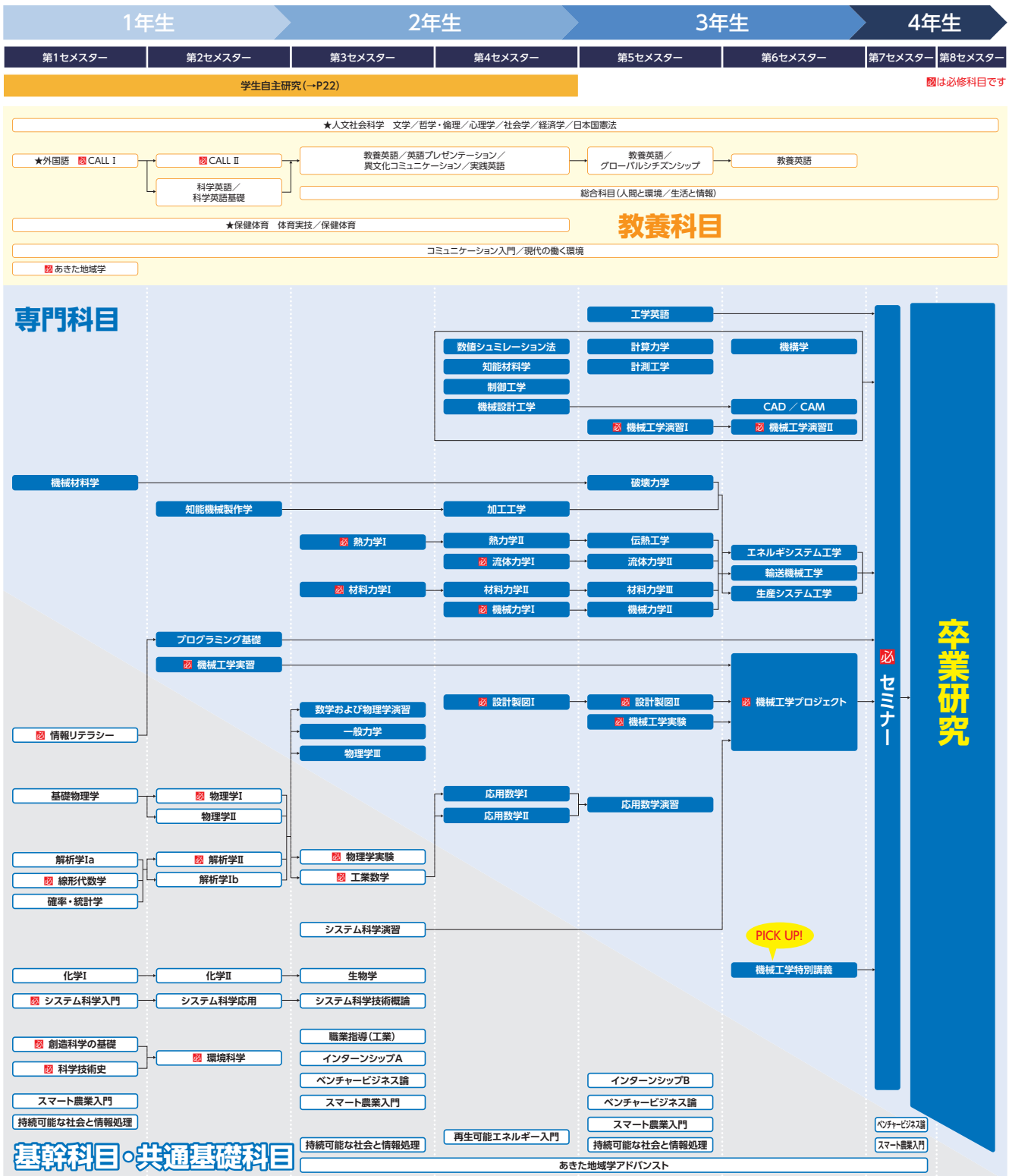
先端加工研究グループ



- 超音波を援用・利用した精密加工技術の高度化開発
- MCF (磁気混合流体) スラリーを用いたナノ精度研磨技術の開発
- 微細切削加工における微小径工具の加工プロセス最適化

カリキュラム

DEPARTMENT OF MECHANICAL ENGINEERING



機械工学特別講義
 毎週各分野で活躍されている専門家の方々から最先端の話題を直接聴くことができ、研究者やエンジニアとして研究開発に取り組む姿勢や考え方を学ぶことができます。機械工学を学ぶ学生として、卒業研究や就職後のキャリアプランに役立ちます。



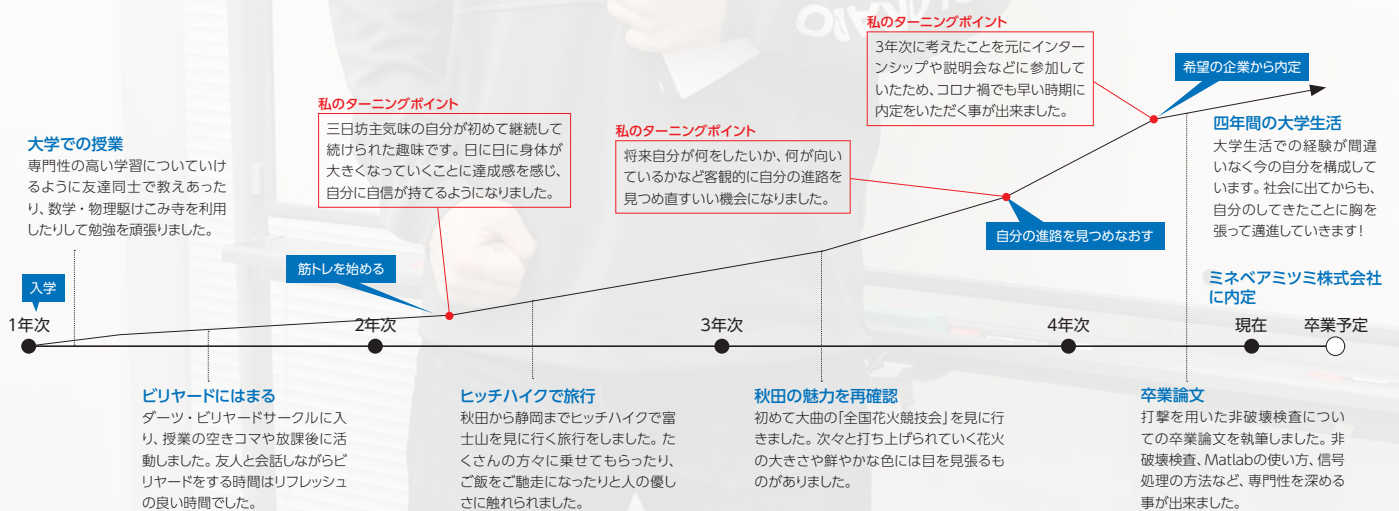
自信を持って学び続け、
秋田から世界へ向けたものづくりをする

私の成長ストーリー follow the tracks

機械知能システム学科 4年

正木 快さん
MASAKI Kai

秋田県／新屋高校
ミネバアミツミ株式会社に内定



筋トレを継続



ヒッチハイクで静岡旅行

研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF MECHANICAL ENGINEERING

応用材料力学研究グループ



振動工学
伊藤 伸 准教授

振動現象を用いて、機械材料にあるき裂の検査や地熱を取り出すためのき裂の評価について研究しています。

複合材料・表界面工学
邱 建輝 教授

使用後に水と二酸化炭素に分解される生分解性プラスチックの複合材料を開発し、地球環境問題を解決したいです。



複合材料・表界面工学
境 英一 准教授

プラスチックと金属、バイオマスなど、異種材料が一体化した複合材料を研究しています。



生体工学
伊藤 一志 准教授

生物の構造と機能を力学的に調べる技術の研究を行っています。

先端材料研究グループ



材料強度学
水野 衛 教授

飛行機や自動車に使われる炭素繊維強化プラスチックの壊れ方を調べ、強度変化を検査する方法を開発しています。



材料工学
尾藤 輝夫 教授

豊かな生活を続けられるように、未来の私たちの生活を支える新しい材料を創り出すことを目指しています。

物性物理学
奥村 肇 助教

人工的にしか作れない結晶構造を持つ金属を作り、新しい材料の開発に繋がります。



複合材料工学
施 建 助教

炭素繊維は軽くて強く、樹脂と複合して使われています。繊維と樹脂の相性をよくするための研究を行っています。



熱流体研究グループ



燃焼学
鶴田 俊 教授

熱科学は、エンジンやエアコンを理解する基礎となります。エンジンの燃焼、火災・爆発を研究しています。



ソフトマター流体工学
石本 志高 教授

「からだの中のかたちの原理」を解き明かす！動植物の染色体・組織・器官、トンボなどを研究しています。



伝熱工学
大徳 忠史 助教

エネルギーは生活・経済活動を支える不可欠なものです。「熱」を制御し世に役立つ提案を発信しています。

植物流体工学
津川 暁 助教

植物が持つ風に耐えられる優れた構造や風を使って種を速くまで飛ばす仕組みを工学に応用する研究をしています。





応用機械設計研究グループ



プラズマ工学
杉本 尚哉 教授

太陽やカミナリと同じ状態の物質を電気力で生み出し、私たちの暮らしや産業に利用する研究をしています。

設計工学
高橋 武彦 准教授

バイオマス(主に木)を μm サイズに細かくして全く別の用途に応用する新しい粉碎の設計や研究をしています。



レーザー工学
合谷 賢治 助教

材料加工・分子検出等のレーザー技術で、物を作る、物の特徴を知る研究をしています。



流体工学
須知 成光 准教授

身近な場所で無駄になっている小さなエネルギーをうまく利用する方法を研究しています。



機械振動学
富岡 隆弘 教授

振動や騒音を減らして、鉄道車両、飛行機、自動車をより快適に! いろいろな機械をより高性能にします!

流体科学フロンティア研究グループ



マイクロ流体工学
佐藤 明 教授

磁性微粒子を機械工学や医用工学さらには環境資源工学などの分野への応用を計るための研究を行っています。



磁気工学
二村 宗男 助教

超伝導磁気浮上や液体窒素中の遊泳マシンなど、「磁場と低温」に関して研究しています。

先端加工研究グループ

材料工学
鈴木 庸久 教授

新しいものづくりプロセスの開発! コーティングやナノ複合材料で、高性能な加工ツールを開発します!



加工学
野村 光由 准教授

人間の髪の毛より細かい切削工具(ドリル)を使用して難削材料といわれる金属への微細な穴あけに挑戦します!!



材料工学
藤井 達也 助教

マイクロ・ナノマシンに使用される薄膜材料を引っ張ったり、曲げたり、ねじったりして強度を測ります!





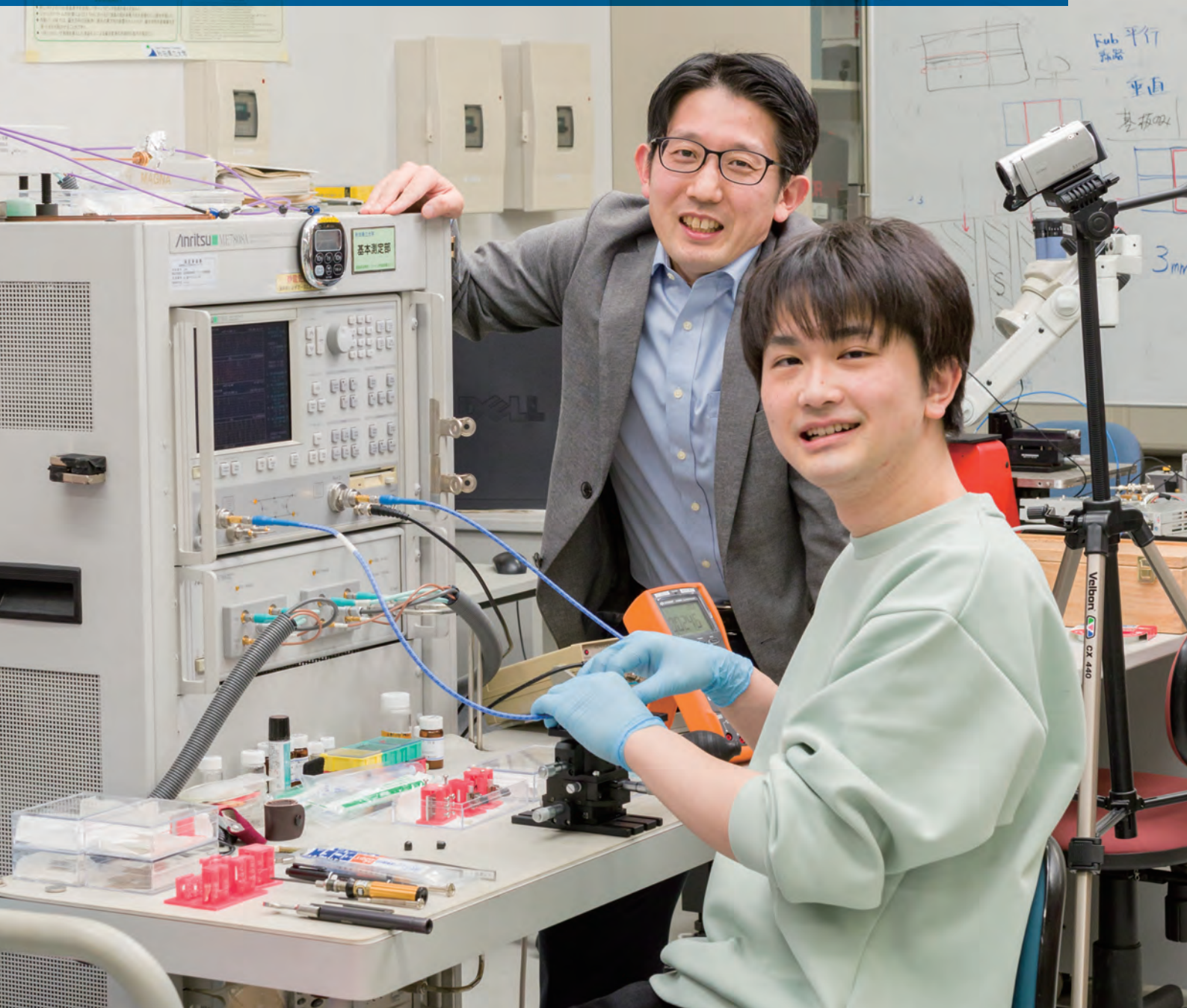
知能メカトロニクス学科

DEPARTMENT OF INTELLIGENT MECHATRONICS

WEB



知能メカトロニクス学科
運営ページ
<https://www.akita-pu.ac.jp/system/im/index.html>



電磁波に着目したものづくり

日本のものづくりに興味があり、設計・開発を通じて関わることのできる職業に就きたいと考え、秋田県立大学を志望しました。知能メカトロニクス学科では、ハードウェア、ソフトウェア両方について学べるという特色があり、IoTといったソフトとハードの融合が進むこれからの社会で必要とされる能力を養うことができる点が魅力だと思います。現在、私は「ミリ波」と呼ばれる電磁波を、液晶を使って制御するデバイスの研究を行っています。ミリ波は5G通信や車の衝突防止レーダーなどで利用が進められている電磁波です。この電磁波を効率的に利用するために、電磁波の伝搬方向を制御する必要があります。そのため、制御デバイスの開発は、今後のセンシング技術の進歩に必要な要素となっています。将来は大学での研究を活かして、通信にかかわるデバイスの設計・開発職に就き、これからの情報社会を支えていく製品を世に送り出していきたいと考えています。

電子情報システム学科 4年※ 由利 廉太郎 さん YURI Rentaro
秋田県/本荘高校

※現在の知能メカトロニクス学科の前身となる学科です。

機械工学と電子工学の融合による 応用制御システム

産業を支える技術者の実践的教育や制御を基幹技術とする機械・電子・通信などの分野を融合した応用システムに関する教育と研究を行います。機械工学と電気電子工学及び制御工学を中心とした専門科目や、システム思考に基づいてこれらの技術を組み合わせたメカトロニクスに関する科目について、プロジェクト型実習を中心として少人数教育を実施し、産業分野で応用できる問題発見・解決力を備えた人材を育てることを目標にしています。さらに、メカトロニクスに関する技術を体系的に修得できる学習を履修モデルとして提示し、国際化に対応できるコミュニケーション能力を育成します。



知能メカトロニクス学科 学科長
能勢 敏明 教授

知能化機械システム講座

知能化機械システム研究グループ



- 国際貢献に関連するロボットとメカニカルシステムの開発
- 安全・安心の社会を構築するための簡易計測システムに関する研究
- メカトロニクス知能制御手法の開発と生体力学柔軟デバイス開発



- 次世代自動車・運転支援システム、交通事故を減らす予防安全研究
- 細胞機能改変による先端医療応用、高度移動型生活支援ロボットの開発
- 人に優しい知能化技術、機械学習の応用化研究とロボットビジョン

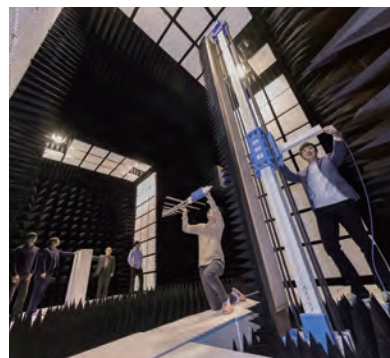
制御システム講座

制御システム基盤研究グループ



- ロボットや航空機などの複雑なシステムのモデリングと制御の研究
- 量子制御技術による新型生物電子顕微鏡の開発

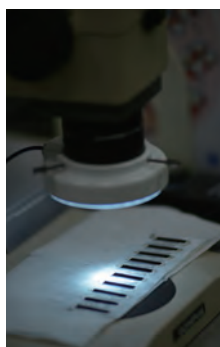
応用制御システム研究グループ



- ロボットを動かす低速回転で大きな回転力を発生するモータの開発
- 空気中で放電を起こすことによって風を生み出す研究
- スマートフォンなどに用いられるアンテナ、増幅器などに関する研究

電気電子システム講座

先進物性デバイス研究グループ

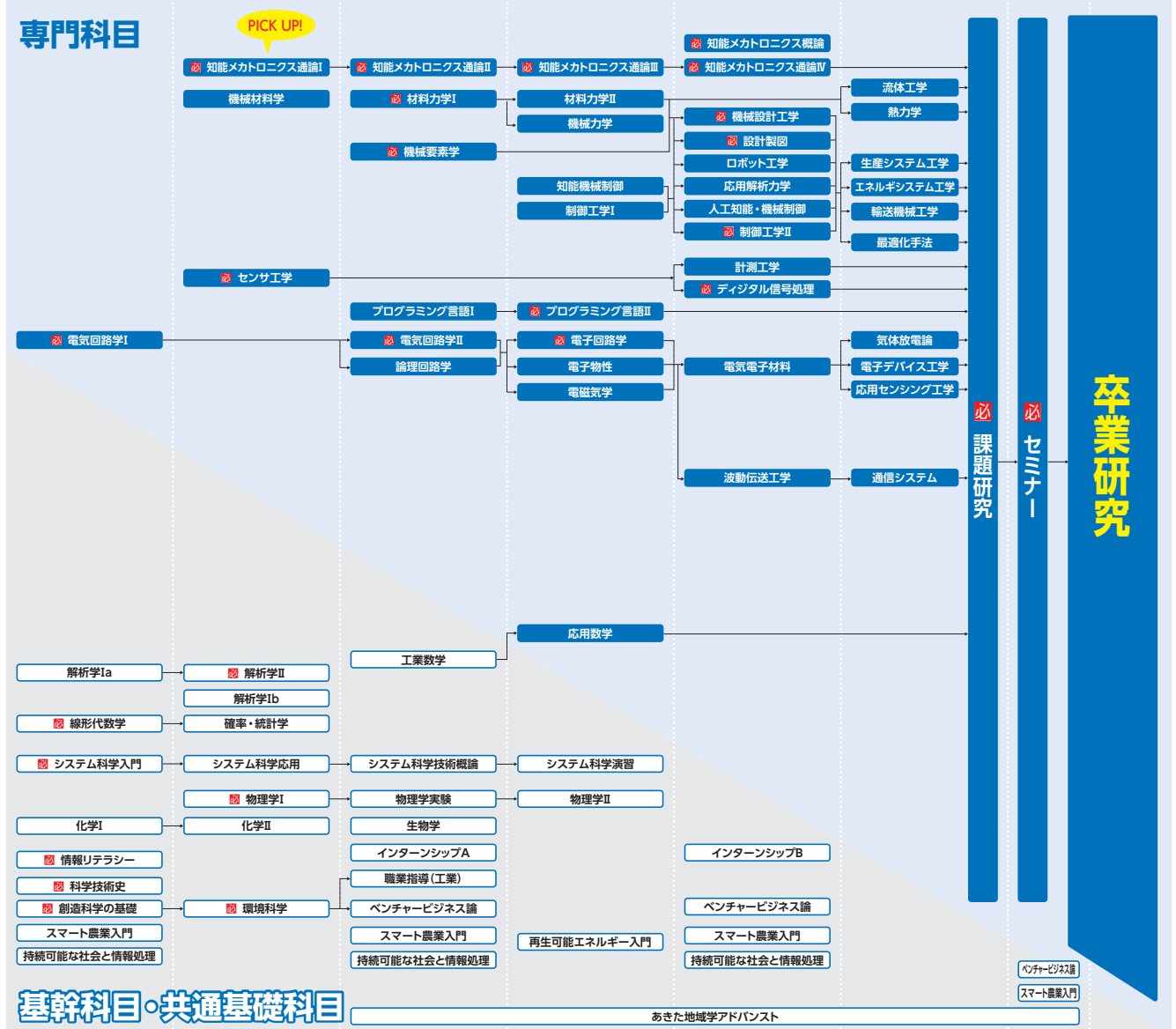
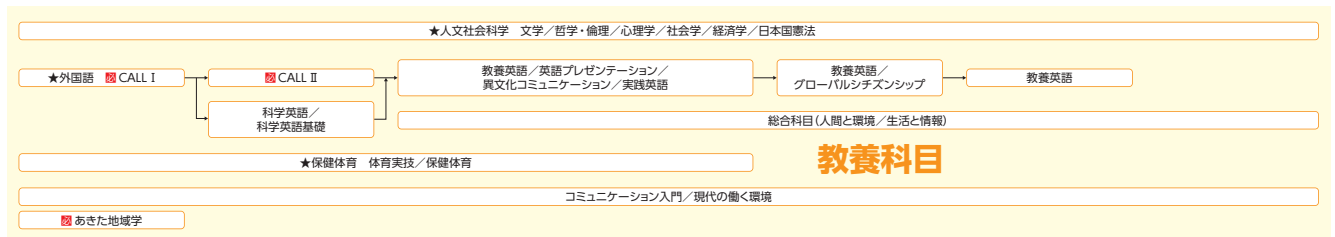


- 温度差や電磁波、室内光など微小な環境エネルギーを活用する環境発電技術をはじめとする環境エレクトロニクス分野に関する材料・プロセス・デバイス・回路の研究
- 偏光発光液晶、可変回路格子、光計測応用、ミリ波・テラヘルツ波応用など液晶デバイスの新しい応用開拓の研究



カリキュラム

DEPARTMENT OF INTELLIGENT MECHATRONICS



知能メカトロニクス通論I
 「雪下ろしロボット」をテーマとし、1年生で数人ずつチームを組んでロボット製作に取り組みました。講義の最後には雪下ろしのタイムトライアルを行いました。ロボットの動きや除雪の流れはチームによって全く異なり、独自の解決方法を考えることが出来ました。



タイムトライアル1位の演技 (第2回)



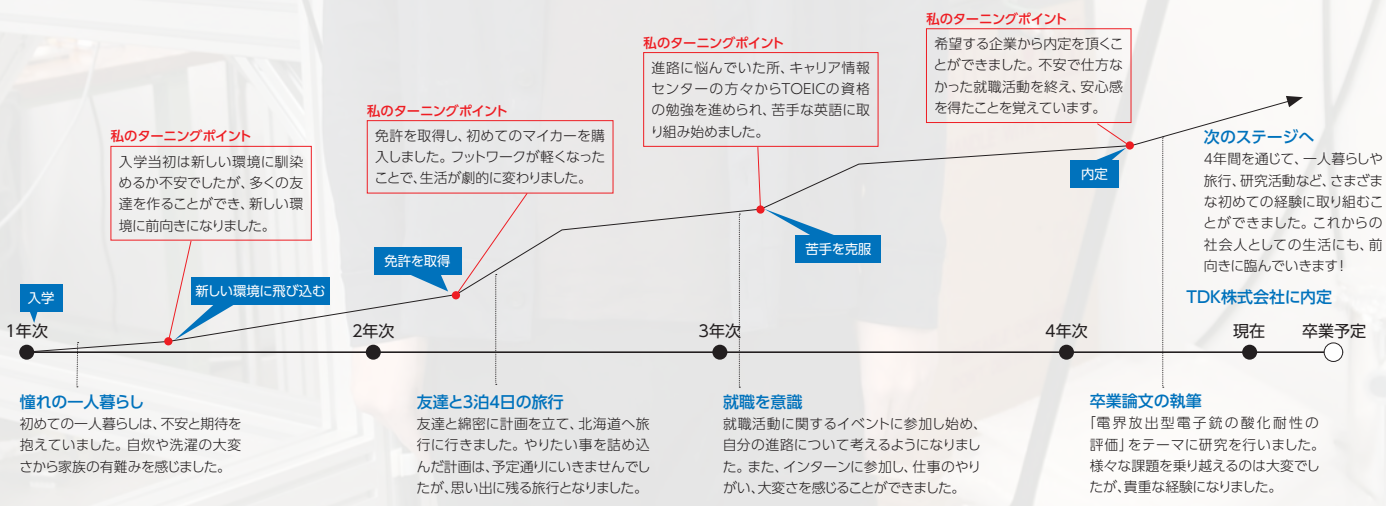
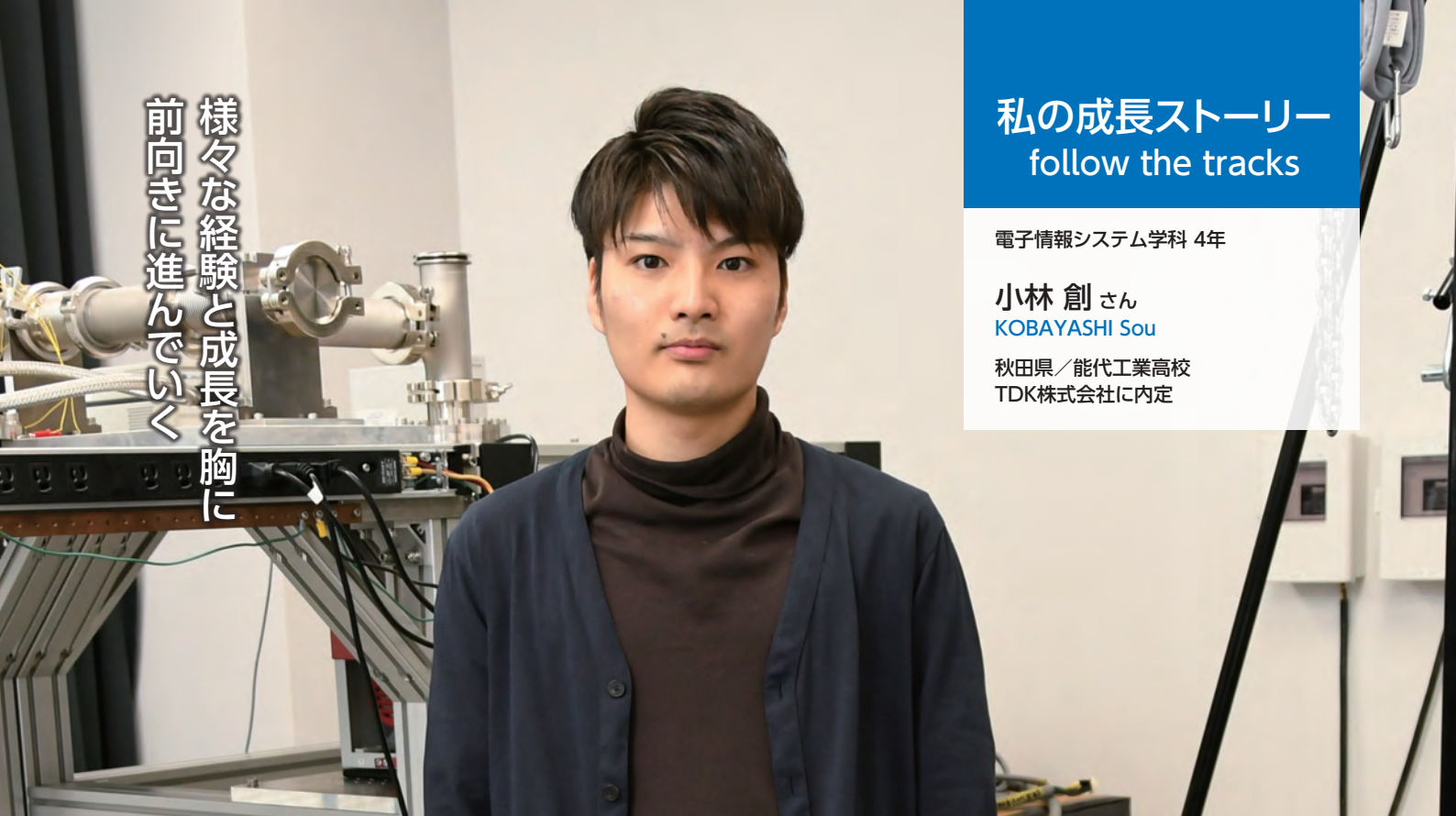
私の成長ストーリー follow the tracks

電子情報システム学科 4年

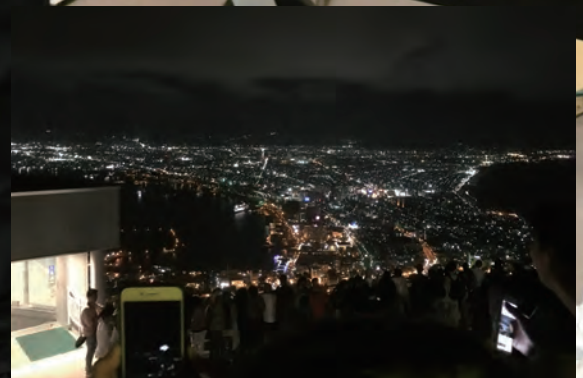
小林 創 さん
KOBAYASHI Sou

秋田県／能代工業高校
TDK株式会社に内定

様々な経験と成長を胸に
前向きに進んでいく



研究室のメンバー



函館の夜景

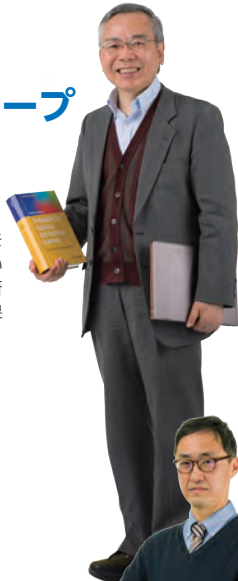
研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF INTELLIGENT MECHATRONICS

制御システム 基盤研究グループ

制御工学
徐 粒 教授

システム不確かさのモデリングや変動に強いロバスト制御などの研究を展開し、多くの成果を挙げています。



数理工学
松下 慎也 准教授

数学を応用して、制御工学や画像処理等の問題を持つ構造をシンプルにし、効率的に解くための研究を行っています。



制御工学
岡本 洋 准教授

生物の細胞の中で、分子たちがどのように働いているか直接見えるような電子顕微鏡を作っています。

応用制御システム 研究グループ

環境電磁工学
戸花 照雄 准教授

周囲で発生した不要電磁波の影響により誤動作しない電子機器の設計方法を確立するための研究をしています。



通信工学
秋元 浩平 助教

生体データや音楽、映像をヒト1人分の空間でワイヤレスでやりとりする人体領域通信を研究しています！



物理学
高山 正和 准教授

プラズマアクチュエータは大気圧プラズマを用いて空気などの流れを制御する装置で、その性能について研究を行っています。

電気工学
片岡 康浩 助教

システム電動化で世の中をもっと便利で快適に。モータ構造や制御法を研究し、高性能モータの開発を目指します！



智能化機械システム研究グループ



ロボット工学
下井 信浩 教授

少子高齢化社会を支えるための見守りに関する技術について研究しています。人工知能を含めた人からロボットへの展開を目指します。

細胞工学
齋藤 敬 准教授

「いのちだいに」をモットーに、細胞治療ロボや雪下ろしロボ、さらにはクマ対策ロボを作ったりしています。



ロボット工学
齋藤 直樹 教授

空気の力を使った、人に寄り添う柔らかい機械、人を快適に手助けするアシスト機械を考えます。



先進物性デバイス研究グループ



半導体集積回路工学
小谷 光司 教授

半導体集積回路の技術を用いて、環境中の電波や光からエネルギーを取り出したり、ワイヤレスで送る研究をしています。

光・電子デバイス工学
能勢 敏明 教授

ミリ波制御、光計測などへ液晶材料の新しい応用について研究をしています。



電子材料工学
山口 博之 准教授

ナノカーボン材料や光・熱・においを電気に変換する材料について、その特性を向上させる合成プロセスを研究しています。



液晶工学
本間 道則 准教授

ロボットなどに搭載することを志向した新しい光センサやセンシング応用に関する研究を行っています。



電子・電気材料工学
長南 安紀 助教

熱から直接電気エネルギーに変えて発電することが出来る熱電材料の高性能化の研究をしています。



電子工学
伊東 良太 助教

これまで使われてこなかった特殊な電磁波「テラヘルツ波」を利用し、世の中をより便利にしていきます！

電子材料工学
小宮山 崇夫 助教

電子材料の組織や構造を制御することによってより良い機能をもつデバイスを実現することを目指しています。



制御工学
佐藤 俊之 准教授

計算機能力を活用した、動的モデルに基づく高度な機械制御手法の開発とメカトロニクス応用を行っています。

生体医工学
ニックス・ステファニー 助教

物理シミュレーションや機械学習を使って、医療現場に役立つ知識・技術の発達を目指しています。



生体医工学
古川 大介 助教

お肌のシワ・タルミなどの老化現象と血流速との関連を解明するため、毛細血管のネットワーク構造および流速を非接触・非破壊にマイクロレベルで断層計測します。



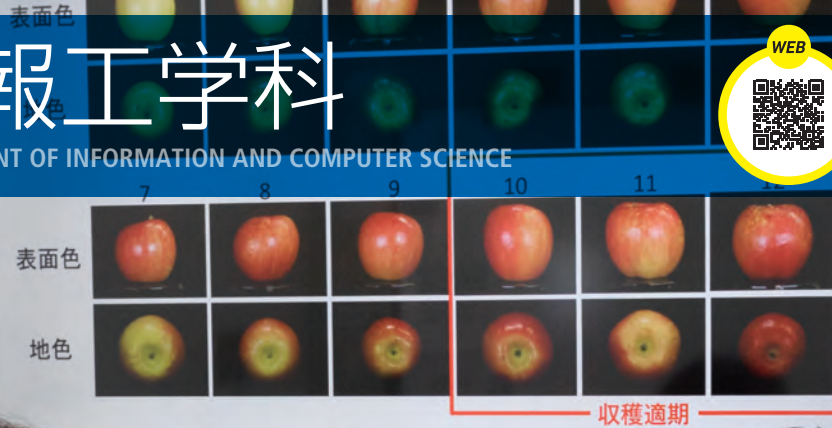
情報工学科

DEPARTMENT OF INFORMATION AND COMPUTER SCIENCE

WEB



情報工学科運営ページ
<https://www.akita-pu.ac.jp/system/ics/index.html>



情報技術の学際的応用で知的な人間支援を

高校の担任の先生から勧められたことがきっかけで、秋田県立大学を志望しました。他の大学と比べて、施設・設備が整っており、学業においても手厚いサポートがあることに魅力を感じました。わからないところを先生方やピアチューターの先輩などに聞くことできちんと解決し、学びを深めることができる点も秋田県立大学のよいところだと思います。現在私は、深層学習による物体認識を用いて、果樹の摘花・摘果作業(花や果実の間引き作業)を平易化するシステムの開発をしています。今後は三次元空間で花や幼果の物体認識を行うことで着果密度や空間配置を認識できるようにし、より実用的なシステムとなるよう開発を進めていきたいです。コロナウイルスの影響もあり、現代社会において情報化が急速に進展していると感じています。そのため、将来はこうした画像処理などの情報技術を用いて社会の役に立つ仕事をしたいと考えています。

電子情報システム学科 4年※ 佐藤 響さん SATO Hibiki
愛知県/豊橋南高校

※現在の情報工学科の前身となる学科です。

多種多様で膨大な情報を活用して、知的な人間支援を実現

現在、私たちの身の回りにあるスマートフォン、家電製品、自動車などには多くのコンピュータや情報機器が組み込まれ、高度な情報技術が活用されています。本学科では、情報工学を基盤とし、現実世界の多種多様で大量な情報を活用して、人を援ける賢い情報システムを創出できることを目的とした教育と研究を行います。標準的な情報工学の学問を基盤に、メディア情報処理、知能情報処理、情報ネットワークシステムに重点を置いたカリキュラムを組んでいます。また、農業・生活支援・健康・交通・エネルギー等の分野において、社会の幅広いニーズを満たす情報システムを設計・開発・運用できる実践的な人材の育成に力を入れます。



情報工学科 学科長
堂坂 浩二 教授

基礎情報工学講座 情報システム研究グループ

【情報ネットワーク研究室】

- 実世界を取り込んだ情報ネットワークとコンピューティング技術に関する研究
- 安心安全なデータ管理とデータ分析技術の研究
- モバイルアドホックネットワークの運用管理技術の研究



【知能情報処理研究室】

- 言葉や身振りを使って人間と会話する会話ロボット
- 外界を認識・理解するコンピュータビジョン
- 人間の感情を理解するヒューマンインターフェイス
- 生活支援・農業支援などの応用研究



【ソフトウェア基盤研究室】

- コンピュータの性能を最大限に引き出すための技術の研究
- 自然現象の解析のためのコンピュータシミュレーション
- 新しいアーキテクチャの計算デバイスでの高速計算



人間支援情報工学講座 メディア情報処理研究グループ

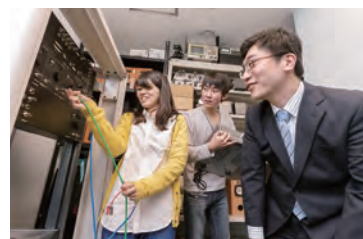
【知覚情報処理研究室】

- 聴覚の仕組みを他の感覚との関連性を含めて解明する「聞こえを探る」研究
- さまざまな音環境を仮想的に合成する「聞こえを創る」研究
- 「音環境を収録・伝送・再生」するための信号処理技術の研究



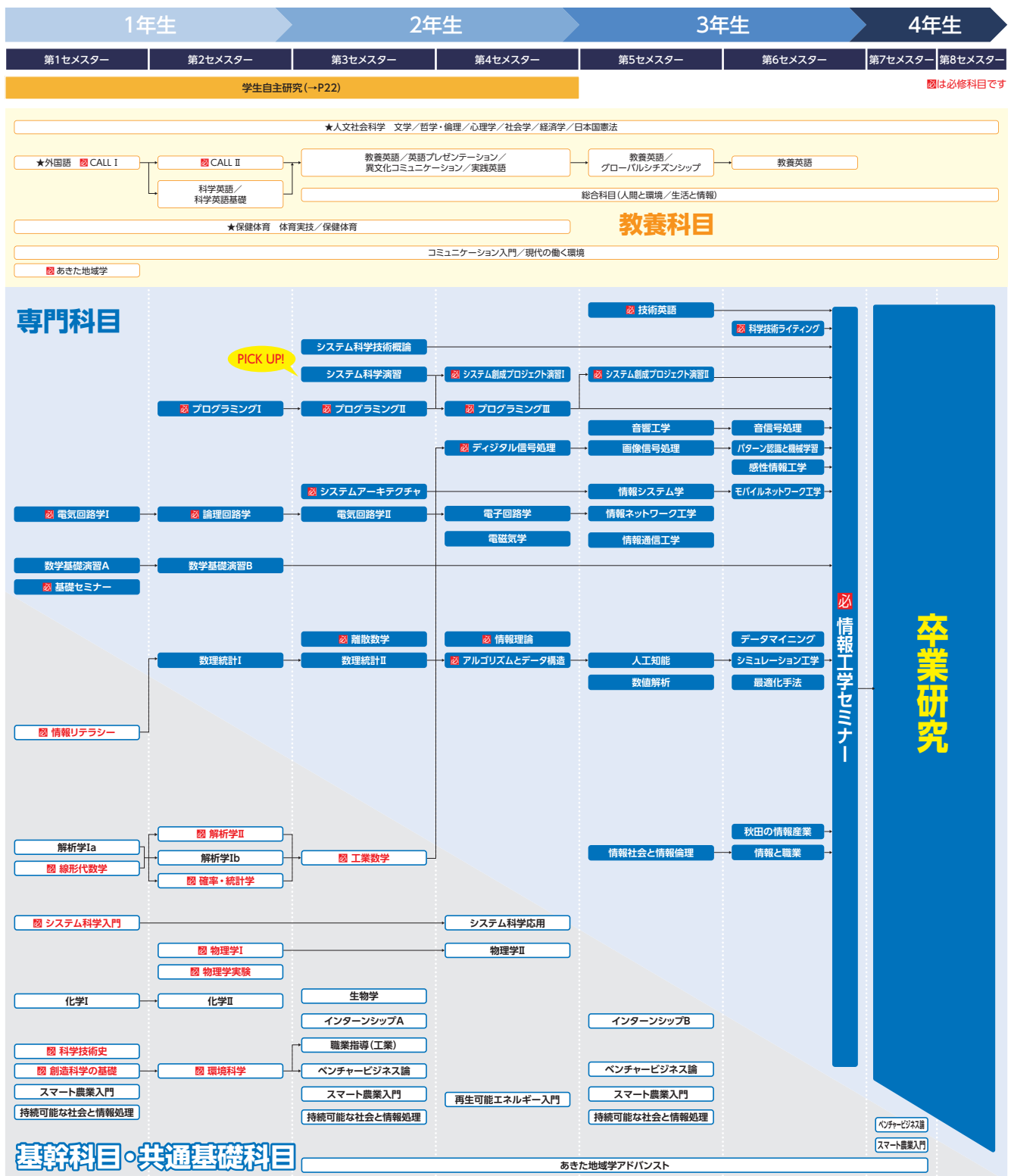
【メディア信号処理研究室】

- 映像中の人・物体などに対する認識・解析とその応用システムの実現
- 深層学習を用いた医用画像の認識とその解析
- 仮想現実感の技術を使った人の視聴覚の知覚についての解明



カリキュラム

DEPARTMENT OF INFORMATION AND COMPUTER SCIENCE



システム科学演習

学生数人でグループを作り、システムの提案を行います。既存のシステムにはどういったものがあり、今後どういったシステムがあればより便利になるのかをグループで考えることができます。2019年は、「レポート提出システムの改善」というテーマでグループごと様々な改善提案を考えました。



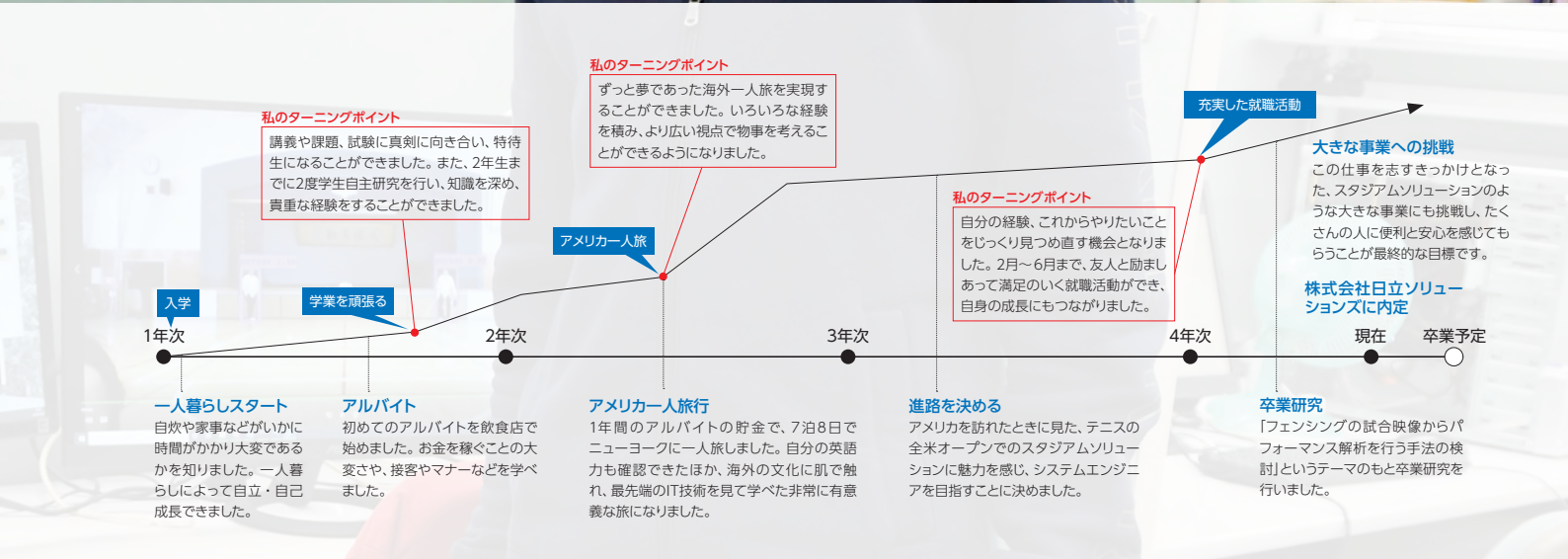
私の成長ストーリー follow the tracks

電子情報システム学科 4年

下天摩 隆 さん
SHIMOTEMMA Ryu

北海道／帯広柏葉高校
株式会社日立ソリューションズに内定

最先端のIT技術に挑戦し
便利と安心を感じてもらいたい



ニューヨークへの一人旅



特待生の認定

研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF INFORMATION AND COMPUTER SCIENCE

情報システム 研究グループ



知能情報学
堂坂 浩二 教授

言葉を理解し、生活や仕事の様々な場面で私たちを援けてくれる賢いコンピュータを創ることを目指します。



計算幾何学
草刈 良至 准教授

IoT技術によりセンサーデータを収集し、学習アルゴリズムにより知識の発見を目指します。



応用数学
廣田 千明 准教授

情報技術のすごさを理解してもらえようなプログラミング教育の教材を開発しています。



無線通信システム
橋浦 康一郎 助教

安心・安全な社会を築くための無線通信技術・システムについて研究しています。



画像情報学
石井 雅樹 准教授

画像処理・機械学習を用いて人間の生活を知的に支援するスマートなロボット・コンピュータをつくります!



応用数理学
中村 真輔 助教

より速く、より正確に計算できるプログラムの開発を目指しています。



神経工学
伊東 嗣功 助教

ブレイン・マシン・インタフェース技術を用いて、人間の状態を理解し支援するシステムの研究をしています。



画像情報学
陳国躍 教授

人工知能を用いて画像の修復・認識・解析などの研究を行っています。



メディア情報学
渡邊 貫治 准教授

高い臨場感の音響VRを実現するために空間的な情報を含んだ収録の研究を行っています。



メディア情報処理
研究グループ

音声・音響工学
西口 正之 教授

“あたかもその場に居る様な”非常に高い臨場感の通信・再生を実現するための、効率的な3次元音響伝送再生技術の研究を行っています。



音響情報学
高根 昭一 准教授

どんな場の音でも創り出せる音を通じたバーチャルリアリティを実現する方法を考えています。



情報処理学
猿田 和樹 教授

画像認識や機械学習などを用いて、安全な生活の実現や生産性の向上につながる研究をしています。



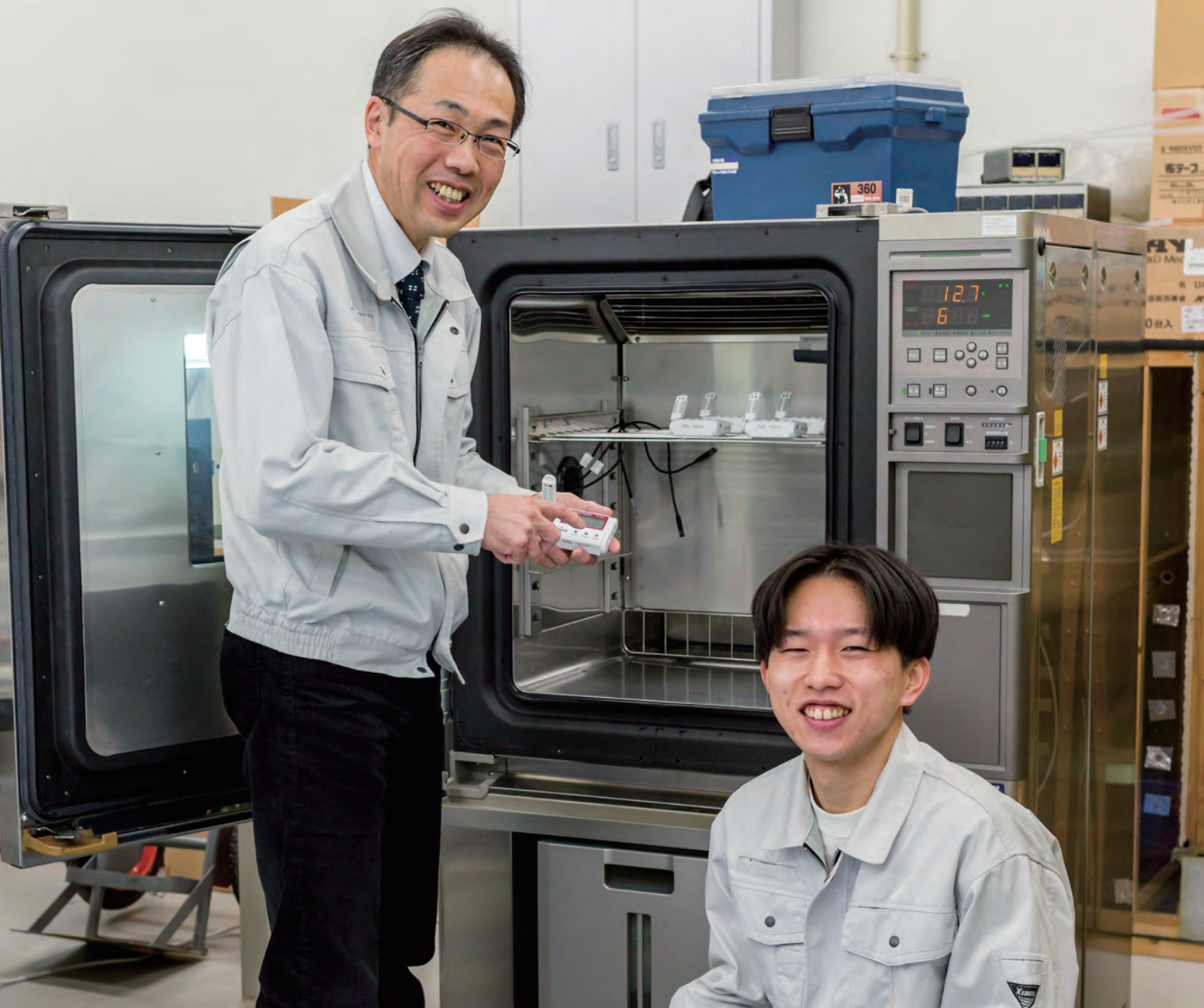
音響心理学・音響イベント検知
安倍 幸治 助教

人間の感覚情報処理を明らかにし、それと良く対応した人が使いやすいシステムの開発を目指しています。



メディア情報工学
寺田 裕樹 助教

VR技術などの最先端技術とヒトへの応用を組み合わせたシステムについて研究しています。



知的作業に適した室内環境を考える

建築学に興味があり、高校生の時に参加した高大連携授業やオープンキャンパス等をきっかけとして、秋田県立大学を志望しました。建築環境システム学科では、設計課題、実験等を通して建築学を学ぶことができます。有名な建築物はもちろん、身近な建築物からも疑問点を感じ取れるようになり、自身の研究・設計を通して解決策を提示できることが魅力です。現在は、事務所建築のような知的作業が求められる空間の空調設備方式に着目した研究を行っています。空調設備は住宅のエアコンのように個別に運用できるものと、集中管理で運用するものに大別できます。これらの方式による室内環境上の課題とその解決策を明らかにしたいと考えています。コロナ禍において、室内の空気環境や、換気に対する意識が非常に高まっています。将来はこれらの質を確保できる、責任ある設備設計士になり、皆さんの健康を支えたいです。

建築環境システム学科 4年 小原 豪太 さん OBARA Gota
秋田県/由利高校

住宅から都市環境まで「人間生活の場」の総合デザインを追求

「建築学」は、多方面の知識・経験・感性などを総動員して「あらゆる分野を統合する工学芸術」である点が際立った特長となっています。ひとつの住宅設計でも、統合すべき対象は、地域・都市としての空間・環境、あるいは地球環境のスケールまで及ぶ場合もあります。優れた建築空間を実現するためには、建築をシステムとして捉え、幅広い視点で総合的に学び、研究しなければなりません。本学科では、木質構造など、地域特性に富んだカリキュラムや、即戦力が求められる社会のニーズに応えるための3次元CAD・BIM教育などに加え、新しい時代に対応した総合的な建築教育と研究開発に取り組んでいます。



建築環境システム学科 学科長
長谷川 兼一 教授

構造学講座

建築構造学研究グループ

- 最高水準の実験装置を用いた地震などの災害に強い建築構造の研究
- 耐震補強工法の開発と、公共施設などの耐震化促進活動への参画
- 寺社建築などの歴史的建築物の耐震性に関する調査研究



材料学講座

建築材料学研究グループ

- 環境負荷を低減する手法や、材料を有効活用する新しい構法の研究
- 繊維補強などを用いた粘り強くひび割れの少ないコンクリートの開発
- 開放的かつ長寿命な住宅設計を可能にする耐震木造住宅構法の開発



環境学講座

環境計画学研究グループ

- 寒冷地での快適な建築空間実現のための断熱構法などの設計手法研究
- 地中熱のような自然エネルギー利用や暖冷房関連省エネ技術の開発
- 結露やカビの発生による健康被害やシックハウス問題に関する研究



計画学講座

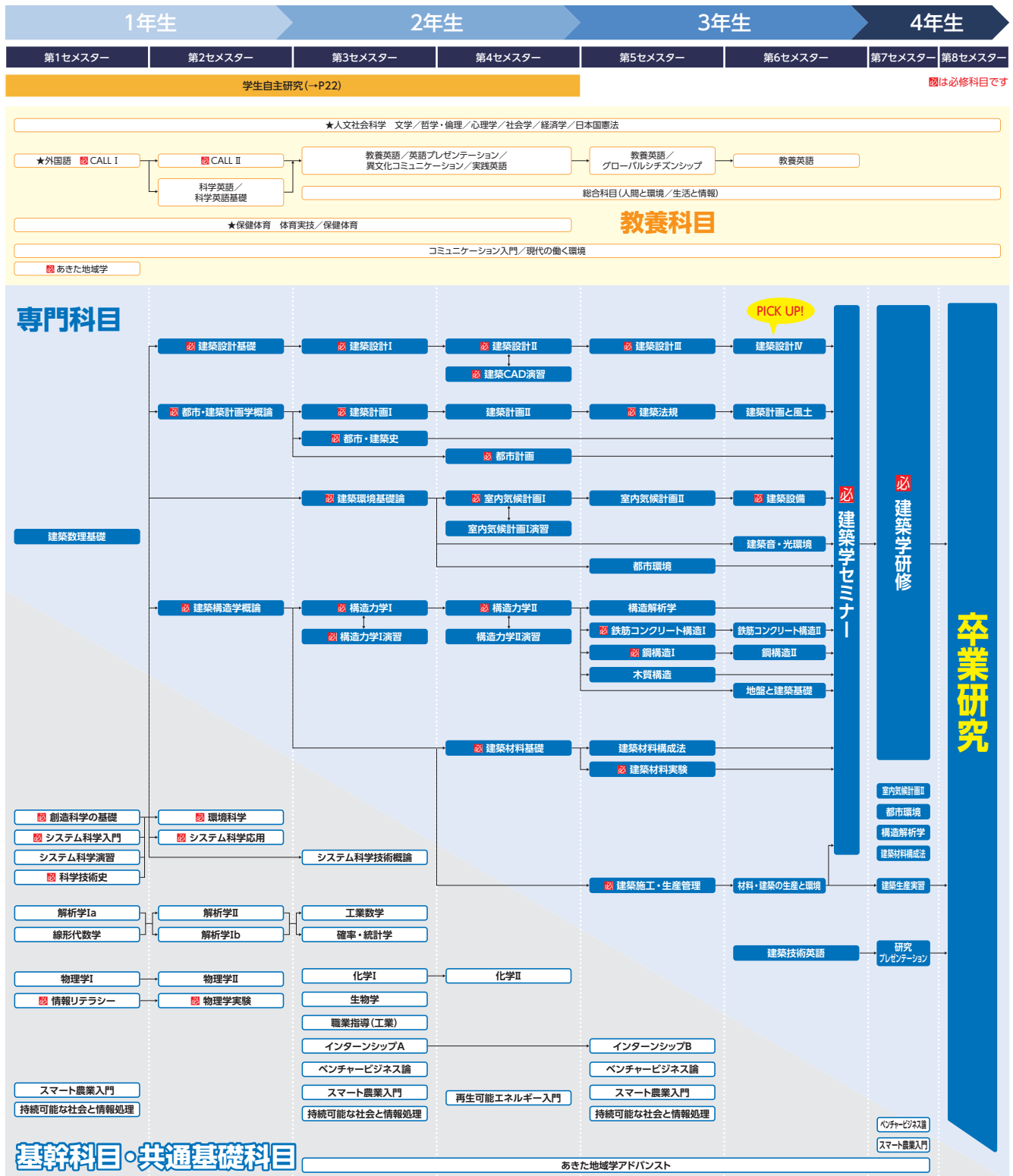
都市・建築計画学研究グループ

- 都市・建築計画関連のデザインや、関連する街づくりなどの地域支援
- 建築都市空間分析、建築史、伝統民家、人間工学などの設計関連研究
- 災害危機に対応した行政運営や地域計画のための情報システム開発



カリキュラム

DEPARTMENT OF ARCHITECTURE AND ENVIRONMENT SYSTEMS



建築設計IV

各自で建物などの設計を行います。設計I～IIIまでは、与えられたテーマや条件に対して、建物を設計し、設計の基礎を学びますが、建築設計IVでは、設計したいテーマやコンペに挑戦することができます。最後まで自分たちでやり遂げたときの達成感、自信にもつながります。



私の成長ストーリー follow the tracks

建築環境システム学科 4年

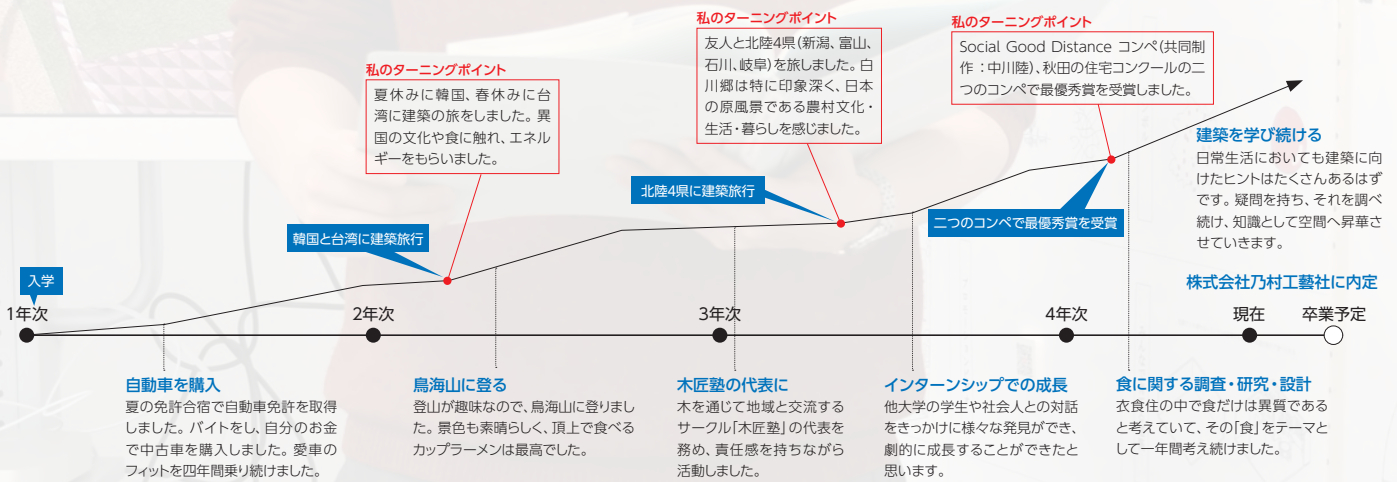
笹 恭輔 さん
SASA Kyosuke

青森県／弘前中央高校
株式会社乃村工藝社に内定

日常から学び続け
人々の記憶に残る空間づくりを目指す

f Food

Home of Food



サークル「木匠塾」の代表に



北陸への建築旅行

研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF ARCHITECTURE AND ENVIRONMENT SYSTEMS

建築構造学研究グループ



建築構造学
西田 哲也 教授

より安全な建物をつくるため、様々な地震で建物がどのくらい揺れるかを予測する簡便な方法を探しています。

建築構造学
菅野 秀人 教授

地震による建築物の揺れ方や壊れ方を調べて、被害を最小限に抑える最新技術について研究しています。



建築耐震工学
櫻井 真人 助教

実験・解析の両面からRC建物の複雑な挙動解明に取り組んでいます。大規模な模型破壊実験が体感できます！

建築構造学
小幡 昭彦 助教

津波のような自然現象が建物にもたらす影響を調べます。数値流体解析でシミュレーションなども行います！



構造力学
クアドラ・カルロス 准教授

常時微動観測と有限要素法と連合して既存建築物の振動特性評価を行います。文化財の建築物への適用の妥当性について検討しています。



建築材料学研究グループ



建築材料学
大塚 亜希子 助教

建築の長寿命化のための、建築部材を極力傷つけない非・微破壊による部材劣化診断方法および補修方法を提案します。



木質材料学
板垣 直行 教授

秋田の主要林産物であるスギ材を活用し、耐震性・耐火性能に優れた木造建築構法の開発に取り組んでいます。



建築材料学
石山 智 准教授

コンクリート材料の高性能化と新しいセメント材料の研究開発に取り組んでいます。



環境計画学 研究グループ



建築環境学

長谷川 兼一 教授

建築環境と健康というキーワードをもとにして、人にとって望ましい建築デザインを追求しています。



建築環境工学

松本 真一 教授

持続可能な建築の環境デザインの手法について研究しています。秋田の風土と気候に適ったデザインを!



建築環境工学

竹内 仁哉 助教

健康で快適に暮らすための建築空間の実現に向けた設計・評価に関する研究をしています。

都市計画学

山口 邦雄 教授

コンパクトシティから歴史的街並み保全・まちづくりまで、地方都市の魅力的な空間を研究し実践します。



建築計画学・環境心理学

込山 敦司 准教授

心を理解して、快適な空間をソウソウ(想像&創造)する分野です。



建築環境学

浅野 耕一 准教授

環境に配慮した建築デザインや、安全・安心で快適な都市づくり等を支援できるシステムを開発しています。



農村計画学

石山 真季 助教

住みやすい地域づくりを目指して、みんなが集まる空間と仕組みについて、建物と自然からアプローチします。



建築計画学

李 雪 助教

風土的な建築や集落などに積み重ねた「知恵」を発見・活かすことが私の仕事です!

都市・建築計画学研究グループ

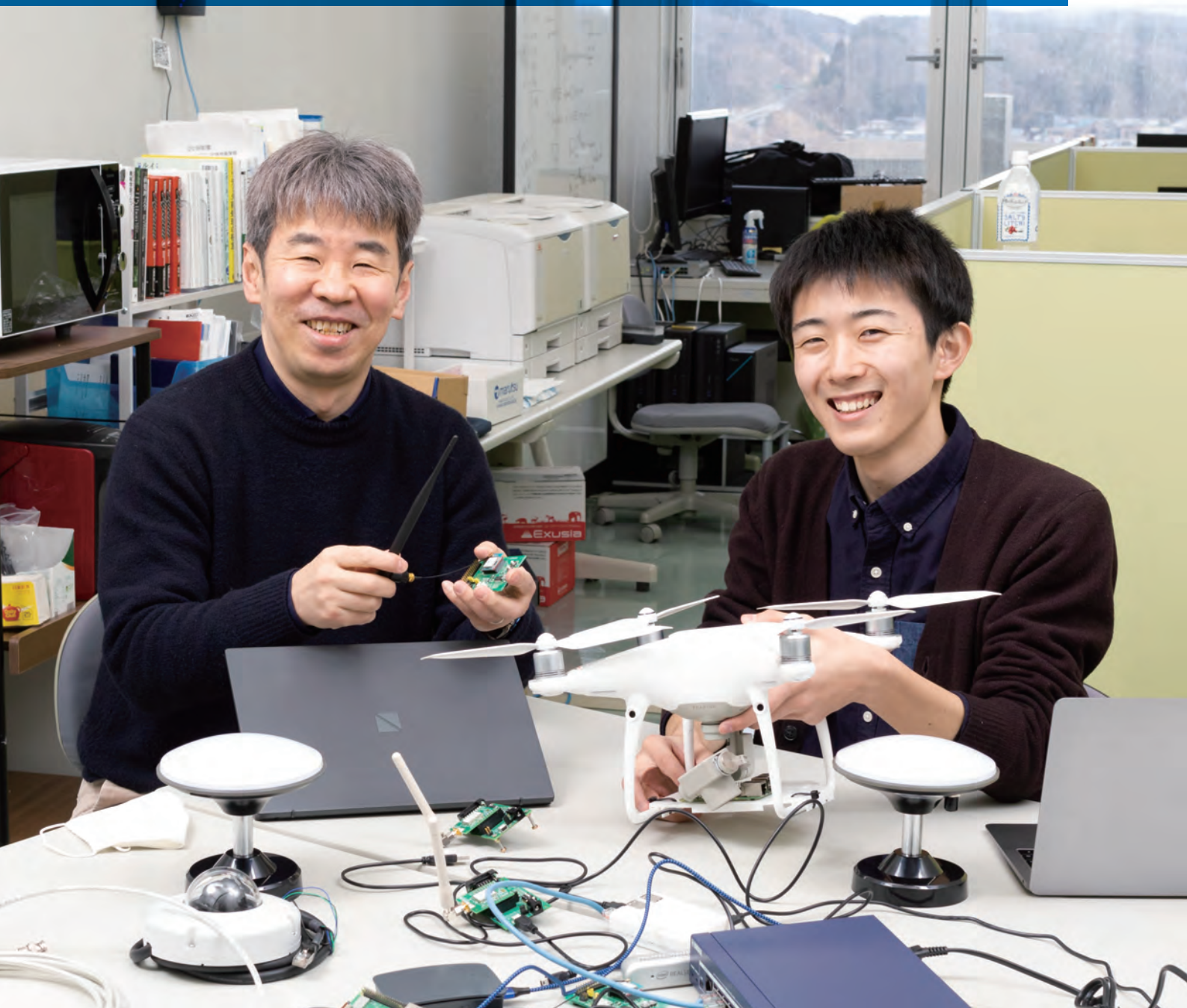


経営システム工学科

DEPARTMENT OF MANAGEMENT SCIENCE AND ENGINEERING



経営システム工学科
運営ページ
<https://www.akita-pu.ac.jp/system/manage/index.html>



理系の観点から経営を、そして大勢が活用できる製品を

高校の志望大学選びの際、秋田県立大学の経営システム工学科を見つけ、理系の分野を通じて経営学について学ぶことができるという点に惹かれて志望しました。経営システム工学科は、文系の経営学科とは“経営を数理的かつ工学的に行う”という点で異なっています。“数理的かつ工学的”な視点を身に付けるため、会計学やIT技術、環境工学などの幅広い分野を学ぶことができます。また、自分のしたい研究に合う先生がいて、手厚くサポートしてくれる点も魅力の1つです。現在、GPS測位システムを構築するという研究を行っています。今のGPS測位に用いられている無線技術には、コストや到達距離といった問題があります。この問題を解決できるように、低コストで長距離に通信可能な無線技術のシステムを構築しています。自分の開発したシステムや製品が世の中で当たり前に使われているところを見るのが将来の夢です。

経営システム工学科 4年 坂中 勇太 さん SAKANAKA Yuta
宮城県/泉館山高校

鳥瞰的視野と数理的かつ工学的な経営で 地域発のイノベーションを実現

社会の持続的発展につながるイノベーションには、個人や企業と、それを取り巻く自然環境および社会経済環境との間の相互作用についての理解、すなわち鳥瞰的視野からの外部環境の理解が必要不可欠です。本学科は、このような理解の上に立ち、数理的な手法を用いた経営工学を基礎とするイノベーションを目指し、それを実行できる人材の養成を目的とした教育を行います。このような人材は、モノやサービスすなわち有形無形の価値を創造するさまざまな集団における意思決定とその実行において、中心的な役割を担うことが期待されます。



経営システム工学科 学科長
木村 寛 教授

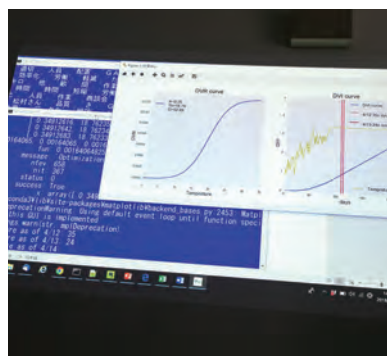
戦略プランニング講座

経営企画研究グループ



- コストマネジメントに関する研究
- 商品企画に関する研究
- 情報システムに関する研究

先端ビジネスマネジメント研究グループ



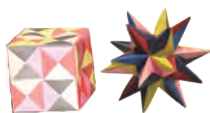
- オープンソースビジネスモデリングに関する研究
- 品質保証・知識ベースマネジメントに関する研究
- 製品開発マネジメントに関する研究

数理アナリシス講座

計画数理研究グループ



- 計画数学に関する研究
- 応用統計に関する研究
- 応用数学に関する研究



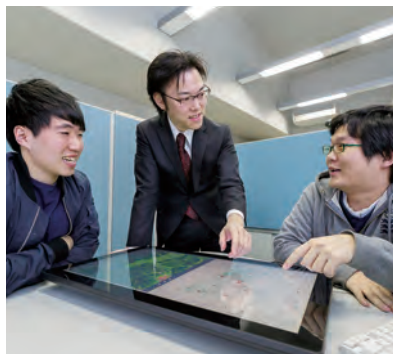
経営データ分析研究グループ



- 経営学に関する研究
- 統計分析に関する研究
- 経済学・応用計量経済に関する研究

持続可能マネジメント講座

社会環境シミュレーション研究グループ



- 社会環境モデリングに関する研究
- 経済時系列・市場分析に関する研究
- オペレーションズ・リサーチに関する研究

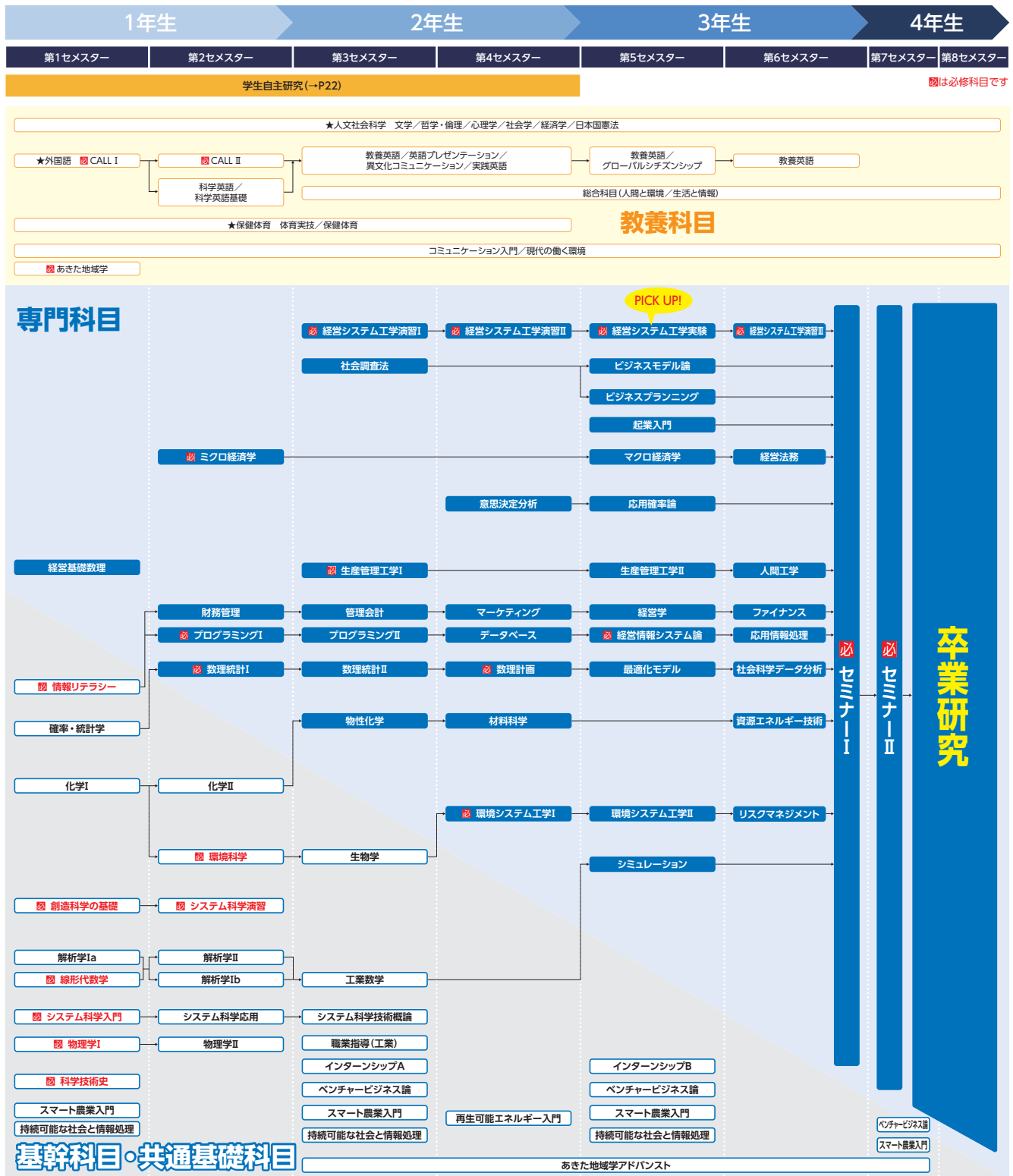
環境マネジメント研究グループ



- 環境プロセス・生産マネジメントに関する研究
- 資源循環工学に関する研究
- 環境分析学に関する研究

カリキュラム

DEPARTMENT OF MANAGEMENT SCIENCE AND ENGINEERING



経営システム工学実験

環境保全のための経営学的な分析などに関し、実際現場で使われる技術を実験で体験します。魅力は多様な分析機器に触れられる点で、論理的に考察する経験は卒業研究でも役に立ちます。



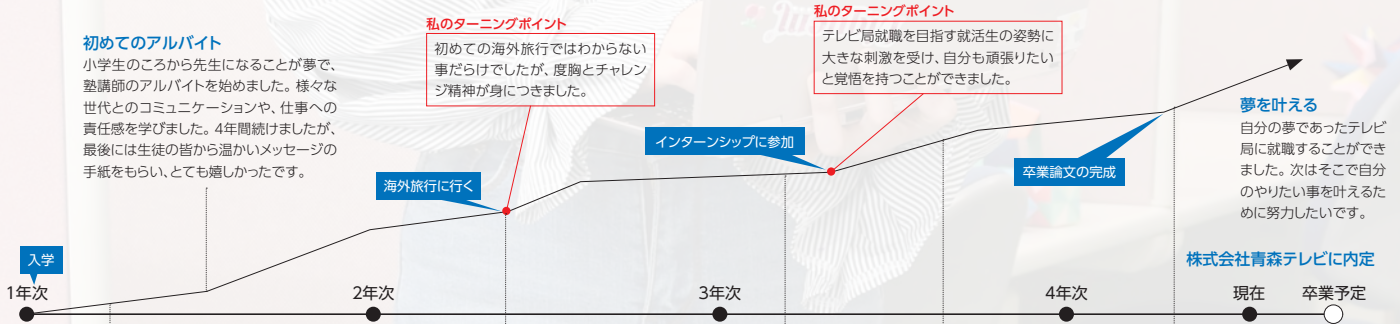
私の成長ストーリー follow the tracks

経営システム工学科 4年

今野 七海 さん
IMANO Nanami

青森県／青森東高校
株式会社青森テレビに内定

次の夢は地元の魅力を伝え、
たくさんの人を笑顔にすること！



ソフトテニス部で初の遠征



たくさんのお友達

研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF MANAGEMENT SCIENCE AND ENGINEERING

経営企画研究グループ



社会システム工学
嶋崎 真仁 准教授

地域活性化のために大学は何かできるか。経営工学と情報技術を駆使して、制度と技術の研究をしています。



管理会計学
朴 元熙 教授

サステナビリティのためのあるべき戦略と良い意思決定を支援するコストマネジメントを研究しています。

先端ビジネスマネジメント研究グループ



通信・ネットワーク工学
鈴木 一哉 准教授

無線やセンサー、クラウド等の組み合わせによる、社会課題の解決に役立つIoTシステムを研究しています。

計画数理研究グループ



統計・応用数学
木村 寛 教授

「数学」や「統計学」を使って、経営を考えてみませんか。焦らず、じっくりと学び、一緒に研究しましょう。



応用数学
荒谷 洋輔 助教

Allに操られる人でなく操る人になるための数学を学んでみませんか。



統計数学
星野 満博 准教授

多様な対象に向けた数理モデル及びベースとなる統計学や解析学を用いた数学理論の構築が研究の対象です。

経営データ分析研究グループ



財政学
宮本 道子 教授

みなさんが興味を持った分野の「データ」から何が読み取れるか探りながら、同時にデータ分析手法や統計学を学びましょう。



社会環境シミュレーション研究グループ



応用経済学
 嶋崎 善章 准教授

人や組織の行動原理をベースに合理的な問題解決方法を提案します！



総合情報学
 山口 高康 教授

人工知能を駆使して、楽しく快適なスマートシティや、便利で安全な権利価値流通に関する研究をしています。



社会システム工学
 稲川 敬介 助教

経営科学(OR)を使って、救急車の最適配置や避難計画の自動作成など運用効率化の研究をしています。



環境マネジメント研究グループ



半導体電気化学
 菊地 英治 准教授

主に、酸化チタンという半導体を利用して、鉛工業廃水などを浄化する研究を行っています。



資源リサイクリング工学
 梁 瑞録 准教授

循環型社会の構築を目指した環境に優しいリサイクル技術の開発を行っています。

環境工学
 金澤 伸浩 准教授

地域の素晴らしい資源を知って活かしませんか。リスクで物事を考えると社会はきっとより良くなります。



環境同位体学
 川島 洋人 准教授

秋田や南アジア地域の大气中PM2.5の発生源を見つける研究や地域の食品の偽装・産地偽装を見破る研究をしています。

生物資源科学部

FACULTY OF
BIORRESOURCE SCIENCES

秋田&大湯
キャンパス

『秋田発、未来へ!』 —生物資源科学が切り拓く新たな地平—

地球温暖化、異常気象、新たな感染症の拡大・・・人類の未来には暗い雲が立ちこめているように思えます。地方に目を向けても人口減少、耕作放棄地の拡大、賑わい喪失など様々な問題があります。こうした状況の下、私たちはどのように未来を築いていけばよいのでしょうか。

生物資源科学はその解決に向けて、大きな鍵を握っている分野です。かつて、生物を扱う大学の学部は、基礎的な探求を行う理学部と、実践に役立つ応用研究をする農学部とに分かれているのが普通でした。生物資源科学とは、その両者を包括する分野です。基礎を探求し、それを応用に結びつけ、社会のシステムに活用する。こうした幅広い分野に取り組んでいるのが生物資源科学なのです。

生物資源を持続的に活用し、未来の人類もその恩恵にあずかれるようにするためには、今、大いに知恵を絞らなければなりません。本学部では多彩な教員が多様な研究・教育に取り組んでいます。自然の恩恵を受け、自然と共に築いてきた人類の歴史をさらに実りあるものにしていくため、情熱をもって学び行動する若人を心から待っています。

生物資源科学部長
蒔田 明史 教授



蒔田教授からの
メッセージを動画で
ご覧いただけます。

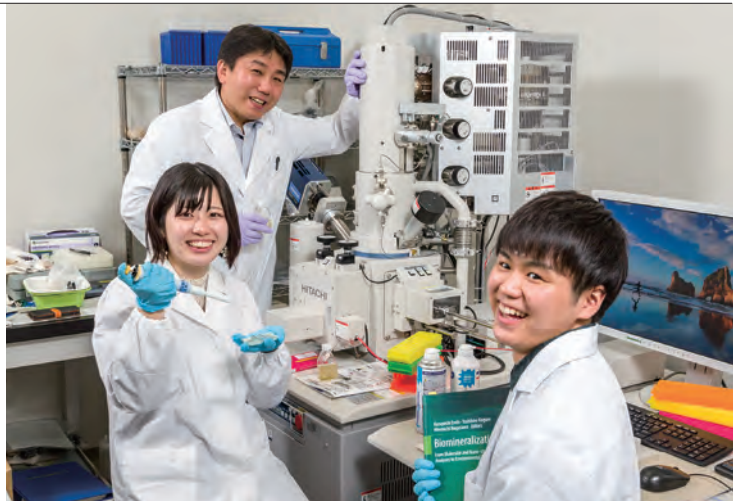


各学科の特徴

応用生物科学科

入学定員 40名

取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業) ◎食品衛生管理者資格(任用資格) ◎食品衛生監視員資格(任用資格) ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格) ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	食品・醸造/医薬品・化学品/医療・福祉/検査・分析/公務員・公的機関



生物生産科学科

入学定員 40名

取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業) ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格) ◎樹木医補 ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	農業・園芸/緑地・農業/肥料/種苗・農業ビジネス/公務員・化学/医薬品、食料品製造



生物環境科学科

入学定員 30名

取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業) ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格) ◎樹木医補 ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	農・林業ビジネス/流通/造園・環境修復/土壌修復/水質浄化/環境アセスメント/環境計量・環境プランナー・廃棄物再生利用/食品/品質管理



アグリビジネス学科

入学定員 40名

取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ◎高等学校教諭一種免許状(農業) ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格) ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	農業起業/食品・農業経営マネジメント・商品提案/農産物・食品流通・行政・地域振興・農業振興/栽培技術/飼育技術・技術営業/地域資源管理/農村環境評価・設計・農業農村整備



学びのキーワード

気になる科学のキーワードから学科をナビゲート



生物環境 科学科

アグリ ビジネス 学科

探素的データ解析

水質浄化

生物情報学

水環境・森林・土壌・気象など、
幅広く自然のメカニズムを学びたい

自然環境と人間活動との
相互作用を考え
持続的発展に寄与したい

森林や野生動物に興味がある

生態系レベルから身近な生活レベルまで
環境問題の解決に取り組みたい

農業が直面する
課題を探り、救いたい

作物の生産性を高めながら
持続可能な農業を実現したい

農業農村を盛り上げ
地方創生に貢献したい

地学、生物学、化学が好き

フィールドワークが好き

広い農場で生産技術を
実学的に学びたい

画期的な生産技術を
開発したい

牛など家畜が大好き

農業農村が直面する
課題を解決したい

グリーンツーリズムで
地方創生をしたい

農家が儲かるしくみ
(農業経営)を学びたい

農業生産から加工や
流通システムまでを学びたい

6次産業化に興味がある

農業×IoTの
可能性を探りたい

物理、生物学、
農業が好き

農業法人問題

農業経営学

火山灰土壌

微生物

アオコ

環境修復

植物

性分化

土壌の浄化

温室効果ガス

メガカ

内分泌かく乱

地域農業の担い手

ドローン

作物生産

法人

アニマルサイエンス

新規就農

花

畑作物

品種改良

省力栽培

畜産動物

牛の成長と肉質

プロジェクト教育

リモート農業

果物

ロボット農業

自動操舵

卸売市場

アルミニウムの
ダイナミクス

食害

鉱山と金属

ゲノム解析

流域管理

生物多様性保全

生態系機能

食物連鎖

土づくり

気象

山と海のつながり

地域資源

地域の経済循環

土壌微生物

八郎湖の再生

地産地消

水田農業

有機農業



クマ

水環境保全

医薬品

窒素固定

農耕地土壌

低環境負荷農業

気象観測

農業のIoT化

流通システム

雑草

体外培養

筋線維

農地水利用

プログラミング

植物三次元モデル

スマート農業

田植機

グリーン・ツーリズム

コンピュータシミュレーション

農産物貿易

イノベーション

日本短角牛

田園回帰

ニューバイオ

生産技術開発

ルーラルエンジニアリング

成長モデル

未利用資源

遺伝的プログラム

水資源

資源循環

飼料作物

防炎・保全

堰・ため池

マーケティング

フードビジネス

6次産業化

青果物流通

持続的農業・農村

有機農業

地域システム

農業経営者

フィールドワーク

循環型社会

物質循環

温暖化

食糧問題

植物機能利用

生物地球化学

エネルギー資源問題

環境保全・環境問題

高品質作物

作物生育診断

生態学

森林生態系

ヒトと自然の関係性

植物の一生

レアメタル

水環境保全

気象観測

農耕地土壌

低環境負荷農業

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測

気象観測



応用生物科学科

DEPARTMENT OF BIOTECHNOLOGY

WEB



応用生物科学科
運営ページ
<https://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/DBT/index.html>



ホワイトクリフを作った！意外と身近な存在円石藻

高校生の頃から生物が大好きで、もっと生物学の知識を深めたいとぼんやりと考えていた私に、「少人数で先生の目が届きやすく学生一人一人への対応が丁寧だよ」と高校の先生から後押しされて就職率も高い本学への進学を決めました。入学後は基礎からしっかりと教えてもらい、学年が上がるにつれて専門的な講義が増え、興味のある分野を集中的に学ぶことができます。私は現在、円石藻という身近な海にいる微生物を育てています！円石藻を電子顕微鏡で観察するとココリスという神秘的な形状をした外骨格を身にまとっていることが分かります。この小さな微生物が長い年月を経てドーバー海峡に見られるようなホワイトクリフ(石灰岩)を誕生させました。今後の目標は、ココリスの形成メカニズムを明らかにし、みんなに凄いとされる結果を残すことです。目標や志を持って行動する先輩を見てきましたので、本気でやりたいと思える夢を持つことが今の私の夢です。そんな大きな夢を見つけるまでは、本気で挑戦している人たちを支える仕事をしたいと考えています。また私は日ごろから、生活の中での不便を見つけてこんな商品があったらな～というときには、それをメモに書き留めています。いつの日か、それらのアイデアを活かして特許をとることを夢見ています。

応用生物科学科 3年 原田 侑奈 さん HARATA Yuna
秋田県/秋田南高校

『生命』と『食』分野の課題を 科学の力で解決する知的エキスパートを育成する

本学科では動物・微生物・植物と幅広い生物の生命現象の解明と、秋田県に特有な素材の有効利用に関する研究によって得られた成果を、産業や医療に役立てることを目指しています。本学科における教育の目標は、ライフサイエンス・食品・醸造産業における研究者や技術者を育成することです。動物・微生物・植物の遺伝子や遺伝子操作技術、清酒造りや食品開発に興味がある、研究者や技術者になりたいとあこがれる皆さん、応用生物科学科で私たちと一緒に学びませんか。



応用生物科学科 学科長
村田 純 教授

微生物機能グループ

微生物機能を解明し、有用遺伝子を利用する

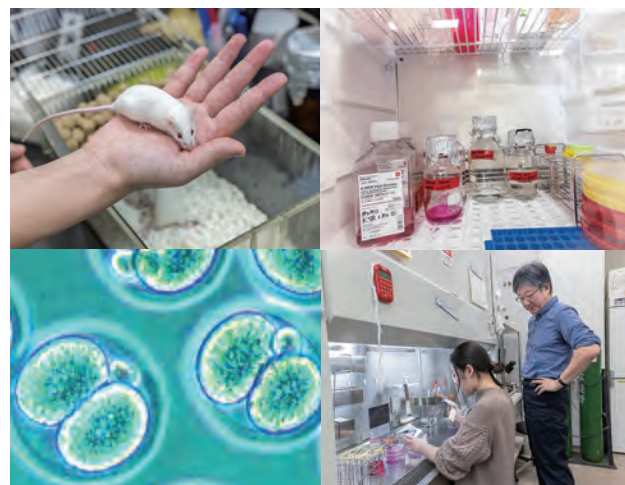
- 微生物が他の微生物や動物・植物・環境に及ぼす影響に関する研究
- 微生物が作り出す有用物質とその生産および有効利用に関する研究
- 微生物の代謝・成長・形態形成の分子機構とその制御に関する研究



動物機能グループ

動物の分子細胞生物学に関する教育・研究、その応用

- 癌細胞の運動抑制と癌転移抑制に関する研究
- 気道粘液分泌の抑制と喘息症状の緩和に関する研究
- ホルモン分泌の研究と新規がん検査薬の開発研究
- 哺乳動物の発生学をバイオテクノロジーに応用する研究



植物機能グループ

植物由来有用物質の探索とその応用

- 植物の生理活性物質の構造を決定し化学合成により利用を図る
- 植物の生理活性物質の生合成を遺伝子や物質レベルで解明する
- 植物の細胞装置やバイオミネラルの形成過程と機能を探求する



食品醸造グループ

食品および酒類の高品質化に関する研究

- 県産素材の理化学的な解析や加工・醸造技術の研究
- 製品の成分分析法と評価技術の開発
- 優良な醸造微生物の育種などの研究



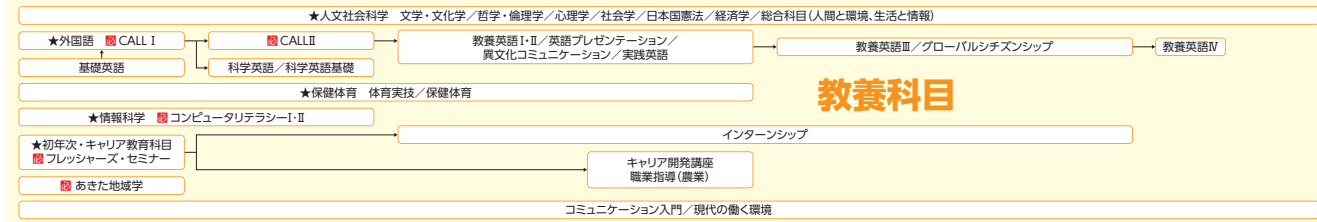
カリキュラム

DEPARTMENT OF BIOTECHNOLOGY



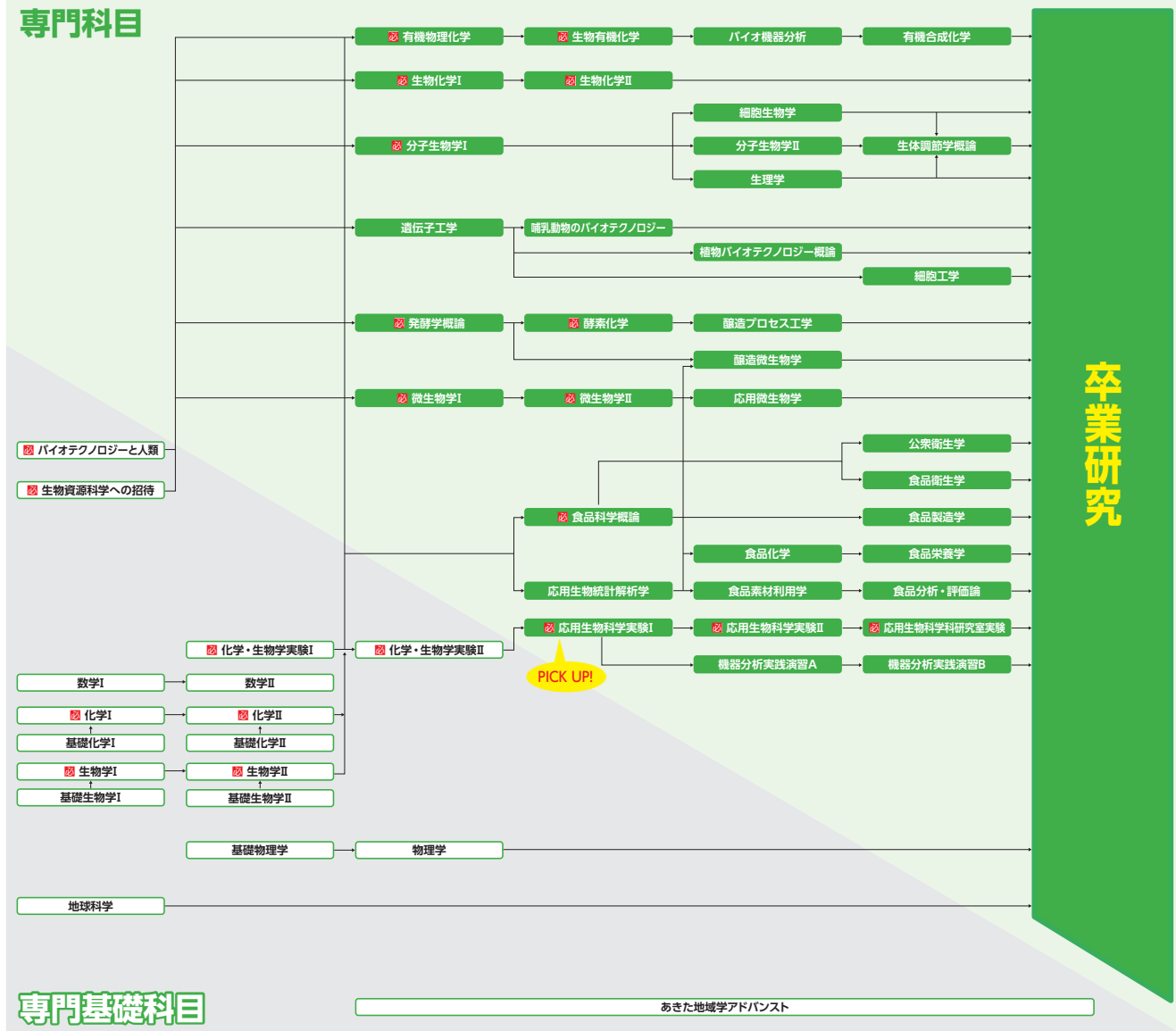
学生自主研究 (→P22)

☑は必修科目です
※他学科開講科目や自由科目の一部は除く



教養科目

専門科目



専門基礎科目

応用生物科学実験 I

2年次からは、細胞生物学、微生物学、醸造学の酒類生産技術、分子生物学に関する幅広い分野の実験・実習を行います。医療・製薬・食品産業で働く上で重要な実験技術と知識を身に付けることができます。



私の成長ストーリー follow the tracks

応用生物科学科 4年

角田 大知 さん
KAKUTA Daichi

秋田県/秋田中央高校
アラハタ株式会社に内定



食を通じて人々の暮らしを豊かにしたい!!

私のターニングポイント

料理に対していつも真剣かつ遊び心を持った憧れの先輩達との出会い。月1回の活動が学校生活のモチベーションでした。3年次には代表を務めました。

私のターニングポイント

視野が大きく広がりがけがえのない経験に!! やってみなければ成功はもちろん失敗して学ぶこともできないと挑戦することの意義を実感!!

私のターニングポイント

酒造りと卒論の両立を目指しました。通常仕込&再醸仕込の2パターン酒造り、ラベル一新など大忙しでしたが、やり抜きました!!

夢に向かって
将来は工場長、旅人、カレー屋...!! 持ち前のフットワークと挑戦心で常にスキルアップ!!

アラハタ株式会社に内定



何もかもが新鮮な1年目
菜の花まつりボランティアへの参加、アルバイトスタート、青春18きっぷでのひとり旅など、全てが新鮮で挑戦の日々!!

東京マルシェ研修に参加
東京の大田市場など訪問し販売のお手伝いと市場視察。生産者の熱意や食物の魅力を知り「農」への関心が高まりました。

究プロジェクトに初参加
日本酒醸造「究プロジェクト」に初参加!! ラベルデザインを考えたり、蔵作業現場を経験したりとモノづくり喜びを知りました。

目標の醸造学研究室に配属
研究室実験では「究」に使う酵母の開発に取り組みました。研究のほか、卒業生を交えてキャンプへ。全てが最高の思い出!!

オンライン就職活動
コロナ禍で就活が突然オンラインに。指導教員の伊藤俊彦先生、キャリアセンターの履歴書添削や面接練習。多くのサポートで内定獲得!!



タイ農業短期留学



日本酒醸造「究プロジェクト」酒米収穫

研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF BIOTECHNOLOGY

微生物機能グループ



菌類遺伝学
村口 元 准教授

キノコの子実体が作られるとき、どんな遺伝子やタンパク質が働いて細胞が分化していくのかを解明します。



微生物学
福島 淳 教授

環境のウイルスなどの微生物はほとんど理解されていません。これらをゲノム解析技術で研究しています。



応用微生物学
春日 和 准教授

放線菌という土にいる微生物を使って、木材やセルロースから薬(抗生物質)を作らせる研究をしています。



微生物学
志村 洋一郎 准教授

微生物のもつ物質変換機能を応用した有用物質の創生や生産に挑戦。

応用微生物学
牟田口 祐太 助教

乳酸菌や好熱菌といった微生物たちの特性を明らかにし、人間社会に応用する。



進化生物学
竹下 和貴 助教

昆虫-微生物間の必須共生関係を遺伝子レベルで理解し、害虫防除技術への応用を目指す。

植物機能グループ



生体鉱物学
尾崎 紀昭 准教授

生物が造る鉱物(バイオミネラル)をミクロな視点から眺め、その謎を解くことで、革新的素材を作る。



植物生理学
岩崎 郁子 准教授

動けない植物が生きていくには光合成に加え微生物との共生も重要であると考え研究を行っています。



天然物化学
常盤野 哲生 准教授

植物や微生物由来の生理活性物質の探索や有機合成研究を通して、医薬品や農業に役立つ有機分子を作る。



植物代謝化学
水野 幸一 教授

カフェインを含む植物が、その合成能をどのようにして獲得し進化させてきたのかを探る。



植物分子生理学
王 敬銘 准教授

たんばく質と結合する有機化合物の合成研究を行っています。



動物機能グループ

生化学

穂坂 正博 教授

情報伝達機構であるホルモン分泌系、神経系について研究を行い、生活習慣病の解明を目指しています。



分子腫瘍学

村田 純 教授

癌で死に至る最大の要因は転移です。その分子メカニズムを解析して癌治療のヒントを探しています。



幹細胞生物学

小林 正之 教授

iPS細胞が形成されるメカニズムの解明に挑戦しています。



分子生物学

岩下 淳 助教

喘息やCOPDの方は、気道で粘液ムチンが過剰に分泌され、気道を狭めています。この粘液ムチンの分泌を抑えて、喘息などの症状改善に繋げることを目指しています。



食品醸造グループ

分子育種学

中沢 伸重 教授

パン酵母として市販されている白神こだま酵母が持つ、高いストレス耐性のメカニズムを解析しています。



食品科学

陳 介余 教授

食品のおいしさ、栄養成分および安全性等の品質の可視化技術の開発を目指しています。



食品科学

石川 匡子 准教授

嗜好性に優れた減塩食品を作るために、塩と他の味成分との相互作用や食感との関係性について研究しています。



食品科学

矢野 裕子 助教

食品アレルギーがある人もない人も安心して美味しく食べられる米粉食品の研究をしています。



食品科学

張 萼 准教授

脂肪酸劣化のメカニズムを解明して、脂質を含む食品の品質評価指標の確立に挑戦しています。



醸造学

伊藤 俊彦 准教授

日本の伝統的なアルコール飲料である清酒製造に関わる微生物や酵素を研究しています。





生物生産科学科

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL PRODUCTION

WEB



生物生産科学科
運営ページ
<http://www.dbp.akita-pu.ac.jp/>



秋田市のアスパラガスから分離された土壌病原菌の科学的分析

私は植物や農業に興味があり、将来、地域農業の発展に貢献できる仕事に就きたいと考えていました。受験するとき、就職に強くて充実した研究ができる秋田県立大学を勧めていただきました。調べてみたら、自主研究制度や取得可能資格などに魅力を感じたので、秋田県立大学を志望しました。生物生産科学科では、農作業や専門実験などの実践的な演習もあり、基礎から専門的な分野まで、幅広く学ぶことができます。圃場実習では、様々な作物の種を植える段階から栽培します。作物を栽培することの体力的な大変さもありますが、知識を得るとともに収穫する楽しさを学ぶことができます。実習の最後に行われる「収穫祭」では、収穫した野菜を自分たちで調理し、他の学科の生徒や教職員の皆さんに振る舞います。私は卒業研究で秋田県の主要な作物であるアスパラガスの土壌病害に着目し、アスパラガスの根から取れた2種類の土壌病原菌について、病原菌の形態を観察し、病気の科学的診断の奥深さと面白さを学びました。将来、大学で学んだ様々な知識や経験を活かし、地域農業の発展に貢献できるよう尽力したいと思います。

生物生産科学科 4年 中川 愛結美 さん NAKAGAWA Ayumi
茨城県/下館第二高校

植物バイオテクノロジーで新バイオ産業の振興と地球の持続的発展を

植物は進化の過程で太陽エネルギーを利用し環境に適応した独自の育成システムを完成させ、地球上の生物を支えています。人類は食料・食品のほか建築資材や衣類など生活上必要な素材の多くを植物に依存しています。石油に代わる資源として改めて植物が合成する化合物が注目され、植物からアルコールやプラスチックなどが生産されています。これは環境保全を意識した資源のリサイクル化という現代社会ニーズとも一致しています。本学科では、植物の能力を科学的に理解し、バイオテクノロジーにより優れた機能を引出すことにより、植物生産に関する新しい産業の振興・発展に寄与できる人材を育成します。



生物生産科学科 学科長
藤 晋一 教授

植物栄養分野

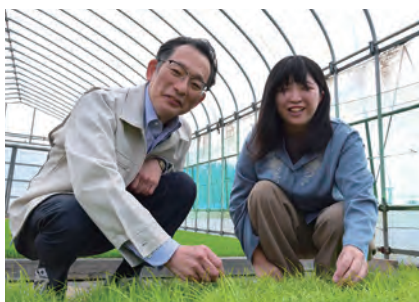
土の成分と植物の生長の関係を研究し、植物による環境浄化技術を開発する



植物生産基礎グループ

植物保護分野

病害発生の仕組みと農業を減らしても病気にかからない方法を研究



植物生態生理分野

生態学的・生理学的手法で資源植物の生長や増殖を合理的に制御する



分子シグナル制御グループ

生物活性物質分野

生物現象を制御する化学物質を発見して、新しい農業や環境負荷の少ない害虫防除法、作物の高付加価値化を考案する



植物分子情報分野

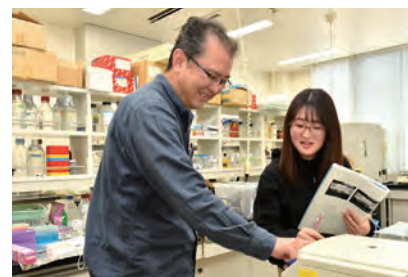
植物の形態形成を制御する分子メカニズムを明らかにして、植物の形を自由にデザインする



植物遺伝・育種グループ

遺伝育種分野

ゲノム解析などの手法を用いて、新品種や品種改良技術を開発する



植物生理グループ

植物生理分野

澱粉の合成メカニズムを解明し、バイオテクノロジーを用いて澱粉新素材を開発する



植物資源創成システムグループ

植物資源創成システム分野

植物を利用して有用物質を創る。環境を制御して有用植物を育てる。

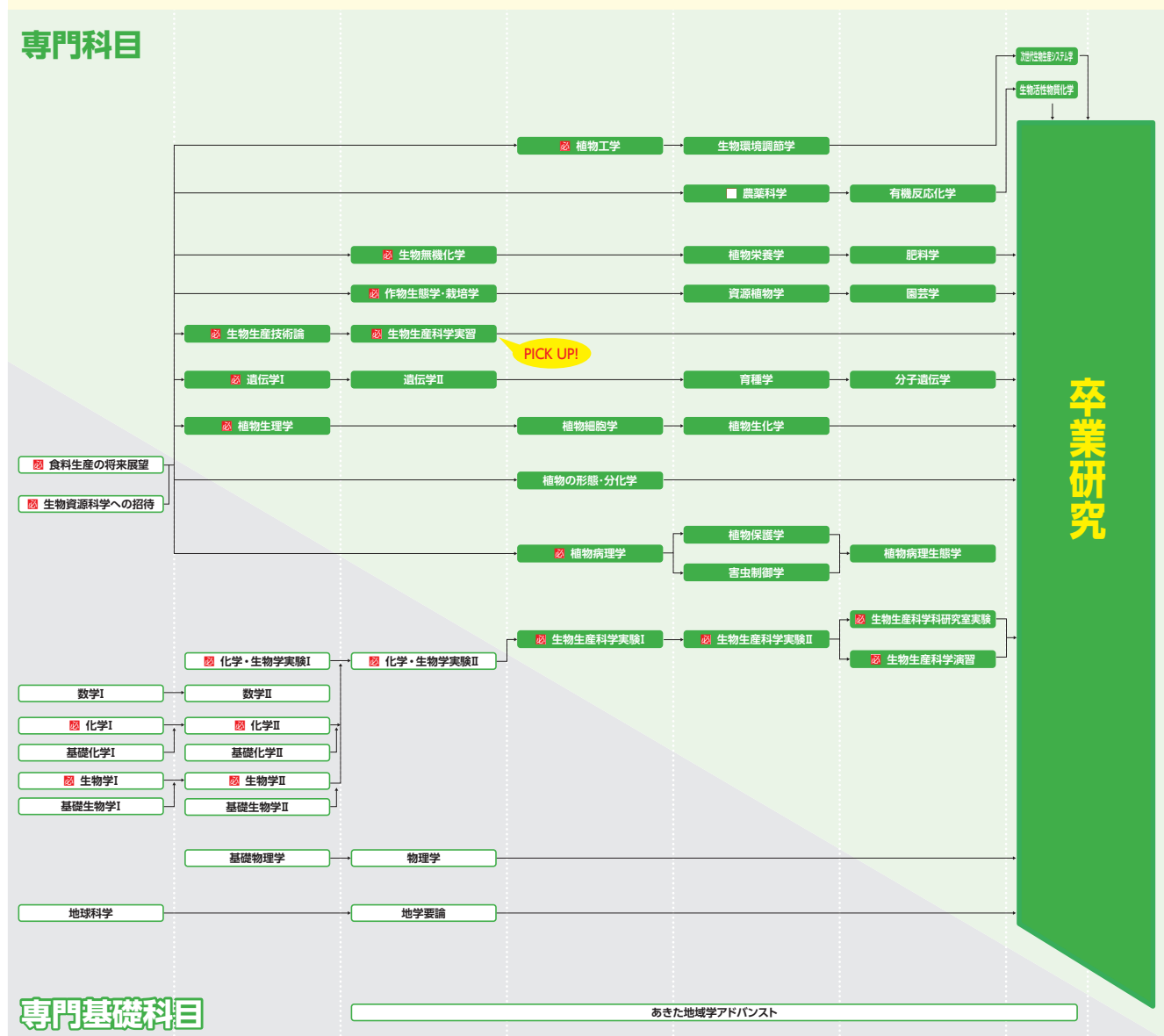
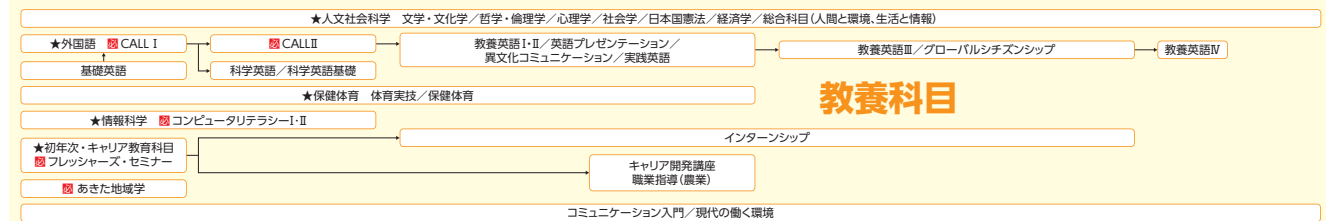


カリキュラム

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL PRODUCTION



☑は必修科目です
※他学科開講科目や自由科目の一部は除く



専門基礎科目

生物生産科学実習
2年次から生物生産科学実習(圃場実習)が始まります。実験圃場を使って様々な作物の栽培方法を学びます。実習の最後には収穫した野菜を調理して振る舞う「収穫祭」が行われます。



食文化の発展に貢献!!

食品を通じ豊かな食卓と

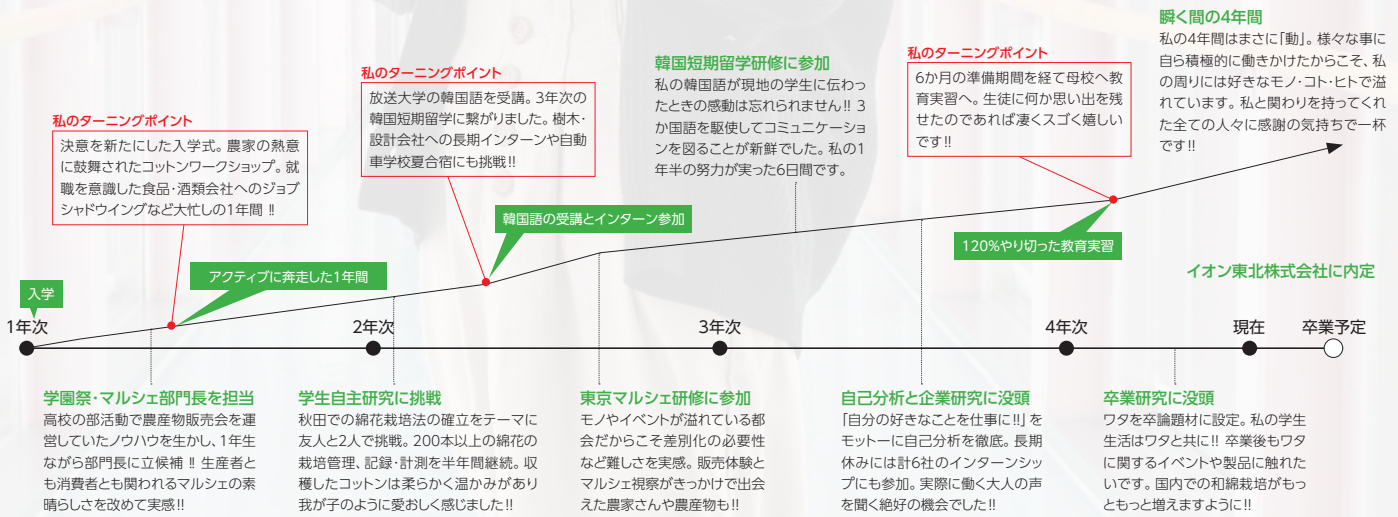


私の成長ストーリー follow the tracks

生物生産科学科 4年

細田 瑠花 さん
HOSODA Ruka

秋田県／金足農業高校
イオン東北株式会社に内定



韓国短期留学研修



学生自主研究で綿花栽培に挑戦

研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL PRODUCTION

植物生産基礎グループ



作物学
渡邊 肇 教授

田んぼに直接種子をまく直播栽培の確立を目的に、幼植物の生育促進に関する技術開発を行っています。

植物病理学
藤 晋一 教授

植物に発生する病害の生態を明らかにして、環境に優しい防除技術を確立、農業の持続的発展に貢献します。



土壌肥科学
松本 武彦 教授

低コスト、省力的で環境に優しい肥料の使い方を研究しています。



植物病理学
戸田 武 准教授

植物の病害を素早く診断し、病気の発生しにくい環境作りを目指します。新種の菌類を提唱する研究も行っています。

作物生理学
小川 敦史 教授

普通の条件と違う環境で栽培したりストレスを与えたりして付加価値のある野菜や作物の栽培方法の確立を目指しています。



植物栄養学
増田 寛志 助教

鉄分や亜鉛などミネラル栄養豊富な健康に良いお米を開発し、秋田県の新ブランド米を目指しています。



土壌学
頼 泰樹 准教授

有害元素、今は福島で問題になっているセシウムを吸わない作物を開発することを目標としています。



植物病理学
今 辰哉 助教

最新のバイオテクノロジーを用いた植物の病気防除方法を開発し、農業生産性の向上に貢献します。



作物生理学
曽根 千晴 助教

世界の食糧保障に貢献するために、異常気象や不良環境下でも稲作が可能になることを目指しています。

植物遺伝・育種グループ



植物分子遺伝学
渡辺 明夫 准教授

ゲノムに書き込まれた生命プログラムを解き明かし、植物のもつ未知の能力を掘り起こします!



遺伝学
赤木 宏守 教授

イネが低温でも成長できる仕組みを解明し、秋田で直播栽培ができるイネの育種を目指しています。

園芸育種学
櫻井 健二 准教授

先人達が残した伝統野菜に付加価値を付ける取り組みをしています。リンゴの新品種育成も目指しています!



植物分子生物学
上田 健治 准教授

花粉ができる時に必要な遺伝子の働きを明らかにして、植物の品種改良や花粉症対策に役立ちます。





分子シグナル制御グループ



昆虫学
阿部 誠 准教授

植物を食べる昆虫は好き嫌いが激しく、決まった植物しか食べません。この理由を様々な手法で調べています。



発生遺伝学
佐藤 奈美子 准教授

秋田産の変異体で植物の形づくりの秘密を解明し、世界に向けて発信します。



生物活性物質
田母神 繁 教授

新しい農業をつくります。



天然物有機化学
野下 浩二 准教授

害虫の行動や植物の生長・代謝を制御する物質を見つけ、有害生物の防除や作物の高付加価値化につなげたい。

植物生理グループ

植物生理学
鈴木 英治 教授

光合成微生物の代謝機構を解明し、新規エネルギー、バイオマス生産の開発を目指しています。



植物生理学
藤田 直子 教授

米の澱粉研究の成果から、これまでにない新しい米を開発し、秋田の農業を元気にします。



酵素学
鈴木 龍一郎 助教

糖質を代謝する酵素の性質を調べて、性能を強化して、利用して、新しい糖質素材を作り出します。

植物資源創成システムグループ

分子生物学
原 光二郎 准教授

「地衣類」は新しい薬・コスメの元になる可能性があるんです！新種の地衣、役に立つ地衣を探しています。



環境調節工学
小峰 正史 教授

薬用植物を植物工場などで効率良く栽培するため、最適環境の解明と栽培技術の開発を行っています。



植物工学
川上 寛子 助教

薬用植物や地衣類から見出した新しい有用物質の大量生産を目指しています。



生物環境科学科

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL ENVIRONMENT



生物環境科学科
運営ページ
<https://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/DBE/index.html>



森林生態系の物質循環に関する新たな知見を得て環境問題を解決する!!

自然豊かな秋田県で環境に関して深く勉強できることや、少人数教育で教員と学生との距離が近いことに魅力を感じ、秋田県立大学を志望しました。生物環境科学科は、フィールドワークが特徴的です。「生物環境科学実習」の授業などでは、森林、河川、湖沼などフィールドに実際に足を運び、調査対象を間近で観察したりサンプリングしたりすることで、研究課題の発見にもつながります。また、講義ではグループワークが多く、話し合いを通して課題を解決する能力を身につけることができます。私が所属する森林科学研究室では、森林の移り変わりや保全について研究しています。その中で私は、樹木の花や花粉に着目し、それらが森林土壌へ供給している養分は、生態系にどの程度寄与しているのか研究しています。今後は秋田県立大学大学院に進学して、さらに研究を深め、森林生態系の物質循環に関する新たな知見を得たいと考えています。そして、学生生活で得た経験と知識を活かし、日本の森林の整備や保全活動に貢献することが私の夢です。頑張ります!!

生物環境科学科 4年 齊藤 真紀 さん SAITO Maki
茨城県/下館第一高校

ふるさとの自然環境から地球環境までを見つめる フィールドに密着した科学

本学科では、私たちの生活に身近な地域から地球規模まで広がる自然環境や生物資源に関わる問題をフィールドに密着しながら発見し、人間生活への生物資源の活用と保全、自然環境の修復と再生などに関する教育・研究を行っています。生物学・化学・環境科学などの基礎を学んだ学生は、4つの研究グループのいずれかに進み、秋田の山から海までさまざまな生態系を教材としながら、学科内外の異なる専門分野の研究者や地域の人々と手を携えて、人間と生物資源をとりまく環境問題の解決や環境と調和した生物資源の効果的利用に貢献します。



生物環境科学科 学科長
高橋 正 教授

陸域生物圏グループ

土壌環境学研究室

[作物生産／微生物機能の活用／温室効果ガス]
環境にやさしい農業を目指す



森林科学研究室

[生態学、人と自然のかかわり、生物間相互作用]
森林の移り変わり、保全について考える



大気・水圏環境学研究室

[水質評価／微量化学物質／気象学]
人と生物をとりまく水、大気を科学する



環境管理修復グループ

生態工学研究室

[湖沼水質改善／排水処理／資源循環技術]
生態系・生物機能を利用した環境改善技術の開発



自然生態管理学研究室

[自然の浄化力評価／生物の土壌浄化／流域管理]
生物のはたらきを理解し環境をきれいにする



基礎生命科学グループ

基礎生命科学研究室

[植物生理機能／遺伝子組み換え／ゲノム情報]
生物の機能を遺伝子技術で高める



地域計画グループ

地域計画学研究室

[環境と経済の両立／地域活性化]
地域資源を活用して持続可能な地域をつくる



環境社会学研究室

[人々の意識や行動／地産地消]
人間と環境・食の関わりを研究



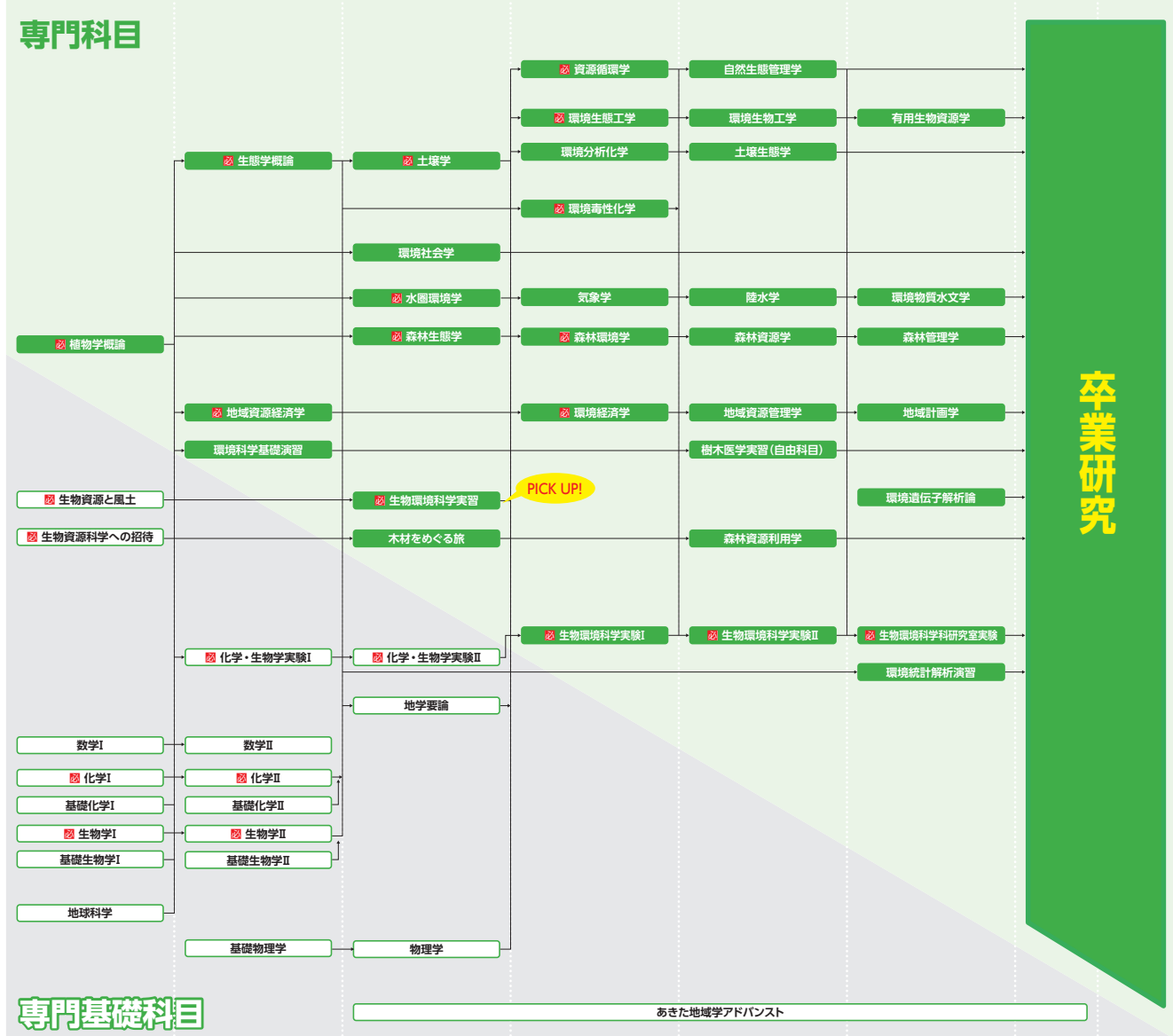
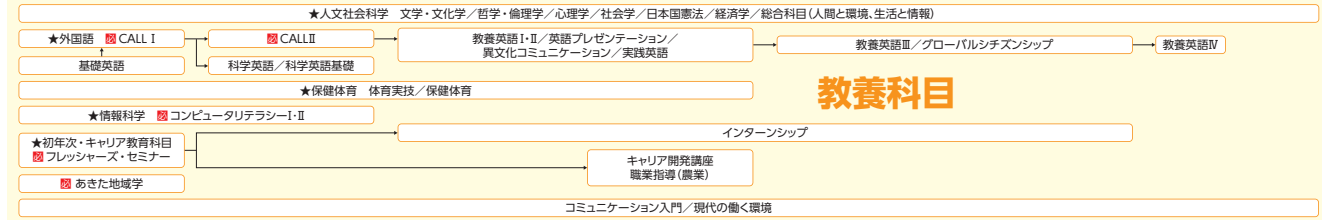
カリキュラム

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL ENVIRONMENT



学生自主研究 (→P22)

☑は必修科目です
※他学科開講科目や自由科目の一部は除く



生物環境科学実習

2年次から本格的に生物環境科学実習(フィールドワーク)が始まります。秋田県の多様な自然環境や生物資源を教材にしなが、実験室での作業とフィールドワークの手法をバランスよく修得することができます。



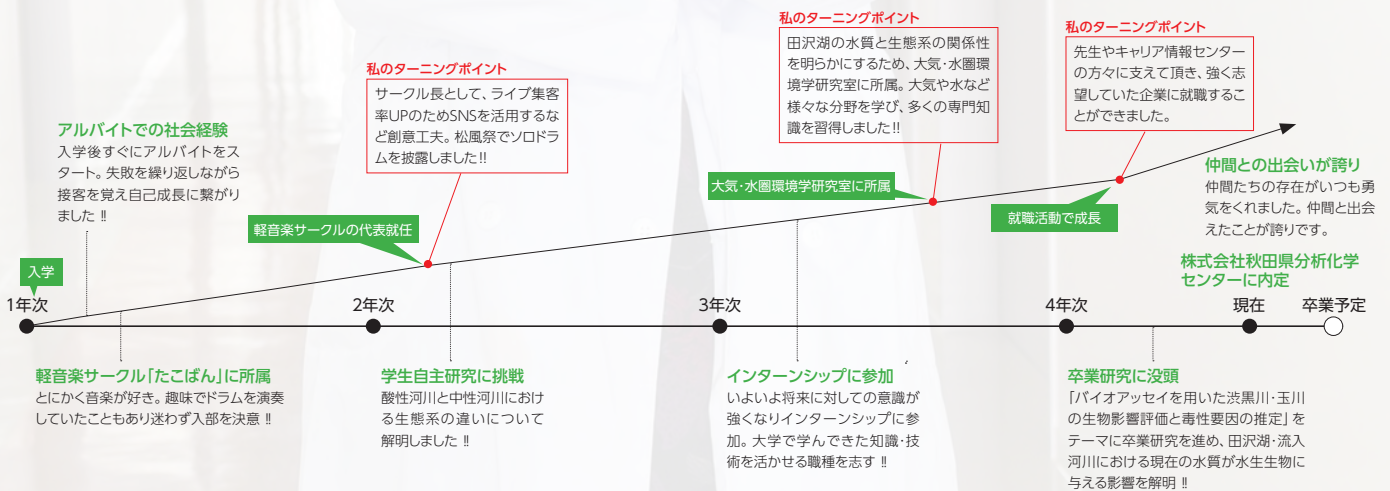
秋田県の豊かな自然を守り
地球環境の保全に貢献する!!

私の成長ストーリー follow the tracks

生物環境科学科 4年

諏訪 享 さん
SUWA Kyo

秋田県／新屋高校
株式会社秋田県分析化学センターに内定



かけがえのない仲間たち



軽音楽サークルたこぼん

研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL ENVIRONMENT

陸域生物圏グループ



生態学
蒔田 明史 教授

百数十年に一度、一斉に開花して枯れるという特異的なササの生き方の不思議を探求しています。



森林科学
星崎 和彦 教授

樹木の成長や開花結実、動物の個体数など「森の営み」の長期観測を通して気候変動の影響を探っています。



土壌学
佐藤 孝 教授

微生物の力を利用して肥料や農薬の使用量を減らしつつ、農産物がたくさん採れる農業を目指しています。



気象学
井上 誠 准教授

ドローンを用いた大気中の温室効果ガス観測と秋田県の農作物収量に関わる干ばつ・冷夏の予測を目指しています。



生態学
坂田 ゆず 助教

外来植物が昆虫を介して在来植物に与える影響について研究を行っています。



環境化学
木口 倫 准教授

生活排水を通じて河川に流れ出た医薬品のゆくえを探り、ヒト感染症の流行予測や予防に役立てる研究に挑戦しています。



土壌学
高階 史章 准教授

作物の生産性を高めながら環境は汚さない、そんな持続可能な農業を実現します。



土壌動物学
田中 草太 助教

土壌に住む生き物(ミミズや昆虫)を調べて物質循環の研究や農業生産に役立てようと試みています。

基礎生命科学グループ

植物分子生理学
小西 智一 准教授

データに隠されている事実を探しています。数学・物理学・化学・生物学の知識を総動員する知力戦です。





環境管理修復グループ



環境生物工学
宮田 直幸 教授

全国各地の鉱山の坑道で金属を代謝する未知の微生物を探索し、新しい廃水処理技術の開発に挑戦しています。



土壌生成分類学
高橋 正 教授

火山灰土の分布とその起源火山の特定、土壌や地殻のアルミニウムの生物地球化学的動態を調べています。

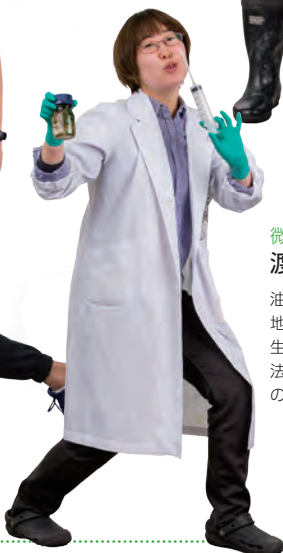


環境土壌学
石川 祐一 准教授

環境に拡散した重金属や有機化学物質を植物に吸収・蓄積させることによって浄化することに挑戦しています。

生物地球化学
早川 敦 准教授

河川水質の形成メカニズムや自然のもつ浄化機能を理解し、流域の物質循環の適正化を目指しています。



微生物資源科学
渡邊 美穂 助教

油田・ガス田・鉱山等の地下に存在する未知微生物を用い、環境修復法や新エネルギー技術の開発を目指します。



微生物生態学
岡野 邦宏 准教授

最新のDNA解析装置を駆使してアオコを取り巻く微生物を解析し、八郎湖のアオコ問題解決を目指しています。

地域計画グループ

環境社会学
谷口 吉光 教授

持続可能な社会の中心は農村・農業にある。そう信じて持続可能な社会のモデルを秋田でつくる。



農業経営学
中村 勝則 准教授

地域の自然や社会と調和し、若者にとって魅力的な農業法人(会社)のあり方を現地調査から解明したい。



農業経済学
長濱 健一郎 教授

農地や水などの地域資源を活用した経済活動を育て、グローバルな時代に環境と調和した豊かな地域をつくりまします。

組織経営学
川崎 訓昭 助教

衰退の一步をたどる日本・秋田の農業を維持すべく農業経営・地域・農協・自治体の歩むべき道を分析しています。





アグリビジネス学科

DEPARTMENT OF AGRIBUSINESS

WEB



アグリビジネス学科
運営ページ
<https://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/AGRI/>



日本の最高な大学で秋成りラズベリーの安定生産技術を開発中!!

日本一広いフィールド、1年生から自分のやりたい研究ができる学生自主研究、少人数教育による先生との距離が近く分かりやすい講義、全てに魅力を感じる大学です。アグリビジネス学科は3年生になると希望するプロジェクトごとに分かれます。1プロジェクトに学生が5～9人くらい、さらに4年生の卒業論文では、マンツーマンに近い指導が受けられます。先生方は皆、人情味があり温かく親切で、私にとっての先生は、1対1の人間同士の関係と言っても良いくらい身近な大きな存在です。現在、私は秋成りラズベリーの安定生産技術の開発について研究しています。最終的には、農家さんが簡単に増収できる技術を開発し、日本に質のいい国産ラズベリーが沢山出回ることを目標としています。将来は、日本中に農業が楽しく儲かる産業なのだと思ってもらえるくらいの力と自信を持った教師や営農指導員を目指します!!

アグリビジネス学科 3年 佐藤 ふうこ さん SATO Fuko
新潟県/新発田農業高校

イノベーションの推進と次世代型アグリビジネスの創成を目指して

本学科が目指すアグリビジネスとは、農業生産を基幹としつつ、流通、消費までを見通し、時代の新たなニーズを読み取って実現する農業・農村にかかわる多様な社会的・経済的活動を意味します。こうした活動は、農業と関連産業が連携して、農産物やその他の地域資源を活用し、新商品提案や地域ブランド化を進めて、持続可能な地域の経済力を創り上げていくことにつながっていきます。

専門性を高める6つのプロジェクト

3・4年次から6つのプロジェクトに分かれ、地域の課題を多角的な視点から解決することを旨とした専門教育が行われます。



アグリビジネス学科 学科長
増本 隆夫 教授

アグリテクノロジー (農業生産技術系)

先進作物生産技術開発プロジェクト

農作物(イネ、ダイズなど)の生育特性・栽培方法および農業機械・情報の利用技術を学び、多収、省力・低コストおよび環境負荷軽減に寄与する新たな技術開発を目指します。



先進園芸技術開発プロジェクト

園芸作物(果樹、野菜、花き)の生産動向を見極めた先進的な生産技術または高度化した実用技術の開発を目指します。



家畜資源利用推進プロジェクト

畜産資源の高度利用による新たな食肉生産技術体系の創造を目指し、肉用牛の飼育管理など畜産の知識・技術の修得とともに家畜の生理機能の解明と食肉生産技術の開発に取り組みます。



ルーラルエンジニアリング (農業農村環境保全系)

次世代農業基盤創成プロジェクト

農業の生産性向上や農村地域の防災・減災のための農地・水・水利施設等の管理・整備・保全技術と、農業・農村の有する多面的機能を向上させるための農村環境の評価・保全技術を学びます。



アグリビジネスマネジメント (農業経済／農村社会系)

地域ビジネス革新プロジェクト

農村地域の諸資源を活用した各種アグリビジネス、6次産業化などの新たな展開や流通システムの革新などについて学び、研究して、農業・農村の活性化に必要な知識や手法を身につけます。



政策・経営マネジメントプロジェクト

農業・農村の現場で話を聞き、統計を分析し、日本農業の実態に迫ります。農業政策学や農業経営学などの学問をベースに、農業・農村振興のための提案能力を育てる研究・教育を行います。



花きの需要を高め
日本の農業に貢献する!!!

私の成長ストーリー follow the tracks

アグリビジネス学科 4年

堀内 美沙希 さん

HORIUCHI Misaki

新潟県/加茂農林高校

株式会社宮城フラワーパートナーズに内定



入学式

慣れない環境と知らない人ばかりで緊張した一方で大学生活へのワクワクと何事にも挑戦しようという決意!!

入学

1年次

芋燈会入会

秋田でしか経験できないことがしたい!!と芋燈会に入会。秋田の伝統行事「芋燈まつり」に初参加。最高の思い出です。

私のターニングポイント

野菜や花き、果樹分野を専門的に学び、特に興味があった花きの知識を習得!!

園芸プロジェクトに所属

2年次

アルバイト活動

飲食店でのアルバイト。接客を学びました。社会人になるための大きな第一歩となりました。学業やサークル、アルバイトなど全てに全力投球し充実した日々を過ごしました。

運営としての芋燈まつり

3年次

一期一会たくさんの出会い

県大芋燈会のお囃子代表として、学外の芋燈会の方や町内の方と関わり、たくさんの知識・技術を吸収!!

私のターニングポイント

日本の農業に貢献する夢を実現するため、全力で就職活動に励みました。とことん企業研究をしたり友人と情報交換したり、常にモチベーションを上げました。

全力で就職活動

4年次

卒業研究に没頭

「食用菊の諸系統の収集と特性評価」をテーマに研究に没頭。沢山の方々の協力を得て卒業論文を執筆!!

最高の4年間

たくさんの出会いや経験は私の宝物。将来は園芸を営むし花きの需要を高め、日本の農業に貢献します!!

株式会社宮城フラワーパートナーズに内定

現在 卒業予定



園芸プロジェクトに所属



芋燈会で太鼓を担当

研究グループ&教員紹介

DEPARTMENT OF AGRIBUSINESS

アグリテクノロジー

畑作物学 露崎 浩 教授

ダイズやムギ類の安定・多収化、雑草の生態解明と制御技術開発、および雑草の教材化を目指した研究に挑戦しています。

野菜園芸学 吉田 康徳 教授

野菜の特性(生理生態的特徴)を活用して、寒冷地でこそ有利な画期的な生産技術の開発を目指しています。

花き園芸学 神田 啓臣 准教授

組織培養を使って花を大量につくる方法や、お正月やお盆などに花を咲かせる方法を研究しています。

家畜繁殖学 横尾 正樹 准教授

卵巣内に眠る大量の卵子を有効活用して子牛を生産する技術を研究開発しています。

発生遺伝学 永澤 信洋 准教授

いろいろな遺伝子がどのように働いて穂をつくっていくのかが明らかになります。

植物育種学 北本 尚子 准教授

機械や遺伝子情報を使って、いかに手間をかけずに美味しいリンゴを作ることができるか挑戦しています。

食肉生産科学 佐藤 勝祥 助教

日本短角種牛を対象に、赤身肉の生産性と肉質の向上を目指して研究を行っています。

家畜飼養学 伊藤 謙 助教

未利用資源の飼料化や畜産動物の品種の違いと腸管機能の違いの解明に挑戦しています。

ルーラルエンジニアリング

農業水文学 近藤 正 准教授

農業の持続性向上を追求！水田負荷の抑制、水田生態系の回復と水質浄化機能の向上で農業水域の水質を保全します。

農業水文学 増本 隆夫 教授

田んぼの大きさから流域(河川に流れ込む降水の降り集まる地域)スケールで水の流れをモデル化しています。

農業水文学 永吉 武志 准教授

ドローンを活用し、堰やため池などの水を利用するための施設を、安全かつ長持ちさせるための技術開発に挑戦しています。

農業機械学 山本 聡史 准教授

農業ロボットの開発や植物の三次元モデルの構築手法の研究を行っています。



アグリビジネスマネジメント



農業経済学
岡田 直樹 教授

サイレント革命といわれる世界の新しい状況に対応した、持続的農業・農村のあり方を探求しています。



農業経営学
鵜川 洋樹 教授

農業生産の最前線何が起きているのか。営農現場のデータから農業経営の仕組みと発展方向を考えます。



農業経済学
酒井 徹 准教授

有機農業などの持続的農業が地域でどの様に広がるか、経営が成り立つ流通のあり方について研究しています。



農業経済学
赤堀 弘和 助教

コンピュータモデルを使ったシミュレーションで日本や秋田農業の持続的な発展を目指しています。



流通・マーケティング学
林 芙俊 准教授

新しい野菜流通システムの形成条件を明らかにします。



農業経営学
高津 英俊 助教

日本農業における新規就農者の確保や就農支援、育成方策について研究しています。



農業経営学
上田 賢悦 准教授

将来の日本農業をリードする農業経営者を育てるための人材育成プログラムの開発に取り組んでいます。

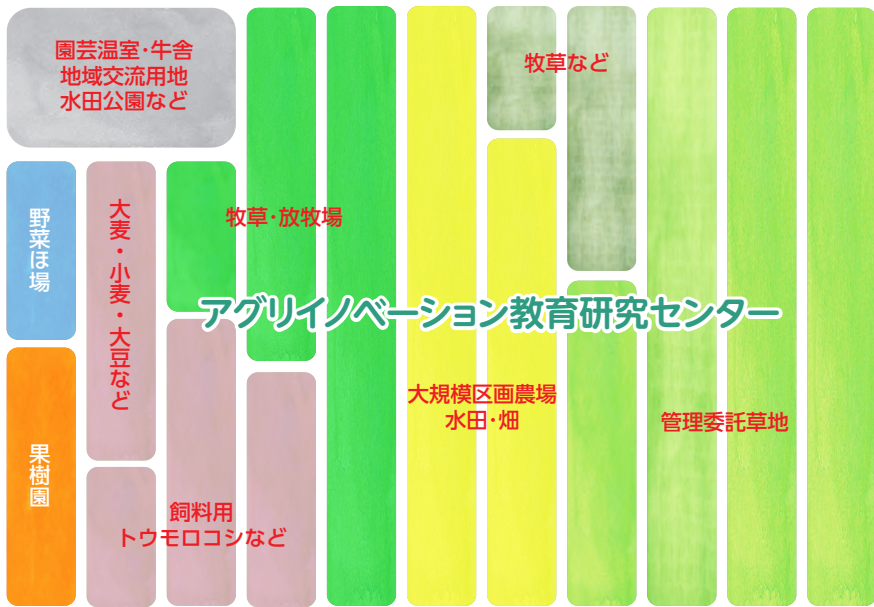
Agri-Innovation Education and Research Center

アグリイノベーション教育研究センター

大潟キャンパス/スマート農業の研究拠点・全国一の広さを誇る大規模農場

アグリイノベーション教育研究センター(AIC)は、Society 5.0時代のスマート農業に関する教育研究の拠点として令和3年度に設置されました。センターの新しい施設、組織体制、教育研究機器等は整備途上ですが、そのフィールドは総面積190ha、東京ドームの建築面積の約40個分。そのうち圃場面積が164haあり、大学附属農場の中で全国一の広さ。水稲に加え、大豆や小麦などの畑作物、果樹や野菜、花きなどの園芸作物、牧草やトウモロコシなどの飼料作物が栽培されるとともに、44頭の肉用牛も飼養されています。この農業生産の大規模フィールドで、演習や実習、卒業研究などが行われます。

WEB



大潟村はガンやハクチョウ、ワシなど多くの冬鳥たちが飛来します。アグリイノベーション教育研究センターの田んぼも賑やかになります。



子牛誕生!

牛舎 和牛(黒毛・短角) 44頭



野菜ほ場 野菜(ヤマノイモ、トマト、キャベツ、タマネギ など)



園芸温室 花き(オーニソガラム、マリーゴールド、ガーベラなど)



果樹園(6ha) リンゴ、ブドウ、キイチゴ など



アグリイノベーション教育研究センター フィールド農学グループ教員



環境保全栽培学
保田 謙太郎 准教授

稲作は中国大陸から伝播しましたが、日本の水田雑草はどのように誕生したのか?その由来を調べています。



家畜飼養管理学
渡邊 潤 准教授

日本の畜産は輸入飼料に依存しております。そこで飼料自給率100%を目標とした土地利用型畜産経営モデルの創出を目指しています。



園芸学
今西 弘幸 准教授

ラズベリーの収穫期を調整するための栽培やニホンナシの組織培養変異を利用した育種の研究を行っています。



生産システム学
西村 洋 教授

ロボット技術やICT技術を活用し、だれでも、どこからでも農業を行うことができるシステムを目指しています。

大区画農場(水田／25ha、畑地／45ha)

【作物】○稲(あきたこまち、めんこいな、たつこもち、あきた酒こまち※)
※県大発日本酒醸造「究(きわむ)」に用いられます
○麦類(シュンライ、銀河のちから など) ○大豆(リュウホウ)



地域交流

一般市民の見学、子どもたちの農作業体験・収穫体験などを実施し、食の重要性や農業の役割を考えるきっかけづくりを行っています。



大学院

より深く濃密な研究を重ね、高度な専門技術を学ぶ。

科学技術がますます発展・深化する中、より高度な専門知識と技術を有した人材が求められています。特に、工学・理学・農学系の大学院進学率は年々増加しており、社会での活躍の幅を広げるためには、大学院で、最先端の専門知識と技術を修得することが必須となっています。本学大学院には、充実した教育・研究環境とサポート体制が整っています。

システム科学技術研究科

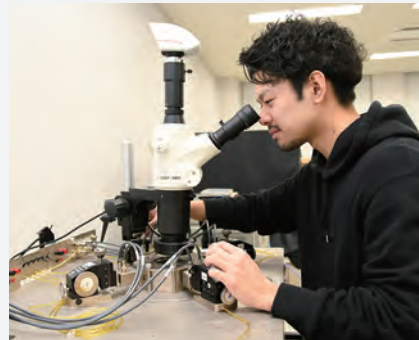
● 研究科長：水野 衛 ● 副研究科長：西田 哲也

博士前期課程	総合システム工学専攻	入学定員	42名
	共同サステナブル工学専攻(設置構想中)	入学定員	8名
博士後期課程	総合システム科学専攻	入学定員	8名



地域の研究機関や企業との連携のもと、秀でた創造力・総合力を有するエンジニアを育成する。

システム思考を身につけ、創造力と総合力に秀でた次世代を担う高度エンジニアの育成を目標に掲げ、充実した研究設備を整えるとともに、国内外の学会などでの発表も積極的に支援します。また開かれた大学として地域の研究機関・企業などと連携を密にしていることも特色で、本荘由利産学振興財団による学生の研究活動や海外への派遣支援も行います。



特徴1

国内大学で最高レベルの実験設備・機器が完備

超精密成形研削研磨装置、電波無響室、建築構造実験室、高精度安定同位体比質分析計など各分野における最高水準の設備・機材を揃えており、最先端の研究ができる環境になっています。

特徴2

一流企業に高度専門技術を有するエンジニアとして就職できる

大学院を卒業したOB・OGは、大手企業や先端技術を持つ地域の企業で、製品開発設計や建築設計、経営企画など企業をリードする仕事に携わっています。

特徴3

国際会議に参加できる機会が多い

国際会議・シンポジウムへの参加、国際共同研究の成果発表などに参加している大学院生が多くいます。本荘由利産学振興財団等から渡航費用などの援助を受けることができます。

スーパー連携大学院プログラム

所属している大学にしながら他大学の魅力ある科目を受講できる教育プログラムです。“こうなりたい”と望む人物像に向けたカリキュラムを選択でき、研究活動や将来の就職にも役立てることができます。普段聞くことのできない企業トップの話や特定専門分野の技術者の話を聴講できます。学位研究の産学共同の研究活動を通じ企業人とのコミュニケーションができ、自分の適性を見ながら進路を決めることができます。

国内外の学会参加を奨励

学会参加を全面サポート

本学大学院は、国内外の学会で研究成果を発表することを奨励しています。専門分野の最先端に触れ、また人との交流を通じて、研究テーマへの関心が深まり視野も広がります。国際学会における渡航費・交通費・参加登録費・宿泊費は大学で全面的に支援します。

社会人に配慮した多様かつ柔軟な教育プログラム

特別早期修了制度

博士後期課程において、既に一定の研究実績や能力を有する社会人を対象に、入学前の審査で優れた業績を有すると認められた場合に、標準修業年限よりも短期の履修を認め、学位取得ができる制度です。

長期履修制度

社会人など個人の事情に応じて、修業年限を超えて計画的に学位取得ができる制度です。授業料については、履修期間に応じて分割納付となります。



生物資源科学研究科

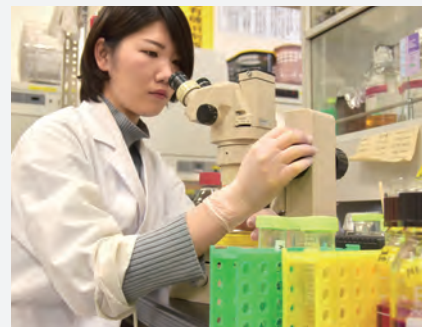
● 研究科長：蒔田 明史 ● 副研究科長：高田 克彦、中沢 伸重

博士前期課程	生物資源科学専攻	入学定員	28名
博士後期課程	生物資源科学専攻	入学定員	5名



人間と生物の共存をはかる 知恵と技術を有する専門家・研究者を育成する。

食料・エネルギー・環境問題の解決の鍵は「再生可能な生物資源と人類の共存関係の樹立」にあります。その原理を解明し、ふさわしい技術を確立することが私たちの使命です。本研究科では、今までの農業システムを再吟味し、新しい生物機能の発見と応用を通じて、これらの課題に取り組む専門的技術者を育成します。秋田にある立地をフルに活かして、生物資源における問題発生現場から、解決策を研究する研究室、そして、その結果を再度現場にフィードバックする「現場と研究室の直結」による研究教育を行います。



特徴1

国内大学で最高レベルの実験設備・機器が完備

フィールドに密着した教育と研究が一体的に行われ、学会などを通じて成果を広く発信することを支援しています。

特徴2

自然の恵みを活かした豊富な研究対象

白神山地、仙北平野の農耕地、雄物川、男鹿半島、八郎湖など多様な自然環境を誇り、研究対象の豊富さは他に類を見ません。

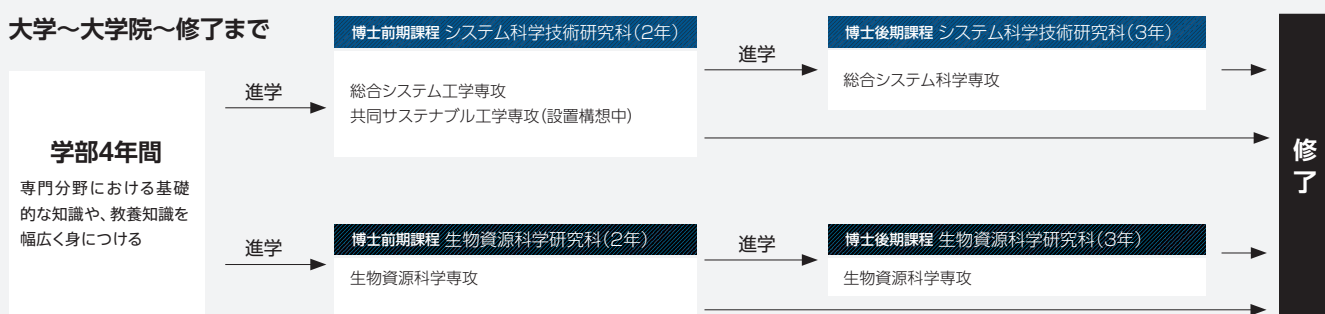
特徴3

全国トップレベルの高度な研究基盤の完備

大学では唯一ともいわれるバイオテクノロジーセンターやフィールド教育研究センターなど高度な研究基盤が整備されており、効率よく研究を進めることができます。



大学～大学院～修了まで



大学院優秀学生奨学金

本学部生が大学院前期課程に進学する際、学部3年終了時までの成績が、所属学科で上位10%以内の場合は年間授業料相当額の全額、10%を超え25%以内の場合は年間授業料相当額の半額を2年間、奨学金として支給します。なお、大学院入試(推薦特別選抜)に合格する必要があります。

特待生制度

▶入学生特待生

大学院入試または在学中の成績などにより優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を給付します。

▶在学学生特待生

大学院在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を給付します。

授業料減免制度

経済的理由などにより授業料の納付が著しく困難と認められた場合、授業料の減免制度が利用できる場合があります。学生からの申請により、各期(前期・後期)ごとに審査し、全額・3/4・半額・1/4の額を減免します。

授業料分割徴収 授業料徴収猶予

授業料の減免制度と同様、経済的理由などにより授業料を納付期限までに納付することが困難な場合は授業料の分割納付や徴収を猶予する制度があります。

システム科学技術研究科

学会における受賞実績例

- 人工知能学会全国大会インタラクティブセッション発表部門/全国大会優秀賞
- 日本機械学会 交通・物流部門大会/優秀論文講演表彰
- Social Good Distance DESIGN COMPETITION ~都市空間の新しい遊び方、楽しみ方のデザイン~/最優秀賞
- 空気調和・衛生工学会東北支部 学術・技術報告会/優秀発表奨励賞
- 秋田の住宅コンクール/最優秀賞
- 日本建築学会/優秀卒業論文賞
- 木の家設計グランプリ2019/優秀賞・ビルダー賞受賞
- 国際学術雑誌「Scientific Reports」への論文掲載
- インターネットアーキテクチャ研究会/学生研究奨励賞
- 第20回計測自動制御学会/優秀講演賞
- 日本燃焼学会「美しい炎」写真展/優秀作品賞
- 日本建築学会大会(中国)学術講演会都市計画部門/若手優秀発表賞
- TOHOKU + N YOUTH DESIGN「建築の成り立ち」/優秀賞
- エコデザイン・プロダクト&サービス シンポジウム/ベストポスター賞
- 大気環境学会年会/ポスター賞
- SICE東北支部研究集会/東北支部優秀発表奨励賞



STUDENT VOICE

博士
前期課程

LC/IRMSを用いた食品の炭素安定同位体比分析法開発と異同識別

日本で唯一稼働している液体クロマトグラフ/安定同位体比質量分析計(LC/IRMS)を改良し、食品の異同識別の研究を行いました。はちみつや日本酒の識別に挑戦し、日本酒においては国内初のアルコール・糖類の添加識別基準を確立して純米酒と吟醸酒の識別に成功しました。イタリアでの国際学会に参加した際の初めての海外旅行、初めての英語での発表は、在学中で最も印象深いエピソードです。前日の夜中まで先生と発表練習し、はちみつの同位体研究の第一人者とも何とか議論することができました。発表後のお疲れ会(本場のピッツァ、最高でした)や、ドイツで同位体関係の世界的な研究室に訪問したこともかけがえのない思い出になりました。

国内外での学会発表や論文執筆等の非常に貴重な経験ができ、また世界的にも最先端の分析機器を自由に使用でき、研究にのめりこめた大学生活でした。就職後は、学んだことを活かしつつ、挑戦・勉強しながら一流の技術力を身につけたいと思います。数年後には博士号の取得にもチャレンジするつもりです。

内定先 公益財団法人 日本分析センター

須藤 百香 さん SUTO Momoka

大学院・経営システム工学専攻 2年 環境分析学研究室
山形県/寒河江高校



日本学生支援機構 奨学金返還免除制度

第一種奨学金の貸与を受けた大学院生が、在学中に特に優れた業績を挙げた者として認定された場合、所属課程で貸与を受けた第一種奨学金の全額又は半額の返還が免除される制度です。

ティーチング アシスタント(TA)

大学院生が、学部生の実験・実習の教育補助を行うのに対し手当を支給する制度です。将来の研究者などになるためのトレーニングの場であり、経済的支援にもなっています。

リサーチ アシスタント(RA)

大学院生が、教員の研究補助を行うのに対し給料を支給する制度です。研究者としての素養を身につける場であり、経済的支援にもなっています。

学生自主研究 学生支援スタッフ

学部1・2年生が行う「学生自主研究」の実験や様々なサポートを行うのに対し手当を支給する制度です。

生物資源科学研究科

学会における受賞実績例

- 環境DNA学会／優秀賞
- 森林・林業技術交流発表会／東北森林管理局長賞奨励賞
- 人間・植物関係学会／優秀発表賞
- 日本生態学会東北地区会／最優秀賞
- 日本水処理生物学会／ベストプレゼンテーション賞
- アイトープ・放射線研究発表会／若手優秀講演賞
- 日本農芸化学会／学会トピックス賞
- 木質炭化学会大会／優秀発表賞
- 日本調理科学会／若手研究者発表奨励賞
- 日本食品科学工学会東北支部大会／若手奨励賞
- 日本応用糖質科学会／ポスター賞
- 日本地衣学会／学生発表賞
- 日本土壌肥料学会東北支部大会／優秀ポスター賞
- 日本水環境学会年会／学生ポスター発表賞(ライオン賞)
- 森林・林業技術交流発表会／優秀賞(森林保全部門)
- 日本木材加工技術協会大会／優秀ポスター賞
- 東北畜産学会青森大会総会／東北畜産学会賞
- 日本きのこ学会／学生優秀発表賞
- 農業食料工学会／ベストプレゼンテーション賞



博士
前期課程

STUDENT VOICE

薬用植物アカヤジオウの環境制御による最適栽培条件の解明

「アカヤジオウ」という薬用植物が私の研究の題材でした。この植物は漢方薬の原料で、大半を輸入に依存しています。安定供給を維持するために国産化が必要であり、その基礎となる栽培条件の解明を目的に研究しました。大学入学前から植物の培養技術に興味があり、学部1、2年次に学生自主研究に挑戦。初めて本格的な実験は全てが新鮮で刺激的な体験でした。初心者の私に先生は練習用の植物を提供していただき、基本的な技術や知識を教えてくださいました。この時、先生が提供して下さった植物が「アカヤジオウ」です。

私の将来の夢は、スパイスやハーブの持つ可能性を真摯に追求し商品に活かすことです。私は幼い頃から植物が好きでした。好きが高じて大学・大学院と6年間も研究ができ、植物に関する仕事に就くことができました。これも、大学の教職員や仲間など多くの支えがあったおかげです。今後の研究開発を通し、食卓に優れた商品を届けることで恩を返していきたいと思います。

内定先 **エスビー食品株式会社**

鈴木 健太 さん SUZUKI Kenta

大学院・生物資源科学専攻 2年 植物資源創成システム研究室
秋田県／秋田北高校

教養教育

総合科学教育研究センター

グローバルで、広角的な教養を身に付ける

基礎力を養う人文・社会、心身の健康に関する科目、英語・英会話、情報科学科目など幅広い分野の科目を編成しています。さらに、学部教員と協力して数学教育を行うほか、教員免許状取得を希望する学生のために教職課程や放送大学の授業も利用しながら、グローバルな視点の育成、人や社会生活についての複眼的・広角的な思考の養成を図ります。

WEB



文学・文化学

高橋 秀晴 教授

明治以降の日本の文学を対象に、作品の生成過程や出版人・編集者の果たした役割について考察しています。



心理学

渡部 諭 教授

高齢者先進県秋田で、アプリによる振り込め詐欺防止の研究を行っています。



英語

岡崎 弘信 教授

誰にでも想い出の映画はあるはず。そんな映画とITを組み合わせて英語を学習する方法を研究しています。



教職課程

伊藤 大輔 准教授

学校での様々な教育活動が、生徒さんの皆さんにとってより魅力的なものとなるよう研究を行っています。



社会学

小松田 儀貞 准教授

「社会」は人間の頭の中にある。「知識」はその人そのもの。直接見えない社会と知識を可視化する研究を行っています。



英語

高橋 守 教授

英語ライティングの技法、英文多読の指導方法、コンピュータによる学習管理システムなどを研究しています。



数学

宮本 雲平 准教授

アインシュタインが定式化した一般相対性理論を用いて、ブラックホールの理論的研究をしています。

キャリア教育学

渡部 昌平 准教授

自分の興味や関心を把握し、社会にどう関わっていくかを考える「キャリアカウンスリング」が専門です。



哲学

鈴木 祐丞 助教

19世紀デンマークの思想家ケルケゴールの生と思想を手がかりに、人間の生き方について考えています。



体育学

内山 応信 准教授

地域住民の健康寿命延伸のために、高齢者の転倒と認知症の予防法確立を目指します。



英語

山崎 健一 准教授

どうしたらもっと英会話力が上がるのか。実際に指導しながら研究しています。



英語

タッカー・ジェイン・エドワード 助教

テクノロジー使用の交差、文化間の違い、そしてそれが英語の授業にどのような良い影響・悪い影響を与えているのかについて研究しています。よりグローバル化の進む世界のために、英語の授業改善に向けたテクノロジー使用の利点を見つけ出します。



英語

アワナイ・マリア 助教

西洋と東洋美術を検討しながら英語を楽しみましょう。そして英語を使って自分の視野をひろげ、全世界の魅力に視線を向けましょう。



英語

加賀谷 真澄 准教授

明治・大正期に貧困ルポルタージュが流行した背景を調べています。欧米の新聞・書籍からの影響を分析しています。



英語

磯部 靖世 助教

学習言語を使うことに対する意欲や自信・不安がフィードバックによってどのように変化するかを検証しています。

附置研究所

木材高度加工研究所

木材資源の理想的な循環系の確立で、人類の未来に貢献

国内の大学機関に属する研究機関として、「木材」を冠する唯一の研究所。木質資源の理想的な循環系の確立を目指して、木材の基礎物性・加工・利用に関する研究と技術開発を行うとともに、高い技術力を備えた人材を育成するため、大学院教育にも取り組んでいます。

WEB



森林資源学
高田 克彦 教授

森林資源の健全な育成とその効率的な利活用の提案を通じて地球環境保全に貢献する!



木材化学加工
栗本 康司 教授

間伐材や木質廃材を有効に利用するため、木材成分の改質や熱分解の研究を行っています。



木質材料学
山内 秀文 教授

樹木が作る「丸太」をどう切り刻み、それをどう貼り合わせて新しい機能性材料を創るかを日々研究しています。



木材化学
山内 繁 教授

スギ間伐材を原料に、有害物質を選択的に吸着する機能性磁石木炭の開発に取り組んでいます。



木材・木質材料学
中村 昇 教授

地域活性に向けた林産物の多目的流通や利用システムの開発などを目指しています。



木材化学
澁谷 栄 准教授

植物の色に関係するポリフェノールや植物の香り成分の研究を行っています。



木材加工学
足立 幸司 准教授

伝統工芸を未来に繋ぐため、時代に求められ、時代を新たに創り出すモノとワザを研究しています。



木材工学
岡崎 泰男 准教授

安心安全な木造建築を作るために、色々な木材の強度や振動・音響性能などの物理特性を調べ明らかにする研究を行っています。



木材乾燥
川井 安生 准教授

鉛筆から木造建築物まで木材利用のため、木材を効率的に乾かす研究をしています。



木質工法
渡辺 千明 准教授

モノや人、地域の知恵を発掘し、地域資源を活用したまちづくりを目指します!



木材利用学
野田 龍 准教授

森林から得られる木材を構造物としてどのように利用していくかを研究しています。



木材化学・バイオマス化学
安藤 大将 助教

化学構造に立脚した木質バイオマスの解析および利用に取り組んでいます。



木材組織学
工藤 佳世 助教

私たちが木材として使っている樹木の幹が太る(=肥大成長する)メカニズムを研究しています。



CAMPUS ALBUM





CAMPUS CALENDAR

年間スケジュール



4月

5月

6月

7月

8月

9月

- 春季休業日
- 学習状況調査 (新入生)
- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 定期健康診断
- 前期授業期間 (4月上旬～7月下旬)
- 新入生歓迎会

• 田植え

- 秋田県立大学開学記念日 (6月5日)
- 特待生認定式

- オープンキャンパス (7月中旬、2日間)
- 前期試験期間 (7月下旬～8月上旬)
- 収穫祭 (生物資源科学部)
- 秋田県立大学PR特命アンバサダー任命式 (夏季休業中、母校訪問)

- 夏季休業日 (8月上旬～9月下旬)
※この期間に集中講義を実施
- 秋田竿燈まつり (8月3日～6日)
- 海外留学プログラム本格スタート
- 夏休み科学教室「創造学習」

夏休みは海外留学へ
秋田県立大学では長期休暇を利用した国際交流プログラムを実施しています。詳しくは→P110



※イベント開催の有無や日程は、年度によって異なる場合があります。



10月

11月

12月

1月

2月

3月

- ・後期授業期間
(10月上旬～2月上旬)
- ・大学祭
「松風祭」(秋田キャンパス)
「潮風祭」(本荘キャンパス)
- ・大学祭に合わせて
保護者等懇談会を開催
- ・全国高校生建築提案コンテスト
(10月中受付)
- ・稲刈り
- ・リンゴ収穫

- ・クリスマスパーティー(学生会主催)
- ・冬季休業日
(12月下旬～1月上旬)
※この期間に
集中講義を実施

- ・後期授業期間
(1月上旬～2月上旬)
- ・ミニミニ科学教室
- ・ホップステップ
キャンパス

- ・後期試験期間
(2月上旬)
- ・卒業論文発表会

- ・企業面談会
- ・卒業式・修了式



CAMPUS LIFE

秋田県立大学生の1日／本荘キャンパス

アパート

金 土 日
④ 5 6
即成金神の
19:00

Akita Prefecture

開催場所：秋田
開催日時：2020

潮風祭

一雲外蒼天

イベント

年輩 new
カラオケ ミス・ミスターコン
早飲み食い ポティービル
ピンゴ 学生の主張

一週間の時間割

	月	火	水	木	金
①			システム科学 演習	教養英語I	体育実技II
②	プログラミン グII	システムアー キテクチャ			ベンチャー ビジネス論
③	数理統計II		社会学 A		工業数学
④				離散数学	
⑤					

※時間割は令和2年度前期のものになります。

私は研究活動が充実している大学に進学したいと考えており、秋田県立大学では1・2年の時点で研究活動ができる学生自主研究というプログラムが用意されていたことから進学を決めました。秋田県は、豊かな自然と温かい地域住民が魅力です。地域の方とふれあう機会がたくさんあり、秋田県民の心の温かさを感じる日々を送っています。学生生活の面でも、サークル活動での新しい取組へ支援してもらおうなど、チャレンジする精神を大切にしてくれる大学だと実感しています。

PROFILE

村形 皇映 さん
MURAKATA Koyo
システム科学技術学部
情報工学科／2年
秋田県／大館鳳鳴高校

MY DAY

6:30▶起床

少し早めの起床です。最近ではコーヒーを飲んでちょっぴり大人気分を味わっています。

7:30▶朝食

朝食は昨日の夜に作っておき、時短しています。

8:00▶勉強(英語)

TOEICの勉強をしています。グローバル化の進む現代社会では、大人になっても英語はとても大切です。

14:30▶洗濯・掃除

洗濯は週3回程度していません。なんやかんやすぐに洗濯物が溜まってしまいます。

18:00▶サークル活動

学校に戻って、サークル活動！サークルのみんなと潮風祭に向けて準備を進めます！

19:00▶夕食・入浴

21:00▶勉強

24:00▶就寝



CAMPUS LIFE

秋田県立大学生の1日／秋田キャンパス

学生寮



PROFILE

角崎 歩美 さん

TSUNOZAKI Ayumi

生物資源科学部

アグリビジネス学科／2年

秋田県／御所野学院高校

一週間の時間割

	月	火	水	木	金
①	観動物の バイオテクノロジー			花き栽培学	キャリアガイ ダンス
②		教養英語Ⅱ A		農業・食料 政策学Ⅰ	植物病理学
③			農業技術 実習Ⅱ	畑作生産学	農業経営学
④				マーケティング論	
⑤	家畜生産・ 管理学			日本国憲法	キャリア開発講座

※時間割は令和2年度後期のものになります。

研究に最適な広大な圃場で農業や生物学を勉強することができることに魅力を感じ秋田県立大学を志望しました。稲作・畑作・園芸・畜産・経営学・水理学など農業に関わる幅広い分野を日々学んでいます。竿燈会に所属しており、多くの仲間たちと秋田竿燈まつりに向けて練習に取り組んでいます。秋田県の園芸振興に貢献できる公務員になることが将来の目標です。



MY DAY

6:00▶起床

10:30▶大学で講義

13:30▶図書館でレポート作成・読書

14:30▶農業技術実習

今日はアグリイノベーション教育研究センターでリンゴの実習を行いました。



18:00▶竿燈の練習

毎年8月に開催される秋田竿燈まつりに向け、囃子方の練習に励んでいます。囃子代表としてメンバーをまとめ、県大竿燈会の技術向上に力を入れています。



20:30▶夕食

3年生から寮に入ります。寮のご飯は栄養バランスもよく美味しいと評判なので今から楽しみです。

21:30▶入浴・レポート作成

23:00▶就寝

INTERNATIONAL EXCHANGE

国際交流／世界へ飛び立つ学生を全力サポート

海外留学プログラム

学生は世界中の人々と出会い海外で学ぶことで大きく成長します。本学では学生の多様なニーズに応えるため、様々な海外留学プログラムを実施しています。過去に実施した主なプログラムの留学先をご覧ください。



CANADA カナダ ビクトリア州

留学を志したきっかけは2点あります。1点目は、他国の人とコミュニケーションをとる事で私自身の凝り固まった価値観を更新したいと考えたからです。社会で生きて行くためには秩序を守って行動する必要がありますが、それに縛られすぎてしまい、本当の私らしさが失われていると感じていました。2点目は、英語しか話す事ができない環境に身を置く事で、留学した時点の英語力を客観的に測り、強み・弱みを理解した上で今後の学習に反映したいと考えたからです。

留学は一言で表すと、とにかく楽しかったです。実際に家族の一員としてホストファミリー・サンと交流できたことは特に印象深い経験です。深夜まで自家製ポップコーンとコーラを片手に映画鑑賞をしながら談笑し、昔話や色恋事情まで聞かせてもらいました。語学学校の友達、UVICの学生、飲食店で出会った人達など、幅広い人々と関係を持てたことも貴重な経験になりました。

将来の目標は国境を越えて活躍するエンジニアになる事です。そのために、狭い視野で物事を見るのではなく、俯瞰的に物事を考えられる人材になる事を目指します。語学力に関しても弱みを洗い出す事ができたので、残りの学生生活でも自己研鑽に励んでいきます。



山内 洸太郎 さん YAMAUCHI Kotaro
知能メカトロニクス学科 3年
茨城県／下妻第二高校

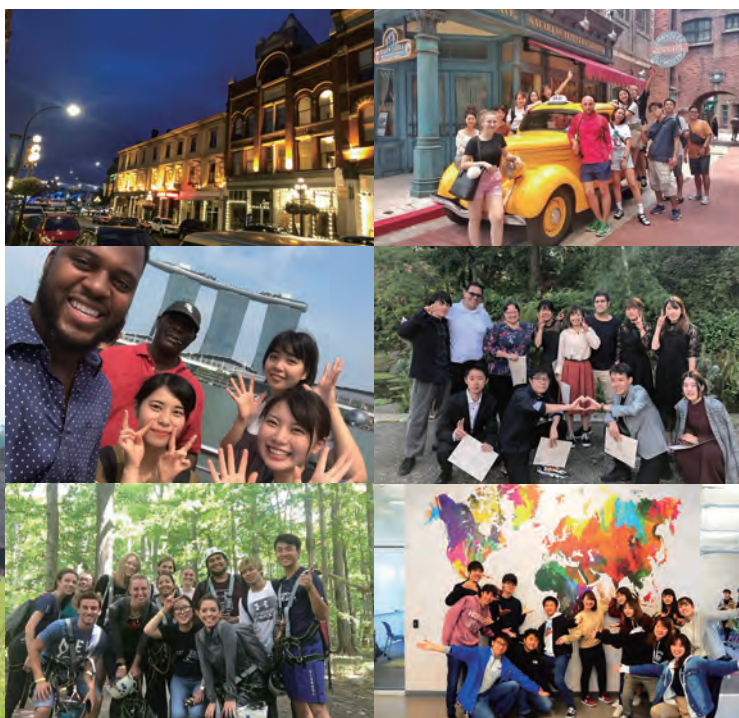
■ 国際学術交流協定校

大学間協定

国・地域名	大学名
韓国	順天大学校
タイ	カセサート大学
台湾	国立宜蘭大学
中国	上海理工大学
中国	清華大学深セン大学院
中国	西南交通大学
中国	蘭州大学

部局間協定

部局名	国・地域名	大学・学部等名
システム科学技術学部	インド	ビヤニ大学
	中国	山東建築大学
生物資源科学部	カナダ	ゲルフ大学生物科学部
木材高度加工研究所	韓国	ソウル大学農学生命科学大学



AUSTRALIA

オーストラリア語学研修

外国で生活してみたいと思っていたことがきっかけで応募しました。私の2年生の目標が「やりたいことは全てやる、できないを決めつけない」で、タイミングを逃すまいと思い、挑戦することになりました。オーストラリアに着いて最初の3日間は何もかもが全く異なることに戸惑ってしまい、1ヶ月間滞在することができるのかとも不安でした。ホストマザーや学校の友達とたくさん話し、ホストマザーとイベントに出かけ、毎日楽しいことが盛りだくさんで、気付けば不安だったことを忘れていました。この留学で、自分の考えを持ち、わかりやすく伝えることや表情の大切さを改めて感じ、もっと自分から発信していんだと思いました。また、上手くいかないこともありましたが、友達やホストマザー、先生方、たくさんの人の支えがあったため、充実したものになったと考えています。

留学を通して、人から聞いた話や本で読んだだけではわからないことがたくさんあり、経験して得ることが多くありました。これからも好奇心を持ち、机上の勉強だけではなく、行動することで学び続けたいと考えています。



松尾 穂乃 さん MATSUO Hono
生物生産科学科 3年
青森県/青森高校

CLUB ACTIVITIES

3つのキャンパス合わせて、90団体を超えるサークルがあり、各種大会や大学祭において日頃の活動の成果を披露しています。

サークル活動／本荘キャンパス



ツリーハウス同好会

「木を活かす学生活動大賞」を受賞



ジャズバンドサークル



学生自治会



準硬式野球部



本荘ごほん同好会



木匠塾



放送サークル



弓道部



ものづくりサークル S.E.I.M.

「ワールドグリーンチャレンジオープンクラス」優勝
「電気自動車エコラン競技大会 in SUGO」優勝

HONJO CAMPUS

学生自治会／潮風祭実行委員会 **【体育系(21団体)】** ドライブ同好会／ハンドボール部／バレーボール部／剣道部／DANCE STYLE／バドミントン部／卓球部／弓道部／ソフトテニス部／準硬式野球部／硬式テニス部／陸上競技部／自動車部／カヌー部／サッカーやるべ〜／水泳部／サイクリング部／バスケット同好会／バレーボール同好会／女子バスケットボール同好会／ボウリングサークル **【文化系(23団体)】** アニメ・イラスト倶楽部／天体観測サークル／放送サークル／ジャズバンドサークル／音楽部／軽音部／木匠塾／S.E.I.M.／麻雀部／アカペラサークルPoV／Game Creative Works／卓上ゲーム部／秋田学生まちづくり団体／文芸同好会／アート・デザインサークル／ツリーハウス同好会／地域おこしProject／写真同好会／Digital Media Works／もじ同好会／かると同好会／本荘ごほん同好会／Learning for Liberty

サークル活動／秋田&大潟キャンパス



アーチェリー部



国体を目指す、
アーチェリー部も
あるよ!

つむぎサークル



竿燈会



茶道部



チームInsects



SAT



フィールド教育センターのさつこ村で
野菜などを栽培しています

アンサンブルサークル



畑っこ秋田キャンパス



演劇サークル(劇団半円ぶたい)



ランニングサークル



与次郎駅伝優勝
秋田リレーマラソン準優勝

たこばん



野球部



炭焼きサークル



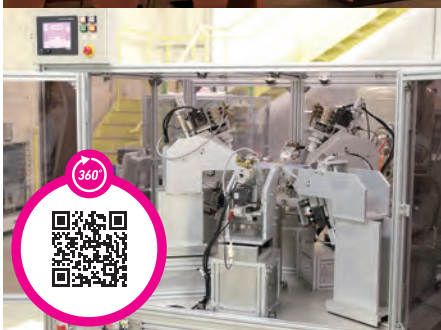
AKITA & OGATA CAMPUS

学生会／松風祭実行委員会 【**体育系(18団体)**】硬式野球部／サッカー・フットサル部／アウトドアサークル／男子バレーボール部／弓道部砂弓会／ソフトテニスサークル／少林寺拳法／バスケットボールサークル／バドミントンサークル／剣道・居合道サークル／卓球部／女子バレーボール部／軟式野球部／アクションサークル／ランニングサークル／球技サークル／スノーボード部／アーチェリー部 【**文化系(28団体)**】アンサンブルサークル／茶道部／アコースティックギター／たこばん／芸術部／演劇サークル劇団半円ぶたい／秋田県立大学竿燈会／赤十字奉仕団／畑っこ秋田キャンパス／畑っこ大潟キャンパス／文芸・イラストサークル／和楽器サークル／料理同好会／eスポーツサークル／TRPGサークル／SAT／チームInsects／パチカン(八郎湖環境を考える会)／炭やきサークル／星空会／アカペラサークル NOTES／ハンドメイドサークル／エコの環サポーターズサークル／写真部／つむぎサークル／カラオケサークル／ドライブサークル／GBビジネスサークル

本荘キャンパス

システム科学技術学部





秋田キャンパス

生物資源科学部





秋田キャンパスの
空撮映像がご覧
いただけます。



大潟キャンパス

生物資源科学部





秋田・大湯キャンパス向け

清新寮 完全個室の学生寮

DORMITORY

大湯キャンパスの広大な敷地内にある学生寮「清新寮」は、7階建ての建物に男子(2～4階、120室)、女子(5～7階、120室)別に居住階が分かれた全館個室で食事付きとなっており、充実した学生生活を送ることができます。

■ 寮費(令和2年度)
月額 **46,000円**
※寮費には、食費、光熱水費、共益費が含まれます。



■ 居室(各部屋の設備)

- ベッド台
- 机・イス
- クローゼット(引出付き)
- カーテン
- テレビアンテナ端子
- インターネット利用可

※サンネットの専用回線、NTTのフレッツ光が利用できますが、個別契約となります。
※電気製品など、原則持ち込み自由。
※冷房設備はありません。
※異性の居住階へは立ち入り禁止となっています。



居室

■ 食事(食堂)

- 平日/朝・夕2食
- 土日祝日/朝・昼・夕3食
- ※栄養バランスなどに配慮したメニューとなっています。
- ※食物アレルギーに対応したメニューも提供可能です。

■ 入寮

各入試区分により入寮募集期間、募集人数が異なります。ご自宅より本学までの片道距離が60km以上、もしくは片道の通学時間が1時間30分以上の方を対象とし、募集人数内で受付をいたします。(募集枠を超えたものに関しては、原則抽選。)アグリビジネス学科は3年生から大湯キャンパスでの授業が主となるため、3年進級時に通学距離・時間に関係なく優先的に入寮できます。



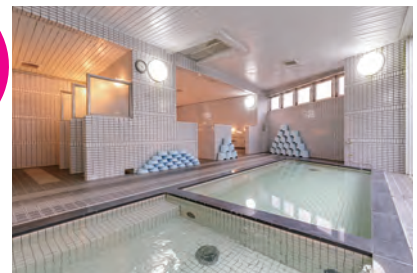
食堂

■ 交通

- ◎ 学生寮と秋田キャンパスを繋ぐシャトルバスを、授業に合わせ平日無料で運行しています。(講義期間1日7往復、長期休暇期間2往復程度、平日のみ)
- ◎ 学生寮のある大湯村は、公共交通機関は村が運行している1日4往復程度のマイタウンバス以外ありません。
- ◎ 講義期間中は、週に1回シャトルバスを買い物地経由で運行します。



秋田キャンパスまで約40分



大浴場

学生サポート

充実のサポート制度

学生の「学びたい」意欲に応えるため、大学独自の奨学金制度や授業料減免制度、さらには成績が優秀な学生を奨励する「特待生制度」など、様々なサポート制度を整えています。また、学生が主体的に取り組む交流活動などに対し、運営・財政の両面からサポートし、学生自身の主体的な学びを促進する制度もあります。

■ 秋田県立大学特待生制度

優秀な学業成績等により他の学生の模範となる者を讃え、学生の学習意欲の喚起を図ることで、本学の理念である「21世紀を担う次代の人材育成」の達成に資することを目的としています。

学部	1) 入学生特待生(秋田県内高等学校出身者のみ) 大学入学共通テストで本学が指定する科目を受験し、一定の基準を満たした場合、年間授業料相当額(535,800円)を4年間、奨学金として給付します。(ただし、学業成績の結果により翌年度の奨学金が停止される場合があります。)
	2) 在学学生特待生 在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額の半額を奨学金として給付します。
大学院	1) 入学生特待生 大学院入試または在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を奨学金として給付します。
	2) 在学学生特待生 大学院在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を奨学金として給付します。



生物資源科学部・研究科



システム科学技術学部・研究科

■ 授業料等

区分	学生(県内者)	学生(県外者)
入 学 料	282,000円	423,000円
授 業 料	年額 535,800円	
後 援 会 費*	50,000円 学生教育研究災害傷害保険並びに学研災付帯賠償責任保険料を含む	

*加入については任意となっております。後援会に加入すると様々なサポートが受けられます。(P123)

■ 授業料等減免制度

<学部生>

大学等における修学の支援に関する法律に基づく修学支援制度の対象者として認定を受けた学生は、支援区分に応じて入学金及び授業料が減免されます。

<大学院生／留学生>

経済的理由などにより授業料の納付が著しく困難と認められた場合、授業料の減免制度が利用できる場合があります。学生からの申請により、各期(前期・後期)ごとに審査し、全額・3/4・半額・1/4の額を減免します。

■ 授業料の分割徴収／授業料徴収猶予

授業料の減免制度と同様、経済的理由などにより授業料を納付期限までに納付することが困難な場合は授業料の分割納付や徴収を猶予する制度があります。

■ 日本学生支援機構奨学金など

大学等における修学の支援に関する法律に基づく修学支援制度の対象者として認定を受けた学生は、支援区分に応じて日本学生支援機構給付奨学金(原則返還不要)の支給が受けられます。この他にも、日本学生支援機構貸与奨学金や地方公共団体などの奨学金も取り扱っており、随時、学内掲示等によりお知らせします。



■ 秋田県立大学20周年記念奨学金

秋田県立大学20周年記念募金事業の趣旨に基づき、秋田県内出身学生に対する経済的支援として実施する奨学金です。

〈受給条件〉

次の全てを満たすこと。

- ① 秋田県内高校を卒業し、交付時に在学している正規生
- ② 学業を継続することに経済的困難が認められる者
- ③ 成績基準を満たしている者

〈給付額〉

一人あたり 20 万円(一括給付、返還の義務なし)

※奨学金の給付は学部及び大学院を通じ1回のみ

〈給付人数〉

一年度あたり最大 10 名

■ アクティブ人材奨励事業「アクションプラン・コンテスト」

秋田県立大学20周年記念募金を原資に創設した事業で、ふるさとの振興に意欲と独創的アイデアを持った学生を応援する制度です。書類とプレゼンテーションによる審査を行い、優秀賞には20万円、努力賞には3万円の奨励金を交付します。



■ 学生の様々な活動をサポート

地域との交流活動、自然体験活動、各種ボランティア活動など、学生の創造性・社会性・コミュニケーション力を育む様々な活動に対し、運営面・財政面で大学がサポートします。



Apple Camp! @横手市

県内でも有数のりんご産地・秋田県横手市で四代続く伝統ある果樹園で、りんごの葉摘み作業などを体験しました。ご近所さんや他大学の学生と垣根を超えて交流を楽しみました。



ミニミニ科学教室

学生が講師となって、子供たちにろうそく作りをはじめとした科学教室を実施し、科学のおもしろさを伝えました。

学生サポート

充実のサポート制度

秋田県立大学は、充実したキャンパスライフを送ることができる環境づくりに力を入れています。全ての学生が、“この大学に入学して本当に良かった”と思えるように、教職員一同、全力でサポートします。

健康サポート

授業中・課外活動中など学内で気分が悪くなったりケガをしたときには、各キャンパスの保健室で応急措置を行い、必要に応じて医療機関の紹介も行います。また、日常の健康相談に応じるほか、健康アップのため、身長体重計・体組成計・自動血圧計を設置し、学生の健康維持管理をサポートしています。毎年年度初めには、全学生を対象に定期健康診断を実施しています。



保護者向け懇談会

学生生活を一層有意義なものとしてもらうため、毎年10月に開催される大学祭に合わせ、保護者向け懇談会を開催しています。大学の近況報告のほか、学生の学修状況や進路等について学科教員等との個別面談を行っています。大学の教育環境を肌で知っていただく機会になっています。

学生相談

学生相談室では、臨床心理士の資格を持つ専任のカウンセラー、また各学部学科の学生委員(教員)が勉強、進路、対人関係の悩みなど大学生活における様々な相談に応じます。もちろん、安心して相談できるよう、相談内容は秘密厳守としています。なお、保護者からの相談も受け付けています。



教育支援システム (manaba course)

本学ではPCやスマートフォンなど、インターネット環境があればいつでもどこでもアクセス可能なクラウド型の教育支援システムを導入しています。講義資料の掲載、小テスト、課題提出とそのフィードバックなど、授業での利用に加え、キャリア・学生支援等、大学からの様々な情報の発信に活用しています。manaba course の中で行われた学修は、成果物として蓄積し、学修・キャリアポートフォリオとして自身の振り返りや自己分析に利用できます。



セミナーハウス

秋田キャンパスから約60分、本荘キャンパスから約80分。協和スキー場の目の前にあるセミナーハウスです。研究所のゼミ、各種研修、サークル合宿など、様々な用途に応じて無料(食事代は除く)で利用できる多目的施設です。



■ 秋田県立大学後援会

後援会会長より

学生一人ひとりの個性を認め、伸ばしてくれる大学です。

学生は誰もが原石です。秋田県立大学には自分の良さを自ら発見するための学びや、きっかけになる出会いがたくさん用意されています。教職員の皆さんはいつも学生に寄り添い、丁寧に声をかけ励ましてくれます。私たち後援会は、教職員の想いを間近に感じ、一緒に協力して学生を応援しております。希望ある学生の未来のために誠心誠意、応援していきたいと思えます。



後援会会長 山住 賢一 さん

後援会の主な支援事業

学生教育研究災害傷害保険／学研災付帯賠償責任保険

大学では、通学中、授業中、サークル活動中等の事故や教育実習、インターンシップ等の学外活動で、他人にケガをさせたり、財物を損壊したことに對する学生保険への加入を推奨しております。

後援会費には当該保険料が含まれており、入会と同時に補償が開始されるよう、保険加入の代行手続・料金納付を後援会が行います。



就職活動サポート

●就職対策講座受検料助成

キャリア情報センターで実施する就職対策講座(職業適性検査・SPI能力模擬試験・履歴書対策講座等)の受検料を一部助成します。

●企業説明会への貸切バスを助成

秋田市内で開催する企業説明会の会場までの貸切バス代金を助成します。

●インターンシップ交通費等助成

インターンシップ参加に要した交通費・宿泊費を一部助成します。

●セカンドキャンパス運営経費助成

首都圏で就職活動を行う学生を応援するため、東京都新宿区にあるセカンドキャンパスの利用料を助成します。



クラブ・サークルサポート

学生団体の活動費や大会参加経費を助成しているほか、大学祭の開催経費を助成します。



資格取得サポート

●資格取得助成

様々な資格取得に挑戦する学生を応援するため、資格取得試験に合格した場合の受験料や講習会参加料、テキスト代等を助成します。(助成回数に制限なし)

入試情報

※新型コロナウイルスの影響で、試験日程や試験方法が変更となる可能性があります。変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

秋田県立大学は、将来に夢を持ち、意欲的に学生生活に取り組むことのできる学生を見出すため、様々な入試制度を実施しています。本学の特色ある教育の中で、あなたの夢を実現してください。私たちは、あなたの夢や目標が実現できるように全力でバックアップします。

入試区分	① 総合型選抜	② 推薦選抜I・II	③ 推薦選抜III	④ 一般選抜(前期)	⑤ 一般選抜(後期)
9月	出願期間 9月1日(水)～7日(火)				
10月	試験日 10月2日(土)				
11月	合格発表 11月1日(月)	出願期間 11月8日(月)～12日(金) 試験日 11月27日(土)			
12月		合格発表 12月8日(水)	出願期間 12月20日(月)～24日(金)		
1月			試験日 1月29日(土)	出願期間 1月24日(月)～2月2日(水)	
2月			合格発表 2月8日(火)	試験日 2月25日(金)	
3月				合格発表 3月7日(月)	試験日 3月12日(土) 合格発表 3月20日(日)

入試のポイント

① 総合型選抜

- 秋田県内高校の新卒者を対象とします。
- システム科学技術学部ではプレゼンテーションと口頭試問を含む面接等で評価します。
- 生物資源科学部ではプレゼンテーションと総合問題、面接等で評価します。

② 推薦選抜I・II

- 秋田県内高校の新卒者を対象とします。
- アプリビジネス学科(推薦選抜I)のみ、全国の高校の新卒者も出願可能です。
- 推薦選抜IIは主に専門高校、推薦選抜IIIは主に普通高校を対象とします。
- 原則、全体の学習成績の状況が4.3以上で、高校から推薦された方を対象とします。
- 口頭試問を含む面接と小論文等で評価します。

③ 推薦選抜III

- 秋田県内高校の新卒者を対象とします。
- 高校から推薦された方を対象とします。
- 大学入学共通テストと面接等で評価します。

④ 一般選抜(前期)

- 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
- 大学入学共通テストと個別学力検査等で評価します。
- 仙台市・東京都・名古屋市の県外試験場でも受験可能です。

⑤ 一般選抜(後期)

- 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
- 大学入学共通テストと小論文等で評価します。
- 仙台市・東京都・名古屋市の県外試験場でも受験可能です。

資料請求

WEBサイトから手軽に資料請求できます。



各種要項・出願

本学ホームページに掲載しております。



合格者出身高校一覽 過去5ヶ年

北海道

旭川西
旭川南
旭川北
旭川龍谷
札幌稲雲
札幌啓成
札幌厚別
札幌国際情報
札幌手稲
札幌西
札幌藻岩
札幌東陵
札幌平岸
札幌北陵
千歳
帯広三条
帯広柏葉
大森
滝川
苫小牧東
函館
北海道科学大学
北見柏陽
北見北斗
北広島
名寄

青森県

五所川原
五所川原第一
弘前
弘前学院聖愛
弘前実業
弘前中央
弘前南
黒石
三本木
三本木農業
青森
青森西
青森中央
青森東
青森南
青森北
田名部
東奥義塾
八戸
八戸工業大学第二
八戸水産
八戸聖ウルスラ学院
八戸西
八戸東
八戸北
名久井農業

岩手県

一関学院
一関第一
一関第二
一戸
遠野
花巻東
花巻南
花巻北
金石
久慈
宮古
軽米
高田
黒沢尻北
水沢
盛岡市立
盛岡第一
盛岡第三
盛岡第四
盛岡中央
盛岡農業
盛岡北
千厩
大船渡
大野
不来方
福岡

宮城県

角田
気仙沼
宮城第一
宮城野
古川
古川学園
尚沼
尚綱学院
聖和学園
石巻
石巻好文館
仙台
仙台育英学園
仙台向山
仙台三桜
仙台青陵
仙台第一
仙台第三
仙台東
仙台南
仙台二華
泉
泉館山
多賀城
東北
東北学院
白石

秋田県

横手
横手城南
横手清陵学院
花輪
角館
金足農業
五城目
御所野学院
国学院
秋田
秋田工業
秋田商業
秋田西
秋田中央
秋田南
秋田北
秋田北鷹
新屋
仁賀保
聖霊女子短期大学付属
西仙北
西目
増田
大館桂枝
大館国際情報学院
大館鳳鳴
大曲
大曲工業
大曲農業
男鹿工業
湯沢
湯沢翔北
能代
能代工業
能代松陽
平成
本荘
明桜
由利
由利工業
雄物川

山形県

寒河江
山形西
山形中央
山形東
山形南
山形北
酒田西
酒田東
新庄北
長井
鶴岡南
東桜学院
日本大学山形

米沢興譲館
米沢東

福島県

いわき光洋
いわき秀英
葵
安積
安積黎明
安達
会津
会津学園
会津若松ザベリオ学園
橘
郡山
郡山東
原町
桜の聖母学院
尚志
須賀川桐陽
田村
日本大学東北
白河
白河旭
磐城
磐城桜が丘
福島(県立)
福島成蹊
福島西
福島東

茨城県

つくば秀英
伊奈
茨城
茨城キリスト教学園
下館第一
下館第二
下妻第一
下妻第二
岩瀬日本大学
牛久
牛久栄進
古河
古河第三
勝田
小瀬
常総学院
水海道第一
水戸桜ノ牧
水戸第三
水戸第二
水城
石岡第一
太田第一
竹園
土浦第三
土浦第二
土浦日本大学
藤代
日立第一
日立北
鉾田第一
明秀学園日立
電ヶ崎第一
緑岡

栃木県

さくら清修
宇都宮女子
宇都宮短期大学附属
宇都宮中央女子
宇都宮東
宇都宮南
宇都宮白楊
宇都宮文星女子
宇都宮北
烏山
黒磯
佐野
佐野東
佐野日本大学
作新学院
鹿沼
鹿沼東
小山

小山西
真岡
真岡女子
石橋
足利
大田原
大田原女子
栃木
栃木翔南
那須拓陽
白鷗大学足利
文星芸術大学附属
茂木
矢板中央
矢板東
國學院大学栃木

群馬県

伊勢崎
館林
桐生
高崎
高崎経済大学附属
高崎商科大学附属
高崎北
樹徳
渋川
勢多農林
前橋(県立)
前橋東
前橋南
太田(県立)
太田女子
太田東
東京農業大学第二
富岡

埼玉県

羽生第一
浦和西
浦和南
栄東
栄北
越ヶ谷
越谷南
越谷北
開智未来
狭山ヶ丘
熊谷
熊谷女子
坂戸
埼玉栄
山村学園
所沢北
城西大学付属川越
星野
正智深谷
聖望学園
西武学園文理
川口市立
川口北
大宮開成
大宮北
秩父
武南
本庄東
和光国際

千葉県

国分
佐原
佐原白楊
昭和学院秀英
宇都宮東
千城台
千葉商科大学付属
船橋東
匝瑳
中央学院
銚子(県立)
銚子(市立)
長生
柏の葉
木更津

東京都

井草
桐朋
駒込
広尾学園
江戸川女子
国際基督教大学
桜丘
実践学園
小山台
昭和
上野学園
成瀬
清瀬
多摩科学技術
東京工業大学附属科学技術
東京電機大学
東京都立大学等々力
南平
日比谷
白梅学園
保谷
北園
国国
國學院大学久我山
獨協

神奈川県

横浜
横浜サイエンスフロンティア
横浜修徳館
横浜創英
桐光学園
金井
公文国際学園高等部
自修館
小田原
西湘
多摩
藤嶺学園藤沢

新潟県

燕
加茂農林
巻
高志
高田
高田北城
国際情報
佐渡
三条
三条東
糸魚川
十日町
星野
新潟江南
新潟西
新潟第一
新潟中央
新潟南
新潟明訓
新津
新発田
新発田中央
新発田南
新発田農業
村上
村上中等
長岡
長岡向陵
長岡大手
津南
帝京長岡
東京学館新潟
柏崎
柏崎翔洋
北越
万代
六日町

岐阜県

加納
加茂
各務原西
関
岐山
高山西
多治見
大垣西
大垣東
大垣南
長良
飛騨高山
武義

富山県

滑川
魚津
呉羽
高岡西

高岡南
桜井
石動
大門
南砺福光
南砺福野
八尾
富山東
富山南
福岡

石川県

羽咋
金沢錦丘
金沢桜丘
金沢西
七尾
小松
小松明峰
星稜
野々市明倫
輪島

福井県

高志
若狭
武生
北陸

山梨県

甲府昭和
甲府西
甲府第一
甲府東
甲府南
日川
韮崎
富士河口湖

長野県

伊那北
伊那弥生ヶ丘
岩村田
佐久長聖
篠ノ井
松商学園
松本嬢ヶ崎
松本県ヶ丘
松本美須ヶ丘
諏訪清陵
諏訪二葉
須坂
大町岳陽
中野西
長野吉田
長野西
長野東
長野日本大学
東京都市大学塩尻
飯田
野沢北

岐阜県

加納
加茂
各務原西
関
岐山
高山西
多治見
大垣西
大垣東
大垣南
長良
飛騨高山
武義

静岡県

伊東
伊豆中央
下田
加藤学園
加藤学園暁秀

科学技術
掛川西
御殿場南
三島北
沼津工業
沼津市立沼津
沼津城北
沼津西
沼津東
焼津中央
榛原
星陵
清水東
清水南
聖隷クリストファー
静岡サレジオ
静岡学園
静岡市立
静岡城北
静岡東
静岡北
島田
東海大学付属静岡翔洋
藤枝西
藤枝東
磐田東
磐田南
浜松学芸
浜松湖南
浜松市立
浜松南
浜松日体
富士
富士宮西
富士東

愛知県

阿久比
愛知
愛知教育大学附属
愛知啓成
愛知淑徳
旭野
安城
安城東
杏和
一宮興道
一宮西
一宮南
一宮北
一宮北
横須賀
岡崎
岡崎学園
岡崎西
岡崎東
蒲郡東
刈谷
刈谷北
若岩総合
五条
高蔵寺
国府
小坂井
小牧南
松蔭
瀬戸西
成章
西春
西尾
西尾東
千種
大成
大府
丹羽
知立
知立東
中部大学春日丘
長久手
津島
津島東
天白
東海南
日進西
熱田
半田東
尾西
美和
碧南

大阪府

関西創価
堺東
市岡
住吉
初芝富田林
常翔啓光学園
清風
大阪学芸
池田
追手門学院
帝塚山学院泉ヶ丘
桃山学院
北千里
箕面自由学園

兵庫県

芦屋(県立)
芦屋国際
伊丹(県立)
雲雀丘学園
加古川北
御影
神戸星城
神戸野田
仁川学院
須磨学園
西脇
川西緑台
滝川
東播磨
尼崎稲園
尼崎北
柏原
姫路
姫路飾西
福崎
北条
明石
明石城西
龍野

奈良県

橿原
高田

西の京
奈良育英
奈良大学附属

和歌山県

開智
桐蔭
新宮
耐久
田辺
和歌山信愛

島根県

益田

岡山県

岡山城東
高梁
倉敷南

広島県

安古市
広島なぎさ
三原
尾道

山口県

高森
豊浦
防府

徳島県

城ノ内
城東
徳島北

香川県

高松
高松第一
坂出第一

愛媛県

松山西
大洲

福岡県

小郡
筑紫女学園

長崎県

西陵

大分県

臼杵
大分雄城台

宮崎県

都城泉ヶ丘

鹿児島県

加世田
鹿屋
樟南
鶴丸

秋田ってこんなところ

秋田県観光情報



男鹿のナマハゲ

2018年ユネスコの無形文化遺産に登録。
 男鹿市にて大晦日の晩、それぞれの集落の青年たちがナマハゲに扮して、「泣く子はいねがー」などと大声で叫びながら地域の家々を巡る。
 怠け心を戒め、無病息災・田畑の実り・山の幸・海の幸をもたらす、年の節目にやってくる来訪神。



きりたんぼ

秋田の郷土料理といえば「きりたんぼ」。杉の棒にご飯をつぶして棒状に巻きつけ、囲炉裏の火で焼いたものを「たんぼ」という。
 これを切って比内鶏でとったスープで、ごぼうや葱、セリと舞茸などのキノコと共に火を通したのが「きりたんぼ鍋」。味噌を塗ってもう一度火で炙り「みそたんぼ」。



男鹿水族館GAO

日本海を望む絶好のロケーションに建つ水族館。ホッキョクグマや秋田県魚「ハタハタ」をはじめとした400種1万点の生き物を展示しています。入道崎やゴジラ岩など、男鹿半島のドライブコースにありますので、経由地の候補にいかがでしょうか。



秋田犬

くると丸まったしっぽ、ピンと立った三角の耳、ふわふわの毛並みの大型犬。
 ロシアのフィギュアスケート平昌五輪金メダリスト・ザギトフ選手に送られた「マサル」も話題に。



菜の花ロード

大湯キャンパス近くを走る県道沿いの有名スポット。全長1.1kmにわたって菜の花と桜が同時期に咲きます。見ごろは4月下旬から1カ月ほど。満開の時期には「大湯村桜と菜の花まつり」も行われ、多くの人で賑わいます。



稲庭うどん

日本三大うどんの一つ。昔ながらの手延べにこだわる細く平たい麺は、コシが強く、表面がとても滑らか。舌触りがよく、喉越しはツルツル。



鳥海山

秋田県と山形県の県境に位置する鳥海山の周りには、四季を通じて様々な観光スポットがたくさん。夏はキャンプや登山、冬はスキー、スノーボードなどのウィンタースポーツのエリアとして有名です。



由利高原鉄道

羽後本荘駅から矢島駅まで全長23kmを結ぶ、路線名「鳥海山ろく線」。標高2,236mの鳥海山を背景に田園風景の中を走り、列車と自然が織り成すのどかな景色でファンに愛されています。「クリスマス列車」や「まごころ列車」など、車内を飾ったり特別なアテンドをしたりする、イベント列車の運行でも知られます。



竿燈まつり

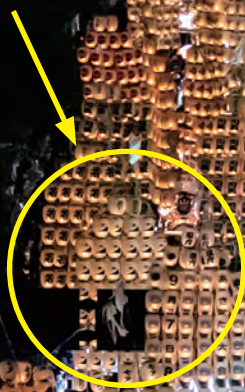
毎年8月3日～6日に秋田市で行われる祭り。東北三大祭りの一つ。県大竿燈会も参加。

竿燈全体を稲穂に、連なる提灯を米俵に見立て、額・腰・肩などにのせ、五穀豊穡を祈る。

最も大きい大若は高さ12m、重さ50kg!! 「どっこいしょ～、どっこいしょ～」のかけ声で盛り立てる。



秋田県立大学竿燈会
ココにいます



大曲の花火

全国花火競技大会 大曲の花火。日本三大花火大会の一つ。歴史ある花火大会で制作者本人が打ち上げる競技大会として有名で、毎年多くの人で賑わいます。とても見応えのある花火大会。打上数は約18,000発。



田沢湖

ルリ色の湖面とたつこ姫伝説に彩られる田沢湖は、周囲約20キロメートルのほぼ円形の湖です。水深423.4メートル、日本一の深さを誇ることで有名。近隣にはキャンプ場やスキー場、乳頭温泉郷など、一年を通して多くの人が集まる観光スポットとなっていて、外国人観光客も多くなっています。



乳頭温泉郷

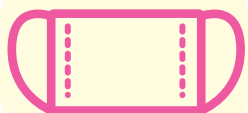
秋田県内だけでなく、全国的にも世界的にも有名な「乳頭温泉郷」。十和田・八幡平国立公園 乳頭山麓に7つの宿が点在し、様々な泉質の湯が湧き出ている温泉地です。7つの湯をめぐることができる「湯めぐり帖」もあります。



最大限の感染対策を 日々、更新しながら実施中です

秋田県立大学では、感染防止とともに、新しい生活様式に迅速に対応することを見据え、
日々の状況に合わせた感染対策を実施中です。

マスク



換気



体調管理



消毒



大学への入構

- 出入口にサーマルカメラ及びアルコールを設置し、体温測定・手指の消毒を実施
- マスク着用の奨励



講義・研究室

- 学生同士の間隔は2mを目安に確保
- 研究室毎に消毒を徹底
- 講義室出入口やトイレ前などに消毒液を設置
- 各教室で収容する学生数は最大で座席定員の50%程度に
- 講義室の窓及び扉を適宜開放して換気実施
- 定期的に室内の清掃及び消毒を実施



食堂

- 入口に消毒液を設置
- 飛沫感染防止のための衝立設置実施や、十分な座席間隔確保のための椅子の間引き実施



学生寮

- 入館時に検温を実施
- 飛沫感染防止のため寮生食堂に衝立を設置し、十分な座席間隔を確保
- 寮内でのマスクの着用を義務化
- 館内の消毒及び換気を実施
- 感染者発生時の対応及び対策フローを寮生に周知





AkitaPrefecturalUniv
秋田県立大学チャンネル



Twitter



秋田県立大学
@Akita_P_U



Kenstagram

POWER UP!

<https://www.akita-ebooks.jp/kenstagram/>

WEB OPEN
CAMPUS

AKITA PREFECTURAL UNIVERSITY 2021

秋田県立大学 WEBオープンキャンパス

今年度も
開催予定
パワーアップ準備中

模擬講義 施設紹介
研究・実習・プロジェクト紹介
個別進学相談
教員インタビュー
CAMPUS LIFE
学生自主研究
学部・学科
紹介入試情報

資料請求

木材高度加工研究所



大潟キャンパス



秋田キャンパス



本荘キャンパス



航空機利用の場合

新千歳空港	約55分	秋田空港
羽田空港	約1時間10分	秋田空港
中部国際空港	約1時間20分	秋田空港
伊丹空港	約1時間30分	秋田空港

秋田新幹線「こまち」利用の場合

盛岡駅	約1時間30分	秋田駅
仙台駅	約2時間30分	秋田駅
東京駅	約4時間	秋田駅

高速道路利用の場合

盛岡I.C	約2時間10分	秋田北I.C
盛岡I.C	約2時間10分	大内J.C.T
盛岡I.C	約2時間20分	五城目八郎瀧I.C
盛岡I.C	約2時間40分	能代南I.C
仙台宮城I.C	約3時間10分	秋田北I.C
仙台宮城I.C	約3時間10分	大内J.C.T
仙台宮城I.C	約3時間20分	五城目八郎瀧I.C
仙台宮城I.C	約3時間40分	能代南I.C



シンボルマーク
秋田県立大学の欧文の頭文字「A」をデザイン化したもので、目標（グリーン）を設定し、未来に向かって限りなく学んでいく姿を表しています。

秋田キャンパス	◎本部 ◎生物資源科学部 ◎大学院 生物資源科学研究科	〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438 TEL.018-872-1500 FAX.018-872-1670
本荘キャンパス	◎システム科学技術学部 ◎大学院 システム科学技術研究科	〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 TEL.0184-27-2000 FAX.0184-27-2194
大潟キャンパス	◎生物資源科学部 アグリビジネス学科【3・4年次】	〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南2-2 TEL.0185-45-2026 FAX.0185-45-2377
木材高度加工研究所	◎大学院 生物資源科学研究科	〒016-0876 秋田県能代市字海詠坂11-1 TEL.0185-52-6900 FAX.0185-52-6924



<https://www.akita-pu.ac.jp>

※タブレット、スマートフォンからもアクセスできます。



秋田県立大学は
(独)大学改革支援・学位授与機構の
大学評価基準を満たしています。